

世界にチャレンジし続ける
グローバル都市

“OITA”



ラグビーワールドカップ2019™日本大会
大分会場の様子

2021年度
(令和3)
}
2024年度
(令和6)

第4次大分市国際化推進計画

4th Oita City Globalization Promotion Plan

はじめに



本市では、2016（平成28）年に「第3次大分市国際化推進計画」を策定し、訪日外国人旅行者の増加を踏まえ、またラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎える中、国際感覚豊かなひとづくりや国際化によるまちの活性化、市民の多文化理解等の施策を市民と連携して進めることで、新たな時代にふさわしい大分市の創造につなげてまいりました。

このような中、2019（平成31）年4月施行の「改正出入国管理及び難民認定法」による在留資格「特定技能」の創設、2020（令和2）年1月以降の新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化、ICT技術の進展による海外との新たな形での交流など、近年、本市の国際化を取り巻く状況は変化しております。

こうした社会状況の変化を国際化の推進に反映するため、また第3次計画が期間終了となることから、このたび、2021（令和3）年度から2024（令和6）年度を計画期間とした「第4次大分市国際化推進計画」を策定いたしました。本計画では、「世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”」を基本理念とし、「国際交流・国際協力」「多文化共生」を推進テーマに掲げ、国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり、地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進等の施策に取り組むこととしております。今後は本計画に基づき、これまで以上に本市の個性や魅力を活かし、地域の発展や課題の解決につながるよう、国際化を推進してまいります。

施策の推進にあたりましては、市民や関係団体、企業や教育機関など、多様な主体と連携・協働することが重要と考えておりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、これまで熱心にご議論を重ねていただきました第4次大分市国際化推進計画策定委員会の皆様、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

2021（令和3）年3月
大分市長 佐藤 樹一郎

目次

第1章 計画策定の趣旨	3
第2章 計画の位置付けと期間	4
第3章 国際化の現状	5
1. 日本の現状	5
2. 大分県の動向	6
3. 大分市を取りまく状況	6
4. 大分市の特徴や現状	7
参考 大分市の姉妹都市・友好都市・交流促進都市	8
第4章 統計でみる世界・国内の状況	10
1. 世界の人口	10
2. 日本・大分の人口	11
3. 日本に住む外国人数	13
4. 大分県に住む外国人数	14
5. 大分市に住む外国人数	15
6. 外国人宿泊客数	17
7. 第3次大分市国際化推進計画の評価	19
第5章 計画の体系	20
第6章 施策と目標	22
施策1：グローバル人材の育成	22
施策2：国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり	23
施策3：地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進	24
施策4：持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進	25
施策5：人権尊重を基調とした多文化理解の促進	26
施策6：あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり	27
第7章 推進体制	28
第8章 国際関係団体の紹介	29
関連資料	31
大分市国際化推進計画改定の経緯	
第4次大分市国際化推進計画策定員委員会設置要綱	
大分市国際化推進計画策定委員会委員名簿	
大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査～報告書～	

第1章 計画策定の趣旨

本市では、2006(平成18)年に、本市を取り巻くグローバル化^{*}の環境変化を踏まえ「国際化・大交流時代の活力ある都市をめざして～大分市国際化推進計画～(2006(平成18)年度～2010(平成22)年度)」を策定しました。

2011(平成23)年には、「第2次大分市国際化推進計画(2011(平成23)年度～2015(平成27)年度)」を策定し、「めざせ!東九州の国際都市“OITA”」を掲げ、国際化を推進するための人づくりやまちづくりを進めてきました。

また、2016(平成28)年には「第3次大分市国際化推進計画(2016(平成28)年度～2020(令和2)年度)」を策定し、「めざそう!東九州の国際都市“OITA”～ひろげよう!国際交流 つなげよう!世界と～」のスローガンのもと、「国際交流・国際協力」「多文化共生^{*}」を2つの推進テーマとして、国際化の進展を活かした地域の活力の維持・向上や市民の豊かさの向上につなげていくとともに、国際化の進展に伴い生じる課題に市民とともに取り組んできました。

この間、わが国においては、超高齢社会、人口減少社会の到来による生産年齢人口の減少や、グローバル化の進展による地球規模での交流の活発化により、世界とのつながりを見出そうとする動きがさらに強まってきています。

このような中、本市が今後も持続的に発展していくためには、多彩な国際交流、国際協力、経済交流による活力の創出や、すべての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりへ向けた取組が必要とされています。また、都市間連携などにより、本市が国際社会の一員としての役割を果たすことも求められており、広範な分野で体系的な国際施策を戦略的に推進していく必要があります。

新しい計画では、「世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”」を掲げ、時代に則した先見性のあるビジョンを描きながら、広範な分野で体系的・戦略的に国際化を進めることにより、これまで以上に本市の特徴や個性を生かした、地域の発展や課題の解消につながる計画となるよう策定いたしました。

本計画に定めた方針に基づき、市民と行政がそれぞれの役割に応じた連携を図るなかで、本市の国際化を進めてまいります。

※グローバル化

人の往来、貿易、金融、サービスが地球規模に広がり、個人、企業、団体などさまざまな主体が海外に広く合理的な選択を求めて行動しようとすることから、地理的に広範な市場やネットワークが進展すること。また、個々の立場がその動きに影響を受けること。

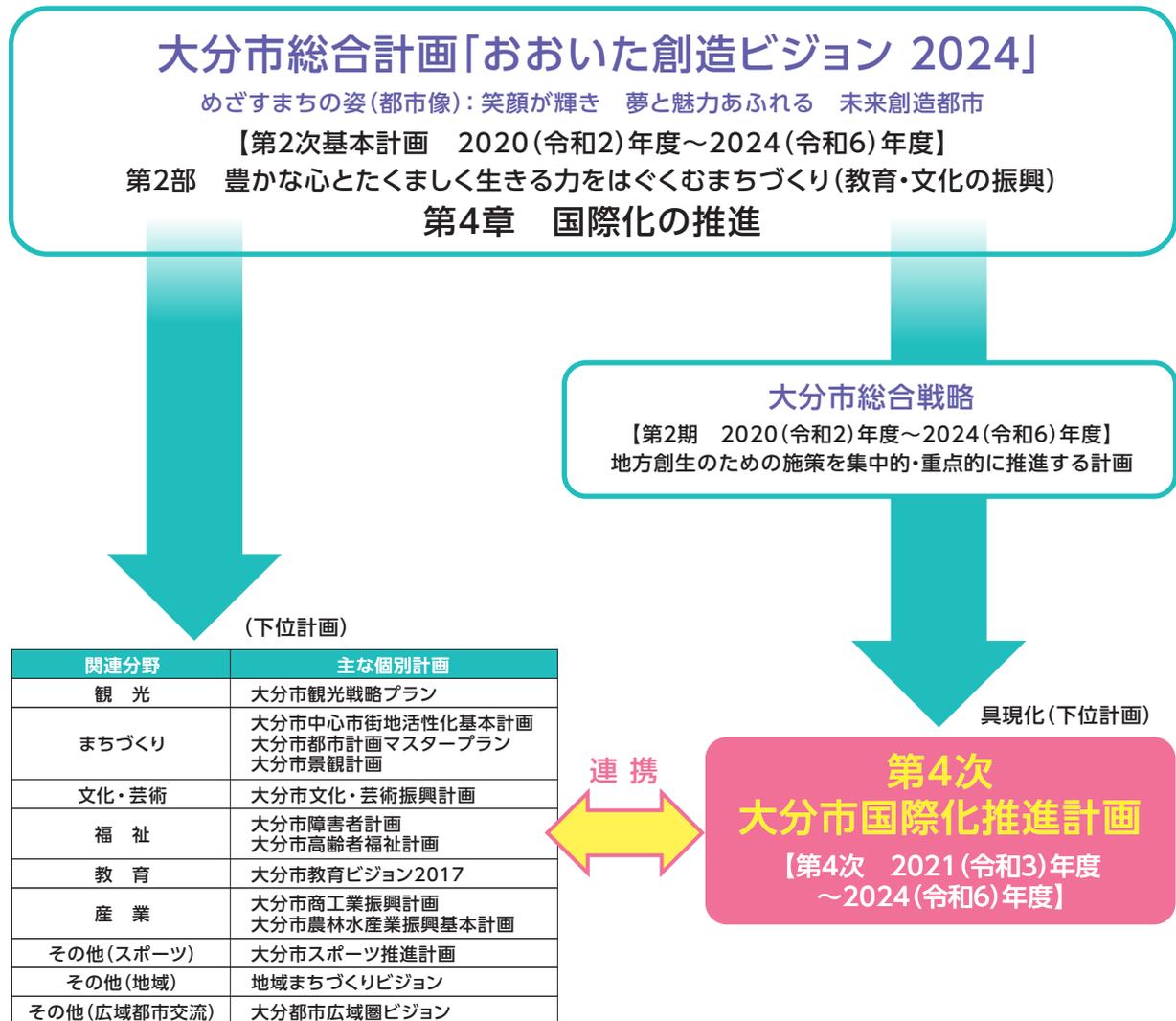
※多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

第2章 計画の位置付けと期間

【計画の位置付け】

本計画は、市政運営上の最上位計画である「大分市総合計画(おおいた創造ビジョン 2024)」に基づき、本市の国際化の推進を具現化するために策定するものです。



【期間】

2021(令和3)年度を初年度とし、2024(令和6)年度を目標年度とする4年間の計画とします。なお、本市を取り巻く状況や、経済、社会、地域の状況が大きく変化した場合には、計画期間途中においても必要な見直しを行います。

2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度
前計画 2016(平成28)年度 ～2020(令和2)年度	本計画:2021(令和3)年度～2024(令和6)年度			次期計画策定

1 日本の現状

わが国の総人口は、2008（平成20）年をピークに減少し始め、出生数の減少による少子化の進行により、人口減少に歯止めがかからない状況となっています。加えて、地方と東京圏の経済格差の拡大等が、若い世代の地方からの流出を招くことにより、地方における人口減少が地域経済の縮小などの影響を与え、さらに人口減少を加速させるという悪循環の連鎖に陥るリスクが高まっています。

また、わが国の高齢化は世界に類を見ない速度で進展しており、このような超高齢社会の到来は、地域コミュニティにおいては、担い手の高齢化や人材不足が深刻化するなど、自治体経営にさまざまな影響を及ぼす可能性があります。

これを踏まえ、日本政府は、外国人労働者受け入れ拡大を目指す改正出入国管理法に基づき、2019年4月に、日本国内における人材確保が困難な状況にある分野について、新在留資格「特定技能[※]」を創設し、外国人に労働者としての門戸を開放するなど、深刻化する生産年齢人口の急速な減少による人手不足に対応しています。

また、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器が急速に普及し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）[※]が新たな交流手段としての役割を果たすなど、生活に密着した多くのサービスがインターネットを介して提供されるようになったことにより、企業活動や市民生活、行政サービスなどにおいても、情報への依存度がますます高まっています。

このような情報通信技術の急速な進歩と相まって、企業の国際的な競争の激化、外国人旅行者の増加によるインバウンド[※]需要の高まりなど、社会経済活動のグローバル化が拡大しており、世界経済の動向が直接地域経済に影響を及ぼす時代になっています。

このような状況の中、2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴う影響により、感染拡大を抑止するため世界各国において渡航制限や移動制限が課されることとなり、経済活動や人的交流の停滞に直面しました。さらに、日常生活においても物理的なコミュニケーションが制限されたことで、「三つの密」の回避など、「ニューノーマル」に対応した新しい生活様式の実践が必要となりました。

一方で、オンライン[※]を活用した新たな交流の機会も増加し、こうしたICT[※]技術を取り入れた新たな交流は、世界とのコミュニケーションをリアルタイムで実現可能にさせ、多くの人に新たな交流のチャンスを展開できる好機ともなりました。

※特定技能

中小・小規模事業者をはじめとした人手不足は深刻化しており、我が国の経済・社会基盤の持続可能性を阻害する可能性が出てきているため、生産性向上や国内人材確保のための取組を行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れていく仕組みを構築するため創設された在留資格。

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

会員制のウェブサイト上で職業・趣味・写真・文章などを公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。

※インバウンド

外から入ってくる旅行。一般的に「訪日外国人旅行」を指す。日本人の海外旅行は「アウトバウンド」という。

※オンライン

コンピュータなどの機器がネットワークに接続された状態、あるいは、通信回線を通じて別のコンピュータなどに接続された状態のこと。

※ICT

ICTとは“Information and Communication Technology”の略。情報通信技術（情報・通信に関する技術一般の総称）のこと。

2 大分県の動向(大分県海外戦略)

大分県では、海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、2011(平成23)年5月に、「大分県海外戦略」を策定しました。その後、2015(平成27)年10月には、当時の経済社会情勢の変化等を踏まえた戦略「大分県海外戦略(2015～2018)」を策定しました。

2019(平成31)年3月には、海外との人や物の交流が盛んになった実績を踏まえながら、海外情勢をめぐり環境変化も見定め、「海外の成長を取り込みつつもに発展する」という基本理念のもと、「海外の活力を取り込む」「海外の人材を取り込む」「国際交流・国際貢献の推進」「国際人材の育成・活用」の4つの基本戦略から構成される「大分県海外戦略(2019～2021)」を策定しています。

3 大分市を取りまく状況

情報技術や交通ネットワークの飛躍的な発展により、地球規模での交流が活発になるなか、世界の出来事がわたしたちの日々の生活にも大きな影響を与えています。

また、わが国では、超高齢社会、人口減少社会を迎え、経済を支える生産年齢人口の減少、市場の縮小が懸念されており、新たな市場を求めて、ますます海外展開に活路を見出そうとする動きが目立ってきています。

こうしたなか、本市が今後も持続的に発展していくためには、国際感覚を持ち、広い視野に立って考え活躍できるグローバル人材の育成や、あらゆる国籍の人々がそれぞれの持てる力を最大限に発揮できる人権尊重を基調とした多文化共生によるまちづくりなど、より積極的な取組が必要とされています。

あわせて、国際協力や都市間連携など、本市が国際社会の一員としての役割を果たすことも求められており、広範な分野で体系的な国際化施策を戦略的に推進していく必要があります。

大分市の特徴や現状

「人口減少社会」と「超高齢社会」の到来

本市の人口は、全国に比べ出生率はやや高く推移しているものの、人口置換水準※には及ばない状況であり、2016(平成28)年をピークに減少局面に入りました。また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2015(平成27)年から2045(令和27)年までの30年間で、本市の総人口は約4.4万人、生産年齢人口(15歳～64歳)は約6.8万人減少すると予測されています。一方、老年人口(65歳以上)は約3.9万人増加し、高齢化率は36%に達すると予測されています。このように、少子高齢化に伴う人口減少は、社会経済の根幹を揺るがす危機的状況を招く恐れがあり、定住人口の増加を図るための住みやすい社会が実現できる環境を整備していくことが求められています。

大分県の留学生

大分県は、人口10万人当たりの留学生数は全国3位であり、特に別府市と大分市には多くの留学生が暮らしています。

ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会の開催

2019(令和元)年には、ラグビーワールドカップ2019™日本大会が開催され、大分市でも大分スポーツ公園総合競技場において、準々決勝2試合を含む計5試合が開催されました。大会期間中のイベントへの総来場者数は131万人を超えるなど、国内外から多くの観客や観光客等が来市しました。また、祝祭の広場では、全45試合のうち29試合のパブリックビューイングを実施したところ、多くの市民が外国人とともに盛り上がり、交流を深めることができました。

大会期間中、中心市街地はかつてないほどの外国人観光客で溢れ、多くの市民が世界中の人々と感動を共有するなど、大分開催は大成功のうちに幕を閉じました。

※人口置換水準

現在の人口を維持できる合計特殊出生率(15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当)の目安。国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2020)」によると、2018(平成30)年現在では2.07となっている。

大分市に住む外国人数

本市に住む外国人の数は、2021(令和3)年2月現在で3,506人であり、国籍別では、中国(944人)、ベトナム(715人)、韓国(622人)、フィリピン(331人)、ネパール(198人)、その他(696人)の順となっています。また、外国人の割合は0.73%であり、全国平均の2.3%と比較しても割合は低くなっています。

大友宗麟とフランシスコ・ザビエル

戦国大名大友宗麟は、聖フランシスコ・ザビエルを豊後府内に招き、海外との貿易を積極的に進めました。

府内のまちは海外の品々があふれ、異国の人々が行き交い、西洋の医学、天文学、音楽、演劇をはじめとする南蛮文化がいち早く花開き、日本を代表する国際色豊かな貿易都市として繁栄しました。

本市はこのような特色のあるキリシタン・南蛮文化の魅力を国内外へ発信するとともに、市民の郷土意識の高揚に活用しています。

市民意識調査

2019(令和元)年11月～12月にかけて市民4,000人へ、2020(令和2)年8月～9月にかけて留学生、国際関係団体、企業などへ第4次大分市国際化推進計画策定に係る「市民意識調査」を行いました。「グローバル人材の育成に力を入れるべき」「海外との経済交流による地域活性化に期待する」など、本市の国際化に関する多くの意見をいただきました。

※調査結果の詳細は、巻末の資料「大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査～報告書～」をご覧ください。

ポルトガル共和国 アベイロ市 姉妹都市

アベイロ市は、気候が穏やかで、また海が入り江まで入り込み、運河となって四方に流れ込む地形から、ポルトガルのベニスと呼ばれており、観光地として世界各国から観光客が訪れています。歴史ある町で、郊外には中世の城や修道院の遺跡といった文化的遺産も数多く残っています。産業は、卸売業や観光産業が中心で、石油化学工業や製鉄業も盛んです。また、重要な漁港もあり、塩の生産地としても有名です。

大分市は、16世紀半ばの太田宗麟の時代からポルトガルとの交流が盛んにおこなわれ西洋文化が開花したという歴史的背景を踏まえ、姉妹都市を提携しました。以来、文化・芸術やスポーツを通じた交流などを行ってきました。

2018年には姉妹都市提携40周年を記念して、アベイロ市長を団長とする訪問団を受入れ、今後10年の交流にかかる共同宣言の調印を行ったほか、青少年によるサッカー交流やホームステイなどが行われました。

ポルトガル共和国 アベイロ市

人口▶約8万人(2019年)

面積▶199.7km²

姉妹都市提携日▶1978(昭和53)年10月10日

位置▶ポルトガルの首都リスボンの
北方約250km

主な産業▶卸売業、観光産業、石油化学工業、
製鉄業



中華人民共和国 湖北省 武漢市 友好都市

武漢市は、亜熱帯の大陸性気候で四季がはっきりしています。特に夏は、最高気温が40度を超えることがあり、重慶・南京と並んで中国の三大ストーブと呼ばれ、その暑さは有名です。歴史的には、大詩人屈原を輩出した春秋戦国時代の楚の国として、また三国志の舞台としても悠久の歴史をもち多くの名勝旧跡に恵まれています。湖北省の政治・経済・文化の中心としてだけでなく、北京、上海、広州、重慶からほぼ1,000kmから1,200kmの距離にあることから、中国における経済・貿易・金融・交通・科学技術の主要な拠点として重要な役割を果たしています。

1974年より武漢鉄鋼コンビナートの近代化プロジェクトにより、武漢市から延べ200人の技術者が大分市に長期滞在し、また大分市からも数多くの技術者が武漢市へ派遣されるなど、市民間の往来が次第に頻繁となったことが契機となり、友好都市を締結しました。以来、農業実習生の受入れや中学生相互派遣、大分交響楽団武漢公演、武漢雑技団大分公演、ビジネスなどさまざまな分野で交流を行ってきました。

2019年には友好都市締結40周年を記念して、大分市訪問団が武漢市を訪問し、公式レセプションに参加しました。

中華人民共和国 湖北省 武漢市

人口▶約1,121万人(2019年)

面積▶8,569.1km²

友好都市締結日▶1979(昭和54)年9月7日

位置▶中国の華中

主な産業▶鉄鋼、自動車産業等



■アメリカ合衆国 テキサス州 オースチン市 姉妹都市

オースチン市は、アメリカ合衆国の南西部に位置し、テキサス州のほぼ中央にある教育水準の高い都市で、特に全米屈指の規模を誇るテキサス大学の本校には、世界各国から集まった5万人近い学生や研究者が学んでいます。気候は1年のうち約300日が晴天で、夏は5月から9月まで続き、湿度も高めです。緩やかな丘陵地に囲まれた市の中心部にはロッキー山脈を水源とするコロラド川が悠然と流れており、自然や緑にも恵まれています。経済の中心はIT産業のほか、ライブハウスが200以上軒を連ねるほど音楽産業も盛んです。

大分県でテキサス会議が開催されるなど、大分県とテキサス州の交流が活発であったことに加え、オースチン市とは産業・文化面で類似していることから、姉妹都市の提携を行いました。以来、文化、芸術、スポーツ、ビジネスなど、幅広い分野で交流を行ってきました。

2020年には、姉妹都市提携30周年を迎えました。

アメリカ合衆国 テキサス州 オースチン市

人口▶約100万人(2020年)

面積▶845.0km²

姉妹都市提携日▶1990(平成2)年10月30日

位置▶アメリカの南西部、テキサス州のほぼ中央

主な産業▶IT産業、音楽産業等



■中華人民共和国 広東省 広州市 交流促進都市

広州市は、広東省中部の南海に面した珠江デルタの中央部に位置する広東省の省都です。気候は亜熱帯モンスーン気候に属しており、四季を通じて緑が豊かで花々が咲き乱れ、「花城」と呼ばれています。中国南方の重要な通商都市で交通の要衝、港湾都市であり、華南地区最大の国際貿易港を有しています。

アジア太平洋都市サミットが縁で、アジア太平洋地域のネットワークの構築並びにオープンな国際交流の展開のため、交流促進都市締結の覚書の交換を行いました。

中華人民共和国 広東省 広州市

人口▶約1,531万人(2019年)

面積▶7,434.4km²

交流促進都市覚書交換▶1997(平成9)年10月9日

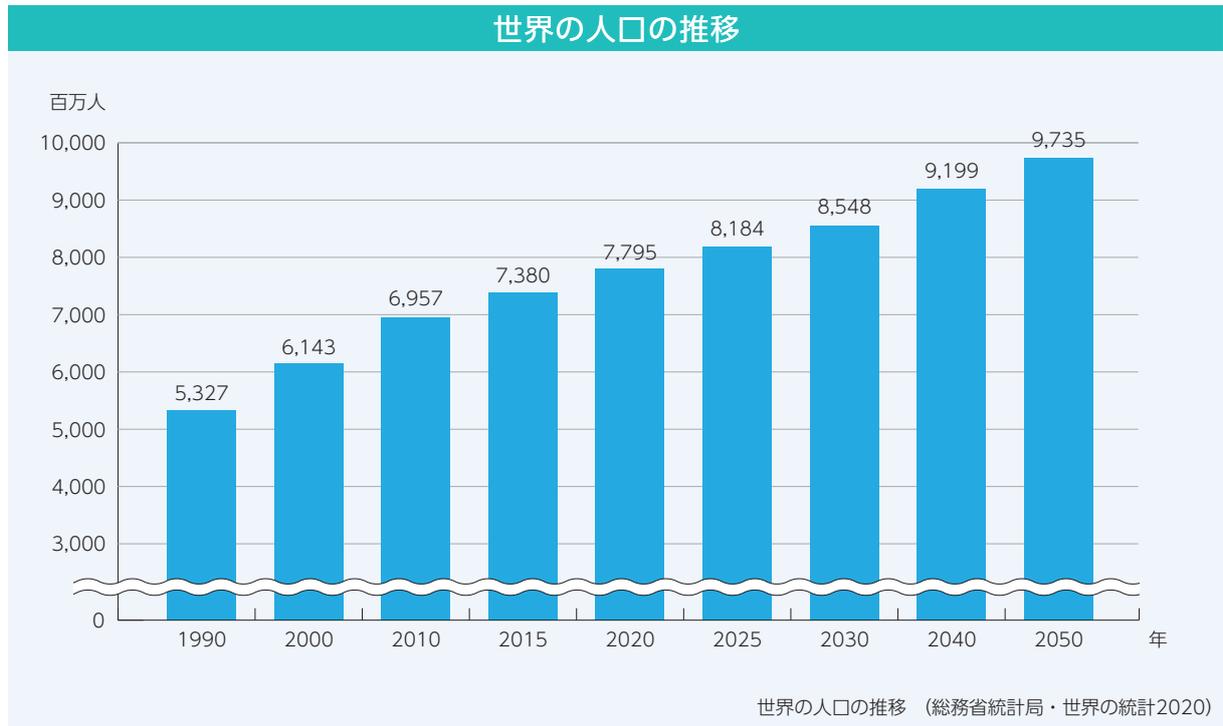
位置▶中国華南地区

主な産業▶自動車、IT産業等

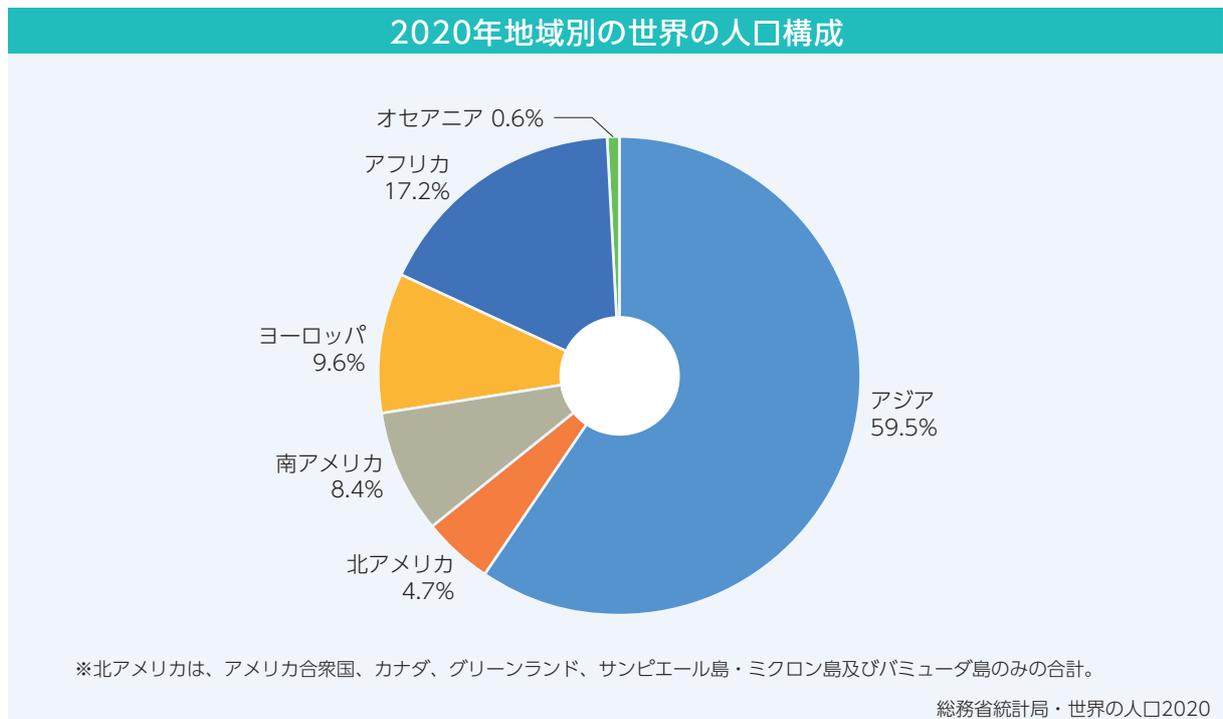


第4章 統計でみる世界・国内の状況

1. 世界の人口



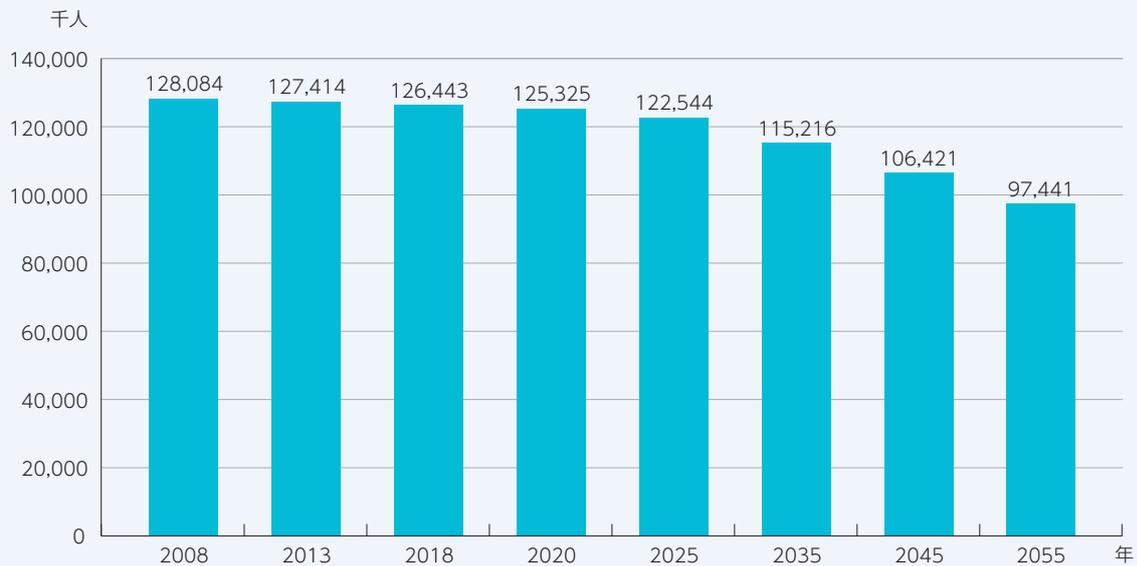
一貫して増加しており、2050年には約97億人と、今後30年で約20億人の増加となる見込みです。



世界の人口の半数以上をアジアが、次いでアフリカが6分の1程度を占めています。

2. 日本・大分の人口

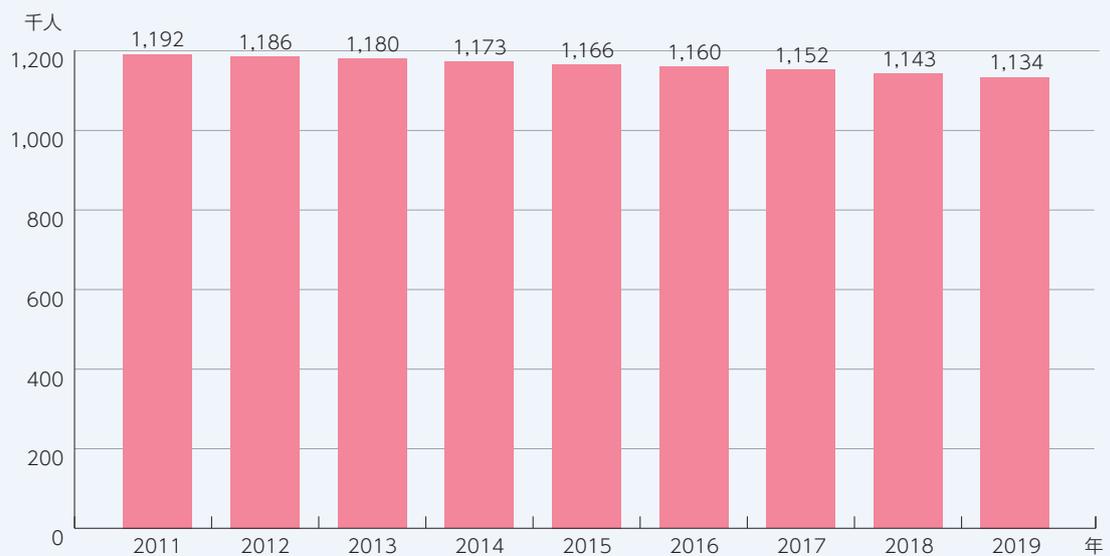
日本の人口の推移



総務省統計局・日本の統計2020

日本の人口は近年横ばいで人口減少局面を迎えており、2055年には総人口が1億人を割り込み高齢化率は40%近い水準になると推計されています。

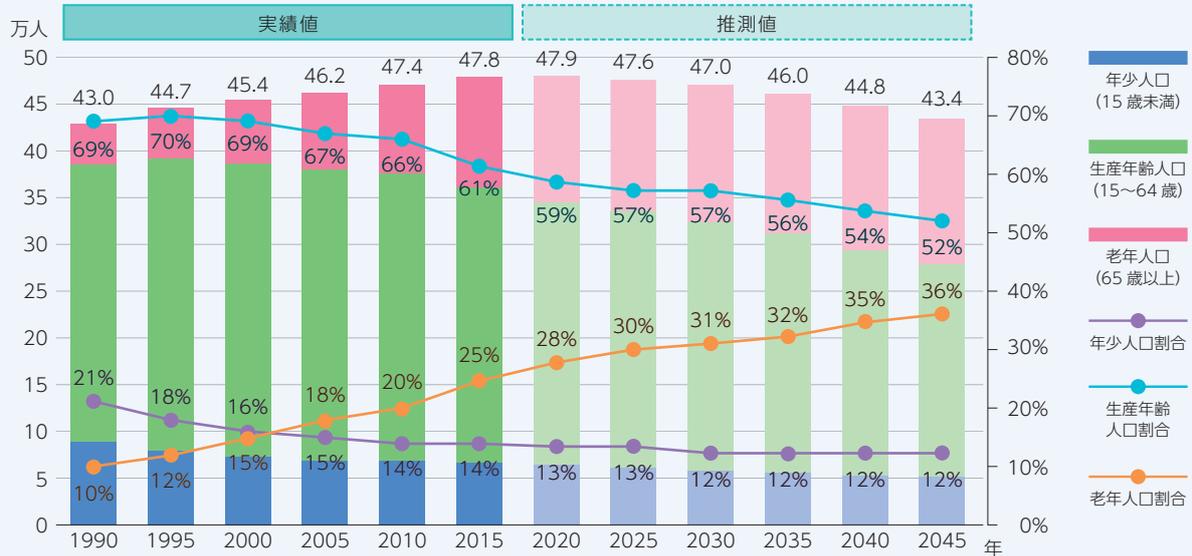
大分県の人口推移



平成31年・令和元年度版 大分県統計年鑑

2010 (平成22) 年には120万人を下回るなど、近年は減少傾向にあります。

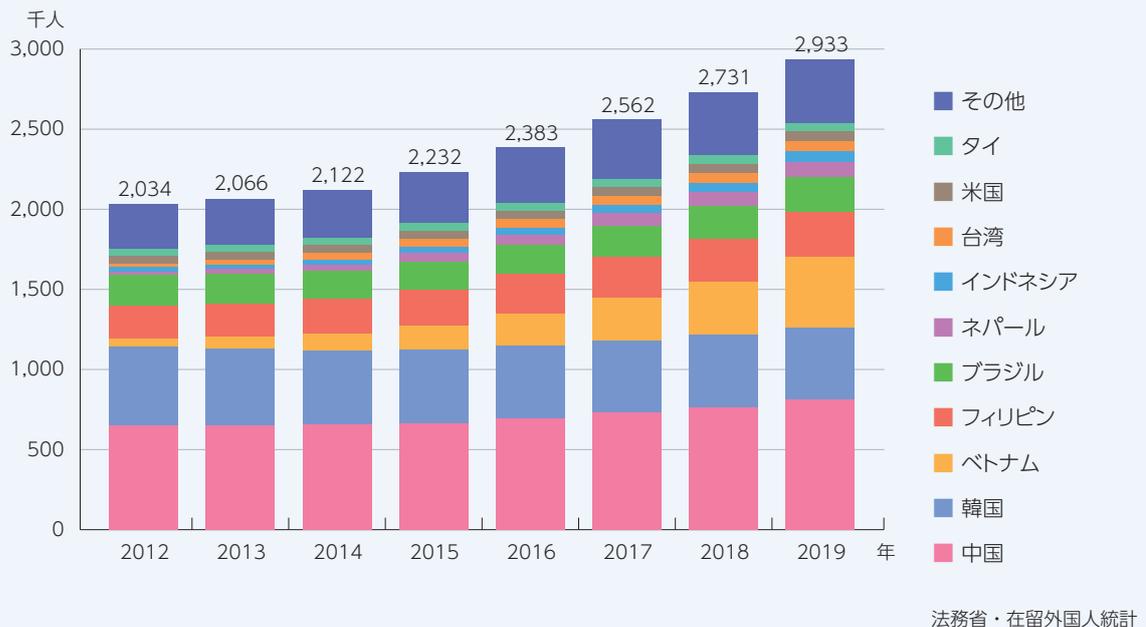
大分市の人口推移と予測



※2015(平成27)年まで総務省統計局「国勢調査」(2020(令和2)年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計)
2000(平成12)年以前の人口は、旧佐賀関町、旧野津原町の人口を含む

本市の人口は僅かではあるものの、年々増え続けていましたが、2016年をピークに人口減少局面に入りました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2015(平成27)年から2045(令和27)年までの30年間で、本市の総人口は約4.4万人、生産年齢人口(15歳~64歳)は約6.8万人減少すると予測されています。一方、老年人口(65歳以上)は約3.9万人増加し、高齢化率は36%に達すると予測されています。

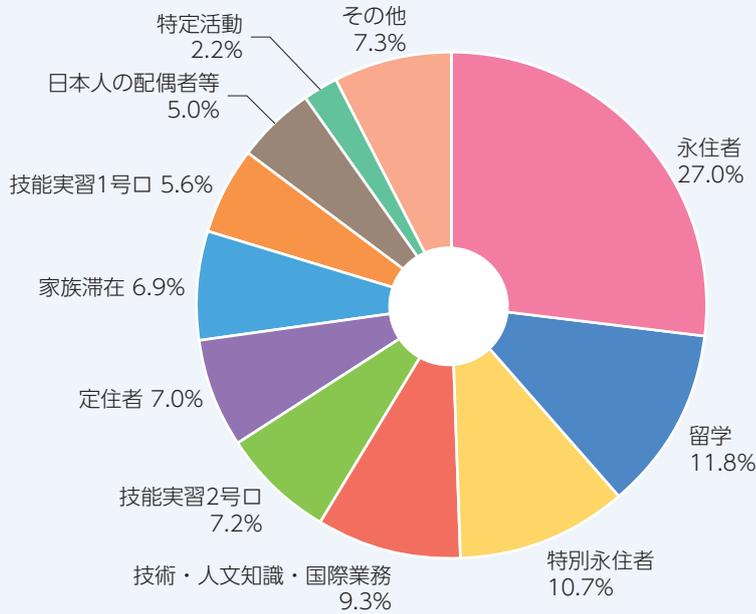
日本に住む外国人数の推移



毎年増加しており、近年は、ベトナム人の増加が目立ちます。

3. 日本に住む外国人人数

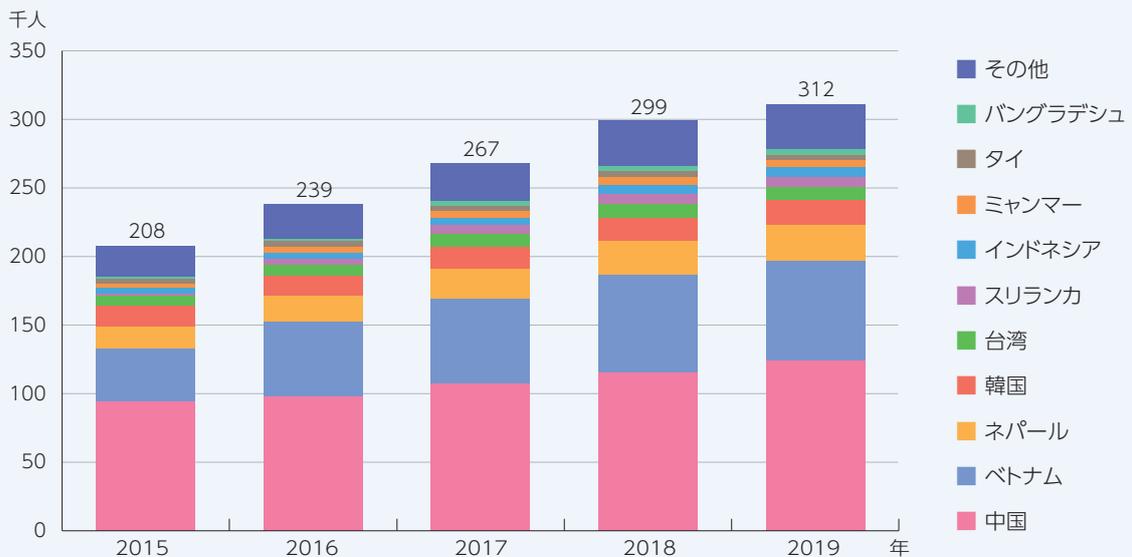
2019年 在留資格別外国人の割合



法務省・在留外国人統計

現在の在留資格の中では、留学や技能実習などの資格で在留する外国人の増加が目立っています。また、新たな在留資格「特定技能」の創設により、今後も在留外国人の総数は増加すると見込まれています。

外国人留学生数の推移

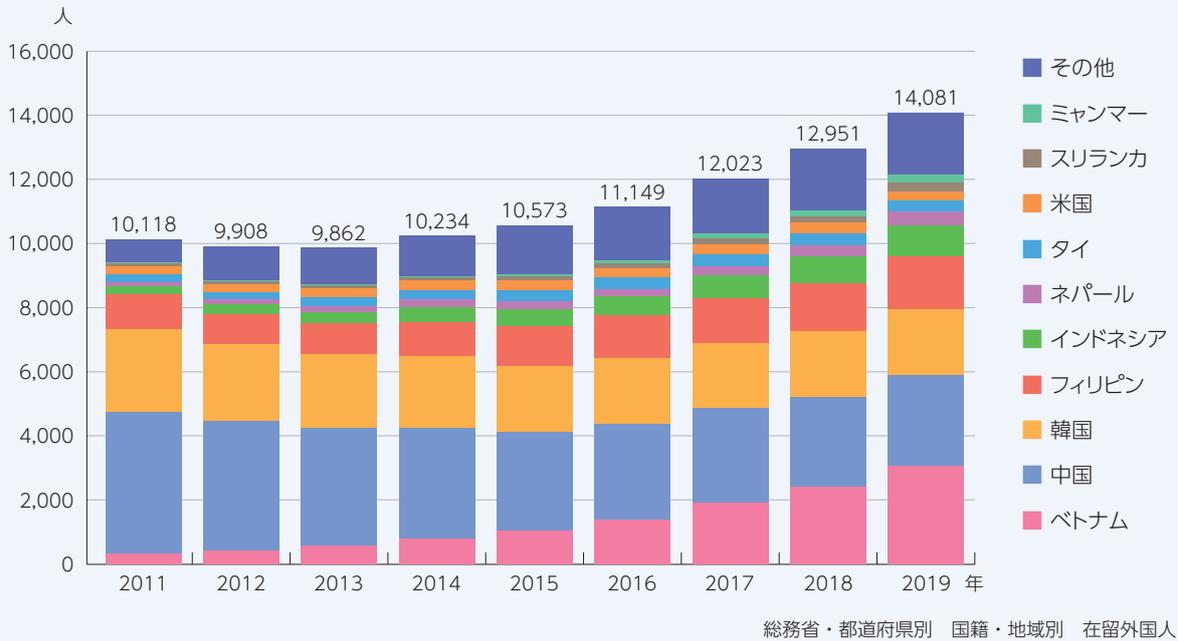


独立行政法人 日本学生支援機構

毎年外国人留学生数は伸びており、ほとんどがアジア地域からの留学生となっています。また、ベトナムからの留学生が大きく増えています。

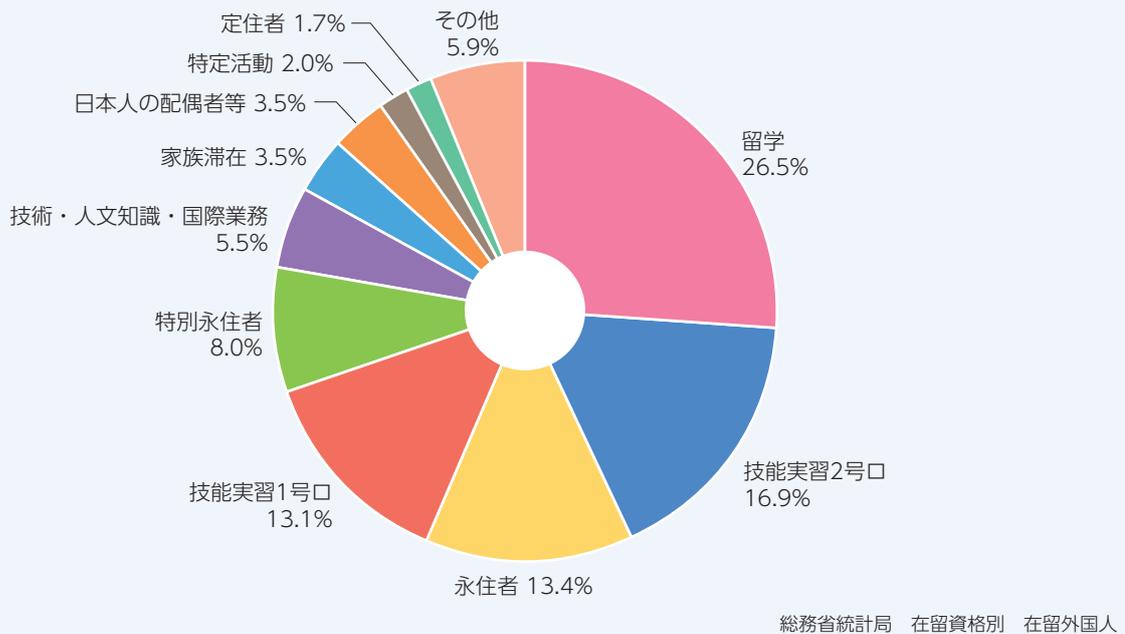
4. 大分県に住む外国人数

大分県に住む外国人数の推移



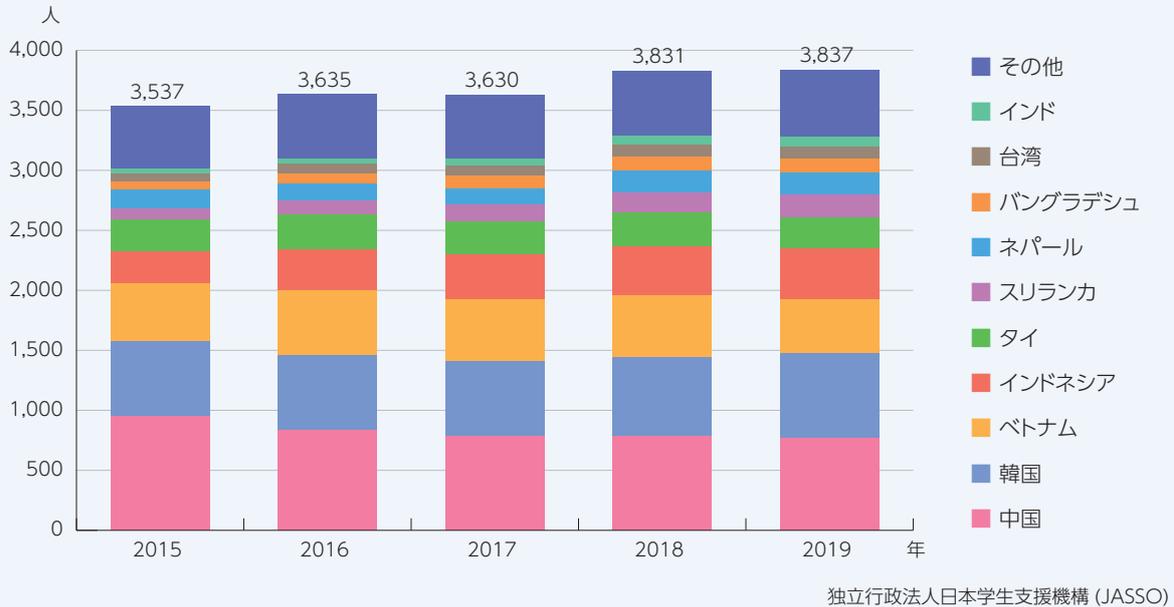
2013(平成21)年以降年々増加しており、2019年にはベトナムが中国を抜き1位となりました。

2019年 大分県の在留資格別外国人数の割合



「留学」が最も多く全体の約3割弱を占めますが、「技能実習」では「2号口」「1号口」の合計で約3割となります。

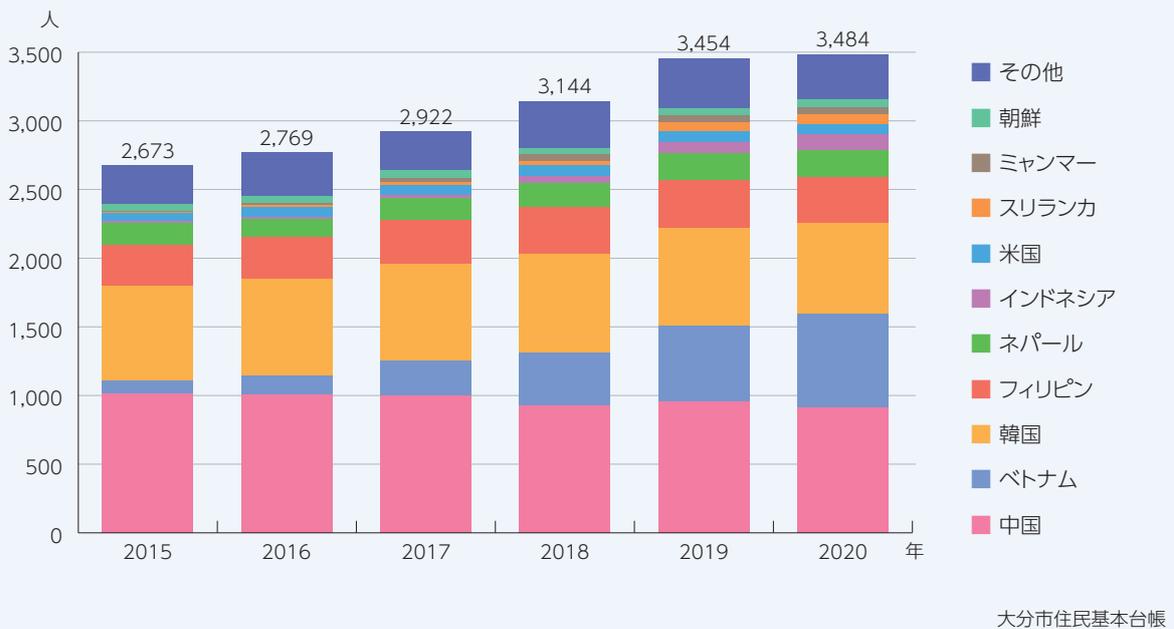
大分県の外国人留学生の推移



大分県の留学生数は、短大・大学院を含む大学及び高等専門学校に在籍する留学生数についてはわずかに減少しているものの、専修学校、日本語学校を含めた留学生数については微増しています。2019年では、人口10万人当たりの留学生数が京都府、東京都に次いで第3位(316.4人)となっています。

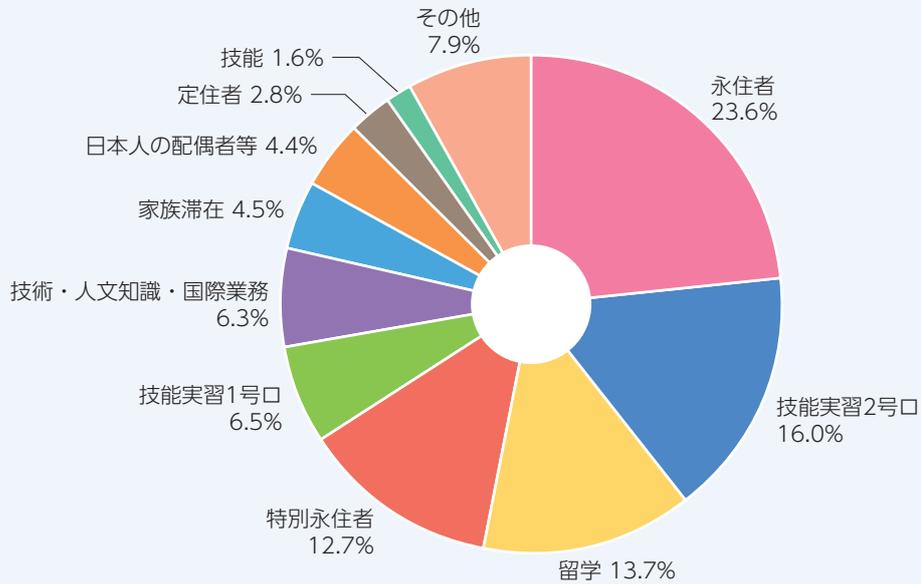
5. 大分市に住む外国人数

大分市に住む外国人数の推移



2015(平成27)年以降一貫して増加しており、特にベトナムが増加しています。

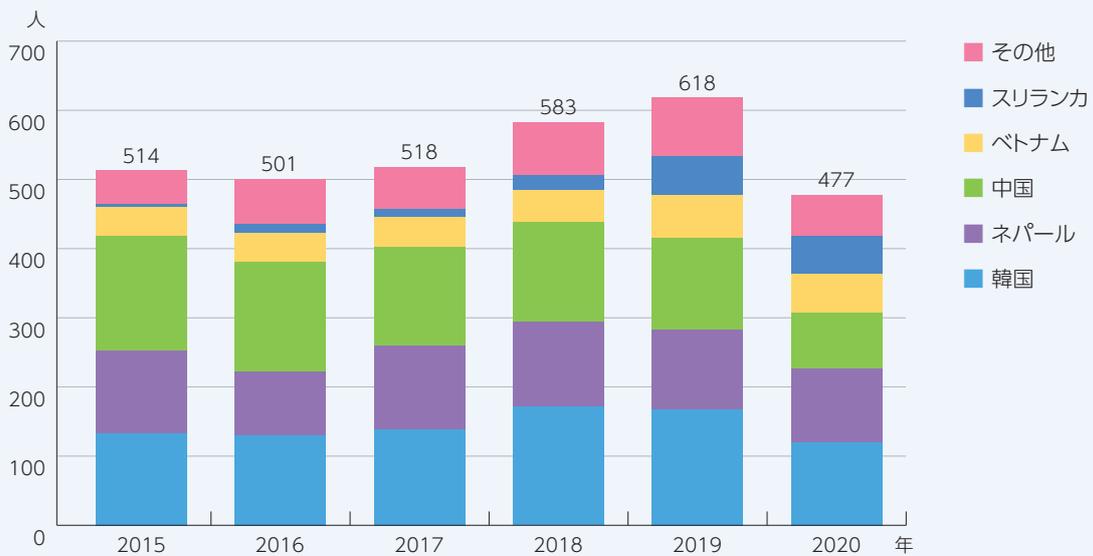
大分市の在留資格別外国人数の割合



大分市住民基本台帳 2020(令和2)年

「留学」が13.7%と、全国の11.8%に比べ高くなっています。また、近年は「技能実習」の割合が高くなっており、「2号口」「1号口」の合計で22.5%となっています。

大分市の外国人留学生数の推移



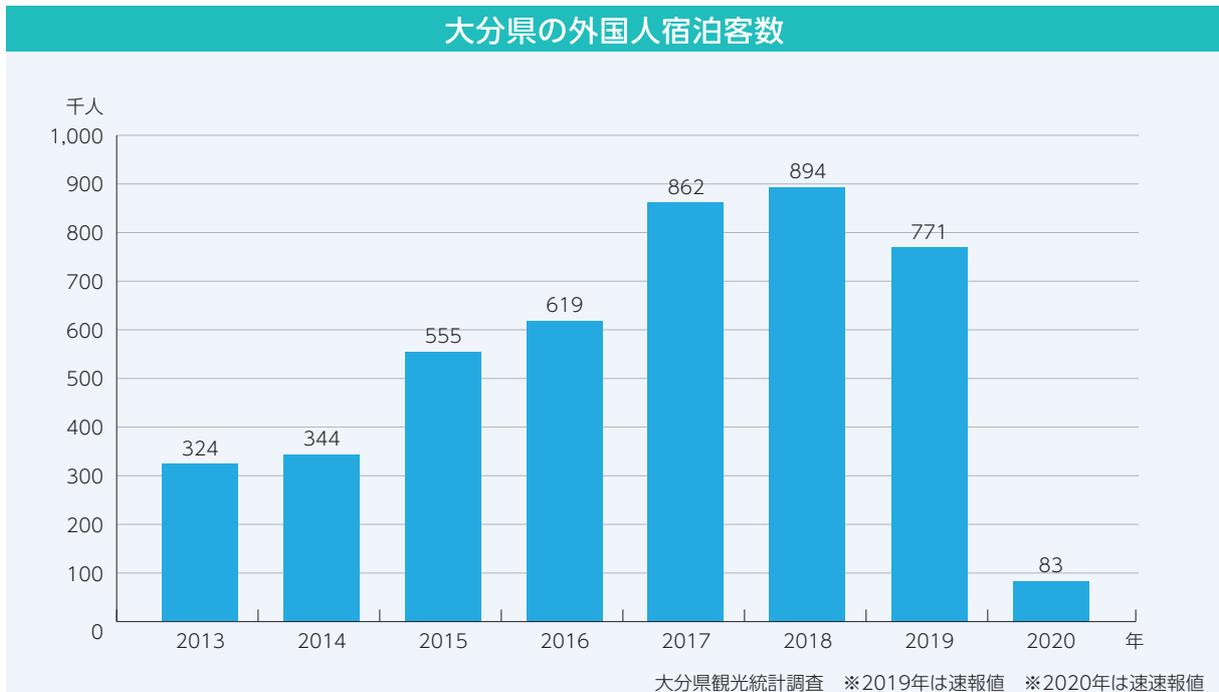
大分市住民基本台帳

近年は増加していましたが、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少しました。

6. 外国人宿泊客数

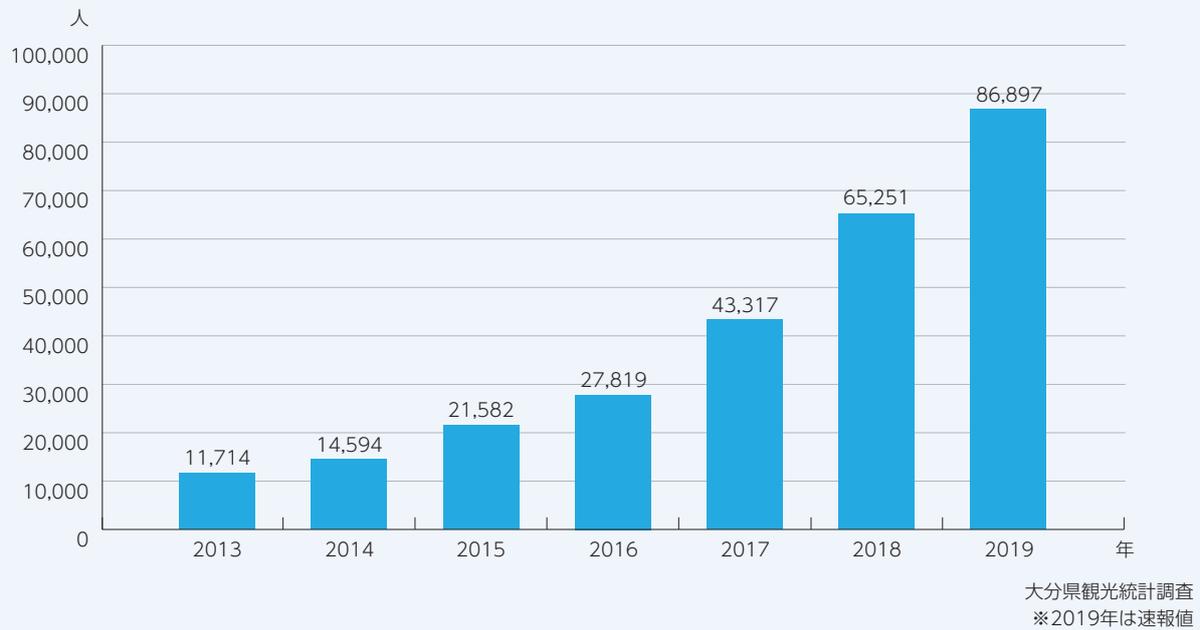


近年は急激に増加しており、特に2019年9月には、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の影響で、欧米や豪州が増加しました。2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急激に減少しています。



近年は増加していましたが、2019(令和元)年は、特にラグビーワールドカップ2019™日本大会のあった10月を除き、韓国からの宿泊客の減少に伴い4月以降は前年を下回っており、対前年比13.8%減となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、2020(令和2)年の速報値では大幅に減少しています。

大分市の外国人宿泊客数



近年は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、2020年は急激な減少が見込まれます。

7. 第3次大分市国際化推進計画の評価

(1) 目標の達成状況

第3次大分市国際化推進計画(2016(平成28)年度～2020(令和2)年度)で掲げた目標数値の達成状況は以下のとおりです。

推進テーマ「国際交流・国際協力」で掲げた6項目中、4項目について「達成」となり、2項目について「基準値を上回っているが未達成」となっています。特に「外国人が参加したイベント数」については、新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響しました。

推進テーマ「多文化共生」で掲げた2項目については、いずれも「達成」となっています。

推進テーマ	施策	目標	基準値	目標値	実績	目標達成状況
国際交流・国際協力	【施策1】 国際感覚豊かな人づくりの推進	外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数	22,772人 (2014年度)	40,000人 (2020年度)	40,242人	目標値を上回っており「達成」している
		国際課公式Facebookページのフォロワー件数	—	318件 (外国人住民の約1割)	340件	目標値を上回っており「達成」している
	【施策2】 まちの活性化につながる国際交流の推進	ラグビーワールドカップ2019大分開催で設置する交流スペース「ファンゾーン」等への来場者数	—	250,000人 (50,000人×大分市開催5試合)	352,700人	目標数値を上回っており「達成」している
		海外への経済交流支援企業数	335件 (2003～2014年度累計)	575件 (2016～2020年度累計)	389件	基準値を上回っているが「未達成」である
		外国人が参加したイベント数	16イベント (2014年度)	20イベント (2016～2020年度平均)	17件	基準値を上回っているが「未達成」である
	【施策3】 国際協力の推進	国際協力事業のサポート件数	14件 (2014年度)	20件 (2016～2020年度平均)	30件	目標数値を上回っており「達成」している
多文化共生	【施策4】 多文化理解の促進	国際化、多文化共生イベントへの参加者数	20,538人 (2014年度)	25,000人 (2016～2020年度平均)	34,630人	目標数値を上回っており「達成」している
	【施策5】 外国籍を有する市民への生活オリエンテーション等の実施数	外国籍を有する市民への生活オリエンテーション等の実施数	35件 (2014年度)	50件 (2016～2020年度平均)	70件	目標数値を上回っており「達成」している

第5章 計画の体系

計画全体の体系図です。基本方針、推進テーマ、施策と目標を設定し、推進していきます。

本計画を策定するにあたり、本市の国際化の現状を把握し、計画に反映させるため、以下のアンケート調査を実施しました。各種調査結果については、巻末の資料「大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査～報告書～」に掲載しています。

(1) 令和元年度 大分市民意識調査

調査期間：令和元年 11月15日～12月13日

(2) 令和2年度 大分市の国際化に関するアンケート調査(留学生・国際関係団体・企業等)

調査期間：令和2年 8月17日～9月18日

基本理念

世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”

基本方針

地域の発展や課題の解決に向け、国際交流・国際協力を推進するとともに、グローバル人材の育成や共生社会の実現に取り組みます。
また、民間の活動を積極的に支援するなど、市民との連携により、本市の個性や魅力を生かした国際化を推進します。

推進テーマ

推進テーマ①

〈国際交流・国際協力〉

多彩な国際交流・国際協力によるまち・ひとの活力の創出

国際交流の主役である市民や団体、企業などが多彩な国際交流・国際協力・経済交流を通じて相互に長所を活かし、それぞれが魅力を高めることにより、新たな地域活力を創出します。

施策1 グローバル人材の育成

目標①：外国人と交流し、世界へ目を向けよう
目標②：国際化の情報に関心を持つよう

施策2 国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり

目標①：国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくらう
目標②：海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう

施策3 地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進

目標①：海外ビジネスにチャレンジしよう

施策4 持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進

目標①：身近でできる「国際協力」から始めてみよう

推進テーマ②

〈多文化共生〉

外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちづくり

外国にルーツを持つ人々も含めたすべての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりを目指します。

施策5 人権尊重を基調とした多文化理解の促進

目標①：国際化・多文化共生イベントに参加しよう

施策6 あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり

目標①：外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

施策と目標

※外国にルーツを持つ人々

外国籍を有する人、両親またはそのどちらか一方が外国出身者である人、海外で生まれ育った日本国籍の人など、外国につながりを持つ多様な人々のこと。

※新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症拡大の対策が講じられる間は、「新たな生活様式」に即した交流への対応が必要であり、特に、派遣や受入が伴う海外都市との交流については、状況を注視しながら安全が確認された上で実施していきます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大は、オンラインを活用した新たな交流機会の増加にもつながりました。こうした ICT 技術を活用した新たな交流は、世界とのコミュニケーションをリアルタイムで実現可能にさせ、多くの人に新たな交流のチャンスを展開できる好機ともなりました。このような新たな交流形態についても、各施策において幅広く進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が収束したのちには、ICT 技術の活用等新たな生活様式で得たメリットを踏まえながら、姉妹友好都市をはじめとする海外都市との積極的な交流を進めていきます。

第6章 施策と目標

推進テーマ：国際交流・国際協力

施策
1

グローバル人材の育成

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

本市では、青少年が世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では外国語指導助手(ALT)※が授業へ参加し、交流を行っています。また、様々なイベントを通し青少年が外国人と触れ合う機会を提供してきました。

今後は、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性を持つ、グローバル人材の育成に向け、青少年が外国人と交流する機会を創出することで、自らが海外へチャレンジし、道を切りひらいていくための力を養う取組が必要となってきます。

また、豊かな国際感覚を持ち、世界で活躍できる青少年を育成するために、身近な国際化の情報に興味を持ち、国際的な視野を育んでいくことが必要です。

将来像 視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性※を受け入れる力が身につきます。

目標① 外国人と交流し、世界へ目を向けよう

目標② 国際化の情報に関心を持とう

これまでの主な取組例

① 外国人と交流し、世界へ目を向ける事業

事業名	担当課
青少年国際理解推進事業：リトルオースチン村	国際課
留学生生活用事業：おでかけENGLISH	国際課
日中友好交流都市中学生卓球交歓大会大分市選手団派遣事業	国際課
姉妹都市アベイロ市40周年記念事業	国際課
友好都市武漢市中学校交流事業	学校教育課
友好都市武漢市小学生受入事業	国際課、学校教育課
友好都市武漢市車いすマラソン選手受入事業	国際課
幼稚園、小学校、中学校ALT派遣事業	学校教育課
フィジー共和国との交流事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局
公民館での各種交流事業	市民協働推進課

② 国際化の情報に関心を持つための事業

事業名	担当課
大分市国際課公式Facebookページ事業	国際課

数値
目標

外国人と交流する事業に参加した子どもの数：43,000人 (2024年度)

※外国語指導助手(ALT)

小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人。

※多様性

ここでは、多国の文化や習慣などの様々な違い。

施策
2

国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

2019年のラグビーワールドカップ2019™日本大会では、大分市は準々決勝2試合を含む5試合が実施され、欧米を中心に多くの外国人観光客が訪れました。これを機に本市の伝統文化の紹介やボランティア等によるおもてなしにより、大分市のファンを増やすことができました。また、多くの市民にとっても言葉を超えて一緒になって盛り上がったこの経験が、忘れがたいレガシーとして残りました。

今後も本市の持つ豊かな自然や歴史、文化、観光資源など、多様な魅力をすべての市民で共有するとともに、様々な形で国内外に発信することで、人々を惹きつけ、訪れた人が満足、感動できるまちづくりを目指します。

将来像 本市の魅力を国内外に発信し、国内外の人々から活力を取り込むことで、まちの活性化につながります。

目標① 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう

目標② 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう

これまでの主な取組例

① 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくる事業

事業名	担当課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
武漢市・オースチン市ミュージシャン「おおいた夢色音楽祭」招へい事業	国際課
姉妹都市オースチン市マラソン交流事業	国際課
おおいたワールドフェスタ	国際課
国際化・国際交流イベント支援事業	国際課
姉妹都市アベイロ市提携40周年記念事業	国際課
武漢市友好都市締結40周年記念事業	国際課
「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭・おおいた大会」大分市関連事業	国際課ほか
ラグビーワールドカップ2019™日本大会関連事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか
フィジー共和国文化交流事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか
大分国際車いすマラソン事業	障害福祉課
共生社会ホストタウンイベント「スイスフェア」	障害福祉課
「商都復活支援事業」を活用したイベント支援事業	商工労政課
別府アルゲリッチ音楽祭	文化振興課

② 国内外からの訪問者を「おもてなし」し大分市のファンを増やす事業

事業名	担当課
無料公衆Wi-Fiスポットの拡大	情報政策課
ラグビーワールドカップ大分開催で設置する交流スペース「ファンゾーン」の設置	東京オリンピック・パラリンピック推進局
パンフレット、案内標識等の多言語化	観光課ほか
国内外における大分市のプロモーション	おおいた魅力発信局ほか

数値
目標

姉妹友好都市をはじめとした海外都市との交流件数：100件

(2021～2024年度の累積)

施策
3

地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

大分市はポルトガルアベイロ市、米国オースチン市、中国武漢市と、長年にわたり姉妹友好都市の関係にあります。この関係を活かし、これまで中国武漢市への進出のサポートなど、世界各地へ進出しようとする中小企業を後押ししてきました。

今後も、姉妹友好都市をはじめとした海外への新たな販路拡大にチャレンジする企業に対し、ジェトロ等の支援機関と連携し、商談会や交流会、展示会を実施する等のサポートを行うことで、海外への販路開拓を目指す企業を支援し、海外の成長市場を取り込むことで地域の産業を活性化して、まちの活性化へとつなげます。

将来像

大分市が誇る産品などの地域資源や多種多様な観光資源などを世界に向けて発信することで、地域経済活性化につながります。

目標①

海外ビジネスにチャレンジしよう

これまでの主な取組例

① 海外ビジネスへのチャレンジへのサポート事業

事業名	担当課
海外向け販路拡大商談会の開催	創業経営支援課
姉妹友好都市へのビジネス展開のサポート	創業経営支援課
展示会等への参加に対する支援	創業経営支援課

数値 目標

海外展開支援件数：200件 (2020～2024年度の累積)

※「大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年)」目標値 目標値の年限は、大分市総合計画に準じます

施策
4

持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

グローバル化の進展により、世界で起こる出来事がわたしたちの日々の生活に大きな影響を与えている中で、国際社会の一員として、国際社会の平和と安定、発展のため、世界で起きている貧困や環境破壊等の人類共通の課題を解決していくことが求められており、2015年9月の国連サミットにおいて採択されたSDGs(持続可能な開発目標)^{*}の達成に向け、世界各国が協力し積極的に取り組むことが求められています。

本市においても、友好都市中国武漢市との間で環境分野における協力・交流事業を展開するなど、さまざまな分野において本市が持つ技術やノウハウを活用しながら、国際協力を推進しています。また、国際関係団体、機関等と連携し、市民レベルにおける国際協力の活発化に向けた取組も行っています。

このような国際協力は、本市が世界に誇れる世界的プレゼンスとして、地域の魅力の再発見や郷土の誇りへとつながり、新たな地域活動の道が開け、異文化理解・多文化共生の意識が育まれるなど、さらなる地域活性化や、国際性を持つまちづくりに発展する可能性も秘めています。また、一方的な支援だけでなく、双方が経験を分かち合い、メリットを得られる“win-win”の効果をもたらす国際協力は、本市の持続的な発展につながっていくこととなります。

今後も、様々な主体とともに、国際協力や都市間連携などを通して、本市が国際社会の一員としての役割を果たしていくことが必要です。

将来像

国際協力・国際貢献活動に取り組むことで、持続的な世界の平和・発展につながるるとともに、本市の魅力の発信や様々な分野における発展につながり、ひいては地域の発展へとつながります。

目標①

身近でできる「国際協力」から始めてみよう

これまでの主な取組例

① 国際協力推進事業

事業名	担当課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
JICA青年海外協力隊派遣事業	国際課
友好都市武漢市との大気環境改善事業	環境対策課
友好都市武漢市とのごみ分別・減量促進事業	環境対策課
友好都市武漢市との水質環境改善事業	環境対策課
消防車コンゴ共和国寄贈、技術指導(「草の根・人間の安全保障無償資金協力」寄贈事業)	消防局
日本・タイ知識交流セミナー(ごみ減量支援)	ごみ減量推進課

数値目標

国際関係団体や市民への国際協力事業サポート件数: 35件

(2021~2024年度平均値)

※SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

推進テーマ：多文化共生

施策
5

人権尊重を基調とした多文化理解の促進

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

わが国では、超高齢社会、人口減少社会を迎えたことにより、地域においてコミュニティ機能の低下が社会問題となっている一方、日本に住む外国人数は年々増加しており、今後は外国人市民も地域社会の役割を担うことが期待されています。

このような中、文化や習慣などの異なる人々が、お互いの違いを理解し、対等な関係を築きながら地域社会の構成員としてともに暮らしていくためには、多文化理解によるまちづくりが必要です。

また、多文化理解は、本市に居住するすべての人々にとっても暮らしやすいまちにつながるだけでなく、本市の持続的な発展や、本市を訪れる外国人観光客等の満足度を高めることにもつながります。

本市ではこれまで、様々な国の文化や習慣に気軽に触れることができるイベントや、留学生との交流事業、公民館等での外国の料理教室や多文化理解講座などを行ってきました。今後も、市民の多文化理解の促進につながる事業を実施します。

将来像 市民が多文化理解に関する知識と認識を深め、人権尊重を基調とした差別をしない、させない多文化共生社会が実現します。

目標① 国際化・多文化共生イベントに参加しよう

これまでの主な取組例

① 国際化・多文化共生イベント事業

事業名	担当課
おおいたワールドフェスタ	国際課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
多文化共生出張講座	国際課
国際化・国際交流イベント支援事業	国際課
[第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会]大分市関連事業	国際課ほか
各公民館で実施する国際化・多文化共生関連イベント	市民協働推進課
ラグビーワールドカップ2019™日本大会関連事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか

数値
目標

国際化・多文化共生イベントへの参加者数：38,000人 (2020～2024年度平均値)

※ [大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年)] 目標値 目標値の年限は、大分市総合計画に準じます

施策
6

あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり

■現在の取組・未来へのビジョン・課題

2020年12月末現在、本市には3,484人の外国人が在住しています。市内総人口に占める外国人の割合は、全国と比較して高くはありませんが、国の動向からも近い将来、外国人の増加が予想され、言語、文化、生活習慣、制度等の違いから、新たな地域課題が生じることも考えられます。

また、外国人も日本人と同様に、生活期間が長くなるにつれて単身者から家族へ、結婚・出生から子供の育児・保育・教育へ、労働者から起業家へなど、地域における役割も変容していきます。その際に、日本人社会と断絶された別社会ではなく、共存共栄の関係をつくる必要があります。そのためには、外国にルーツを持つ人々も地域で活躍できる環境を整備することで、積極的に外国にルーツを持つ人々の地域社会への参加を促すなど、地域全体のあり方を見据えた新しい地域社会のシステムづくりが必要となってきます。

このようなことから、今後も多様な人々がともに活躍できるよう、外国にルーツを持つ人々にとっても暮らしやすい環境づくりを進めるとともに、市民や関係団体との連携により、多様性を尊重し、ともに支え合う意識の醸成を行うことが必要です。

将来像

あらゆる国籍の人々がともに地域を支え、それぞれの持てる力を最大限発揮することで、だれもがふるさとと思えるまちになり、地域の持続的な発展につながります。

目標①

外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

これまでの主な取組例

① 外国にルーツを持つ人々も暮らしやすい環境づくりのための事業

事業名	担当課
外国人来庁者への多言語対応	国際課ほか
留学生向け生活オリエンテーション	国際課ほか
技能実習生に対する生活オリエンテーション	国際課ほか
留学生向けごみ分別指導・啓発の講習会	ごみ減量推進課
外国人市民への住宅防火推進事業	消防局警防課

数値 目標

多言語による大分市からの情報発信件数：200件

(2021～2024年度の累積)

7章 推進体制

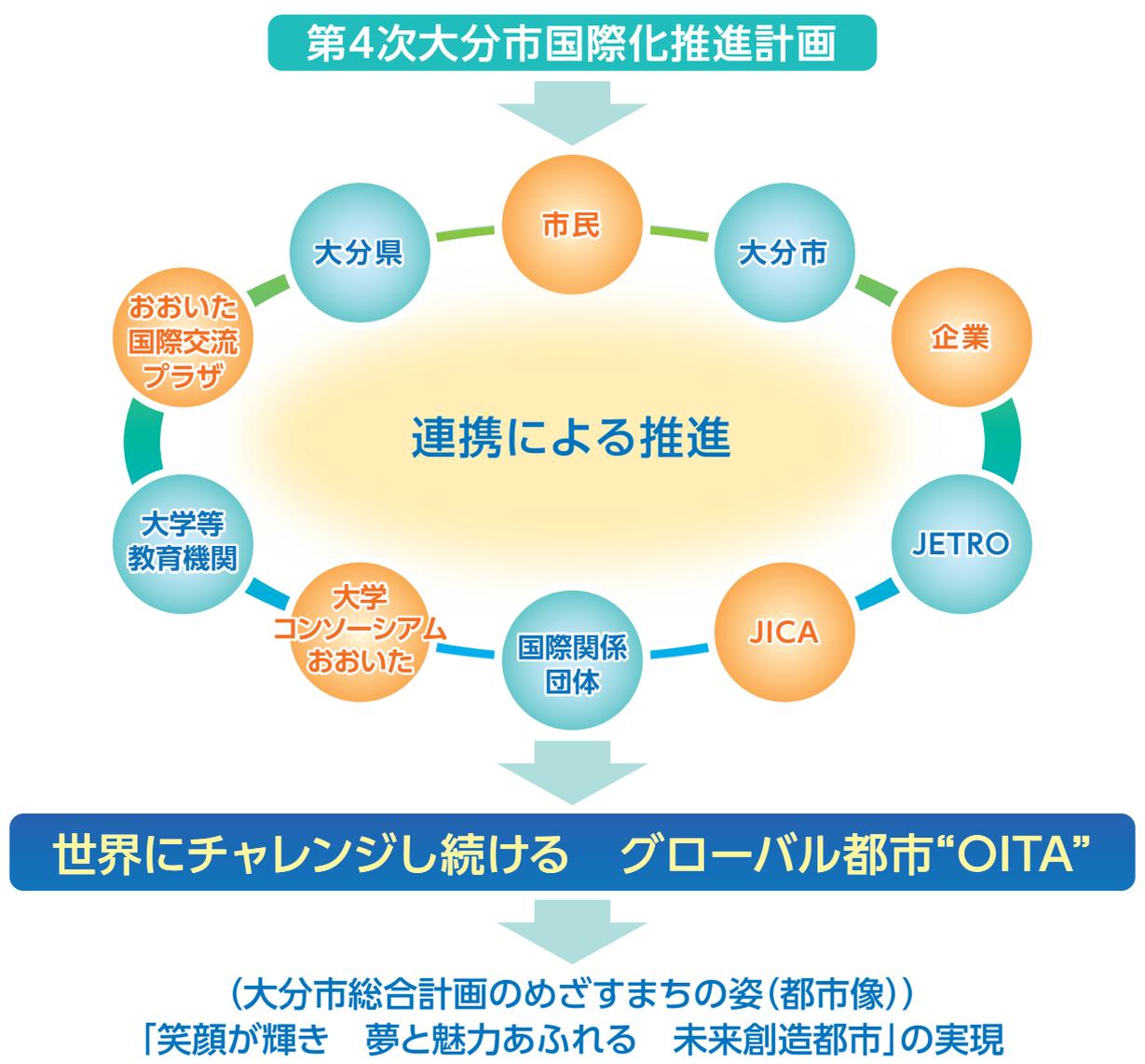
1 様々な主体の参画・連携

本市の国際化を推進していくためには、行政だけではなく、市民一人ひとり、企業、国際関係団体等との連携・協力・協働による取組が必要です。そのため、本市の国際化推進の活動基盤として、市民、企業、国際関係団体等とのネットワークを構築し、様々な主体の活動を通して国際化を推進していきます。

2 計画の進捗管理

本計画及び国際化施策の推進には、庁内の関係各課の理解と取組、計画の推進体制の整備が必要です。そのため、計画の推進にあたっては、毎年進捗状況や新規事業の確認を行うとともに、必要に応じて関係課を集めた会議を開催し、国際化の推進に向けた取組を総合的に推進していきます。

●推進体制のイメージ



8章 国際関係団体の紹介

大分市にはさまざまな国際関係団体があります。ここでは、主な団体を紹介します。

おおいた国際交流プラザ

●主な事業

「おおいた国際交流プラザ」では、日本人と在住外国人がお互いを理解しながらともに住み良い県を目指す「多文化共生社会」の実現に向け、さまざまな講座やイベント、外国人のための無料相談会等を開催しています。また、登録ボランティアによる通訳・翻訳の支援や、国際交流・協力等に関するさまざまな情報の提供などを行っています。

また、おおいた国際交流プラザ内の「大分県外国人総合相談センター」では、県内に暮らす外国人や、その関係者等に対して、仕事や普段の生活等で困ったこと、心配なことなどについて、多言語による相談を受け付けています。



●住所／〒870-0029

大分市高砂町2番33号 iichiko 総合文化センター(B1F)

●電話／097-533-4021(おおいた国際交流プラザ) 097-529-7119(大分県外国人総合相談センター)

●FAX／097-533-4052(おおいた国際交流プラザ・大分県外国人総合相談センター)

大学コンソーシアムおおいた

●主な事業

特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおいたは、県内の大学と、経済界、行政、民間団体等が加盟しているNPO法人です。地域と留学生の共生、そして留学生のチカラを活かした魅力ある地域づくりを目的としています。留学生による語学教室や料理交流などの地域交流のほか、留学生の地域活動の支援、就業・起業の支援などさまざまなプログラムを行っています。

●住所／〒870-0839

大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分2F

●電話／097-578-7400

●FAX／097-578-7401



JICAデスク大分

●主な事業

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う機関として、海外拠点約100か所、国内拠点約15か所を構え、世界の開発途上国への技術的・資金的な協力を行っています。JICAデスク大分は「大分県のJICA窓口」として、自治体や地域国際化協会等と連携した国際協力事業の広報啓発活動の推進や開発教育支援事業の実施、海外協力隊への参加促進等、幅広く取り組んでいます。これらの業務を通じて、地域における国際理解の増進、国際協力活動の推進、連携促進を図ることを目的としています。

- 住所／〒870-0029
大分市高砂町2番33号 iichiko 総合文化センター（B1F）
おおいた国際交流プラザ内
- 電話／097-533-4021
- FAX／097-533-4052



ジェトロ大分

●主な事業

日本貿易振興機構（ジェトロ）は、70カ所を超える海外事務所ならびに本部（東京）、大阪本部、アジア経済研究所および国内事務所をあわせ約40の国内拠点から成る国内外ネットワークをフルに活用し、対日投資の促進、農林水産物・食品の輸出や中堅・中小企業等の海外展開支援に機動的かつ効率的に取り組むとともに、調査や研究を通じ我が国の企業活動や通商政策に貢献します。

- 住所／〒870-0037
大分市東春日町17-19
大分ソフィアプラザビル4階
- 電話／097-513-1868
- FAX／097-513-1881



■大分市国際化推進計画改定の経緯

年月日	内 容
2020(令和2)年 5月	第4次大分市国際化推進計画策定委員会設置要綱施行
7月28日	委嘱状交付 ★第1回策定委員会 3次計画の概要及び取組状況、4次計画策定の背景、計画の体系
8月	国際化推進に関するアンケート調査(留学生、団体、企業等) ※市民意識調査は2019(令和元)年11月～12月に実施
10月29日	★第2回策定委員会 4次計画の基本理念、計画の骨子
12月22日	★第3回策定委員会 4次計画の素案
2021(令和3)年 1月18日～ 2月19日	市民意見公募手続(パブリックコメント)実施
3月5日	市長へ最終提言
3月31日	第4次大分市国際化推進計画 決定

【市民意見公募手続概要】

募 集 期 間：2021(令和3)年1月18日～2月19日

閲 覧 方 法：国際課、情報公開室、各支所もしくは市ホームページ

応 募 方 法：・市内に住所がある方

- ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他団体の方
- ・市内の事務所または事業所に勤務する方
- ・市内の学校に在学する方
- ・その他市民意見公募手続に係る事案に利害関係を有する方

応 募 様 式：様式は自由

必須記入事項：氏名又は名称、住所または事務所もしくは事業所の所在地
法人その他の団体に当たっては代表者の氏名

応 募 方 法：直接または郵送、ファクス、電子申請システム

応 募 件 数：3件

■第4次大分市国際化推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 第4次大分市国際化推進計画(以下「計画」という。)の策定に関し、広く市民の意見を聴くため、第4次大分市国際化推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討を行い、その結果を市長に報告するものとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他計画の策定に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 公募による市民
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 市の職員
- (6) その他市長が必要と認める者

(参画依頼等の期間)

第4条 委員の参画依頼又は任命の期間は、計画が策定される日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(報償金等)

第7条 委員(第3条第2項第5号に規定する委員を除く。)に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、企画部国際課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和2年5月25日から施行する。

(この要綱の失効)

- 2 この要綱は、計画が策定される日限り、その効力を失う。

■大分市国際化推進計画策定委員会委員名簿

<第1次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	五十嵐 副夫	大分大学経済学部教授、大分大学経済学部教育支援室長	
副委員長	児玉 貞夫	社会福祉法人永生会理事長、特別養護老人ホーム清流苑苑長 大分県社会福祉施設経営者協議会会長	
	足立 紀男	特定非営利活動法人技術サポートネットワーク大分設立発起人 財団法人大分県産業創造機構前コーディネーター	
	池邊 和壽	有限会社日本建装工業代表取締役、大分県ベンチャー協議会 副会長	
	印 成銀	有限会社総合企画A・E代表	
	加納 照彦	Japan Ecology Logistics株式会社取締役 前大分市国際化推進懇話会委員	
	後藤 一裕	大分市議会副議長	H17.3.9まで
	佐藤 真紀	大分交響楽団コンサートミストレス	
	下郡 友子	有限会社下郡園芸社長	
	ジュリー・ヌートバー	おおいた都心まちづくり会議委員、初代大分市国際交流員 別府大学短期大学部講師、大分大学非常勤講師	
	秦 康雄	大分市自治員連絡協議会副会長	
	田島 アンナ	前大分市国際化推進懇話会委員、大分外国人妻の会会長	
	開 静子	大分市都市計画審議委員、大分県不動産鑑定士協会広報委員	
	安枝 楠游	雪舟国際美術協会理事、国連平和大使	
	幸 健	学校法人城南学園理事長	
	渡部 義美	大分市議会副議長	H17.3.10から

<第2次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	五十嵐 副夫	大分大学経済学部教授、大分大学経済学部教育支援室長	
副委員長	高橋 英子	大分市教育委員(委員長職務代理者)、別府大学非常勤講師	
副委員長	橋本 均	株式会社マリーンパレス代表取締役社長	
	井澤 蓮象	大分市生涯学習指導者、元駐スーダン大使、国際協力事業団室長	
	太神 みどり	特定非営利法人大学コンソーシアムおおいた総合マネージャー	
	甲斐 豊子	大分温室協同組合	
	郭 麗莎	大分市国際交流嘱託職員	
	加島 兼芳	大分市自治委員連絡協議会副会長	H22.4.8まで
	ジュリー・ヌートバー	大分県立芸術文化短期大学専任講師、初代大分市国際交流員	
	白沢 史子	財団法人大分県文化スポーツ振興財団理事、大分交響楽団 副理事長	
	谷口 世志子	青年海外協力隊員OG 特定非営利活動法人森と海の共生・ネットワーク事務局長	
	姫野 恭志	大分市自治委員連絡協議会幹事	H22.11.17から
	本庄 剛	独立行政法人日本貿易振興機構大分貿易情報センター所長	
	リシャルドソン・ マガリエンス	大分トリニータ育成部 U-15コーチ	

<第3次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	安岡 正義	国立大学法人大分大学経済学部教授(国際教育研究センター長)	
副委員長	橋本 均	株式会社マリーンパレス代表取締役社長	
	足立 恵理	大分人権教育ワークショップ研究会 代表	
	井澤 蓮象	元駐スーダン大使	
	太神 みどり	特定非営利法人大学コンソーシアムおおいた総合マネージャー	
	岡野 祐介	独立行政法人日本貿易振興機構 大分貿易情報センター長	H27.8.26から
	小野 久美子	市民公募委員	
	甲斐 武彦	おおいた産品等海外ビジネス促進協議会 副会長	
	清田 芳弘	学校法人文理学園 日本文理大学別科日本語課程 別科長	
	白沢 史子	NPO国際チェロアンサンブル協会 理事長	
	玉井 昇	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科 准教授	
	トメック・ジェンバ	独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校助教	
	松村 亮	独立行政法人日本貿易振興機構 大分貿易情報センター長	H27.7.14まで

<第4次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	下田 憲雄	大分大学経済学部教授 大分大学国際教育研究推進機構副機構長(国際教育推進センター長)	
副委員長	疇谷 憲洋	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科学科長・教授	
	井本 望	独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA九州)国際協力推進員	
	太神 みどり	NPO法人大学コンソーシアムおおいた事務局長代理	
	佐野 真紀子	株式会社日本政策投資銀行大分事務所副調査役	
	辛 樹玲	市民公募委員	
	トメック・ジェンバ	大分工業高等専門学校助教	
	馬場 啓爾	独立行政法人日本貿易振興機構大分貿易情報センター所長	
	原 ジェームス	大分外国語サポート協同組合代表	
	伊藤 英樹	大分市企画部長	
	永松 薫	大分市商工労働観光部長	
	佐藤 雅昭	大分市教育部長	

※委員長、副委員長、それ以降は50音順、敬省略
(所属等は委員在任当時のもの)

第4次大分市国際化推進計画策定委員会の様子



大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査
— 報告書 —

目次

I 調査計画

II 個人調査結果

【1】回答者の属性

1. 性別構成比 3
2. 年齢別構成比 3

【2】大分市の国際化施策について

1. 大分市と海外の交流の意見 4
2. 大分市と海外の交流の期待 5
3. 海外との交流の取り組み 6
4. 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組み 8

III 留学生調査結果

【1】回答者の属性

1. 年齢別構成比 10
2. 留学生の種類 10
3. 学校 11
4. 専攻 12
5. 大分市での居住 13
6. 居住年数 13
7. 居住の理由 14

【2】国際交流の実態や意識について

1. 1ヶ月の生活費 15
2. 奨学金の受給状況 17
3. 1か月あたりの奨学金の受給額 19
4. アルバイトの種類 20
5. アルバイトに対する希望 21
6. 住居形態 22
7. 同居者（ルームシェア等）の有無 23
8. 1か月の家賃 25
9. 住居の不満 26

【3】国際交流に対する意識や意向などについて

1. 学校や仕事以外での日本人との交流 27
2. 市民との国際交流の希望 29
3. 必要な生活情報の入手先 31
4. 現在、最もほしいと思う情報 33
5. 生活の問題 36
6. 大分の好きなおところ 37

【4】卒業した後について	
1. 卒業した後の予定	40
【5】その他	
1. 新型コロナウイルスで困っていること	41
2. 大分の生活などについての意見	43

IV 国際交流団体調査結果

【1】団体の属性	
1. 団体の形態	44
2. 会員数	44
3. 会員の主な職業	45
4. 団体運営の主な財源	45
【2】活動について	
1. 国際交流・協力活動	46
2. 活動上の問題点や課題	49
3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	52
4. 国際交流・協力をを行う場合の行政に対する希望	55
【3】大分市の事業について	
1. 大分の事業の認知度	58
【4】全般について	
1. 新型コロナウイルスについての意見	59
2. 大分市の国際化・国際戦略についての提言、要望	62

V 企業調査結果

【1】企業の属性	
1. 企業の業種	63
2. 外国人の雇用	64
3. 事業の海外展開	65
【2】外国人労働者の受け入れについて	
1. 外国人労働者への支援	67
2. 外国人労働者を受け入れることに関する課題	68
【3】海外展開	
1. 姉妹・友好都市関係の実施内容	71
2. 注目している国・地域	72
3. 海外市場に展開するにあたるリスク	73
4. 海外展開のやってみたいこと	74
【4】海外展開に関する支援	
1. 利用した支援先	75
2. 利用したい支援先	76
3. 海外展開の支援の期待	79

【5】 行政の施策について	
1. 政府に対する期待	80
2. 「第3次大分市国際化推進計画」の事業	81
【6】 全般について	
1. 今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等についての意見	82
2. 大分市の国際化・国際戦略についての意見・要望	84

I 調査計画

【1】調査の目的

本調査は、本市の国際化諸施策に関する市民や留学生、関連団体等の意見やニーズ等を把握し、「第4次大分市国際化推進計画(計画年次:2021(令和3)年～2024(令和6)年)」を策定する為の基礎資料を得るとともに、国際化諸施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施した。

【2】調査対象

1. 個人/住民基本台帳に記載された市内在住の18歳以上の市民

(内訳)

・農林漁業.....	9人
・自営業(商工・サービス).....	65人
・専門職(医師・弁護士など).....	63人
・会社員.....	389人
・公務員.....	89人
・パート、アルバイト.....	171人
・専業主婦(主夫).....	196人
・学生.....	27人
・無職.....	256人
・その他.....	25人
・無回答.....	25人
合計.....	1,315人

2. 留学生/県内の大学、高専、各種学校等に通う留学生
3. 国際交流団体/おおいた国際交流プラザ登録国際交流団体
大分市国際都市交流親善会議会員団体
4. 企業/大分市観光協会会員企業
おおいた産品等販売促進協議会会員企業
外国人技能実習生受入監理団体

【3】調査方法

・個人	郵送による調査票の配布・改修またはインターネット
・留学生	インターネットによる調査・回答
・国際交流団体	インターネットによる調査・回答
・企業	インターネットによる調査・回答

【4】調査期間

・個人	令和元年 11月15日～12月13日
・留学生	令和2年 8月17日～9月18日
・国際交流団体	令和2年 8月17日～9月18日
・企業	令和2年 8月17日～9月18日

【5】回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
1. 個人	4,000	1,315	33.2%
2. 留学生	444	100	22.5%
3. 国際交流団体	123	46	37.4%
4. 企業	137	47	34.3%

【6】報告書の見方について

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. 設問によっては、選択肢が大きく異なる場合を除き、平成27年度に実施した同様の調査（「前回調査」と表記）との比較を行っている。
7. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。
8. 表中の「色付け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。

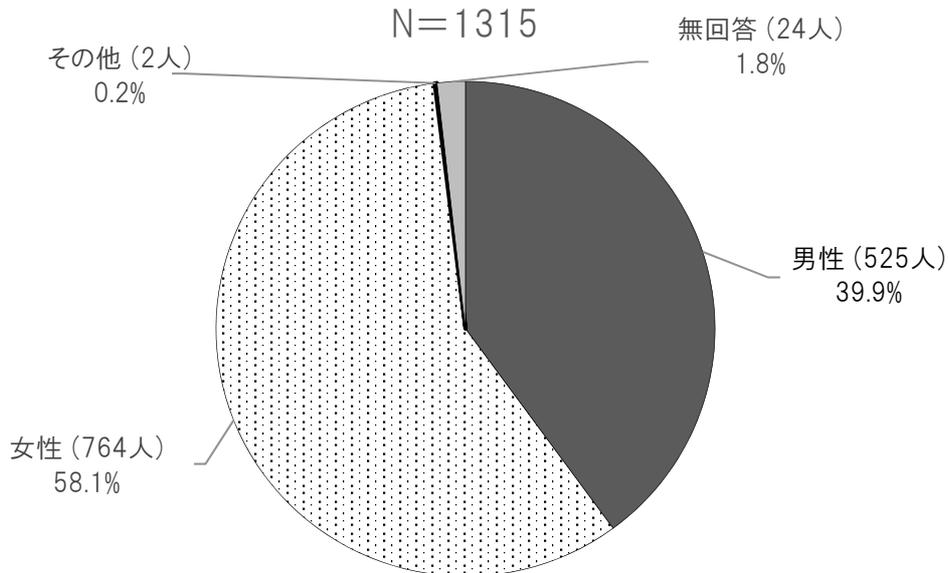
Ⅱ 個人調査結果

【1】回答者の属性

1. 性別構成比

あなたの性別を教えてください

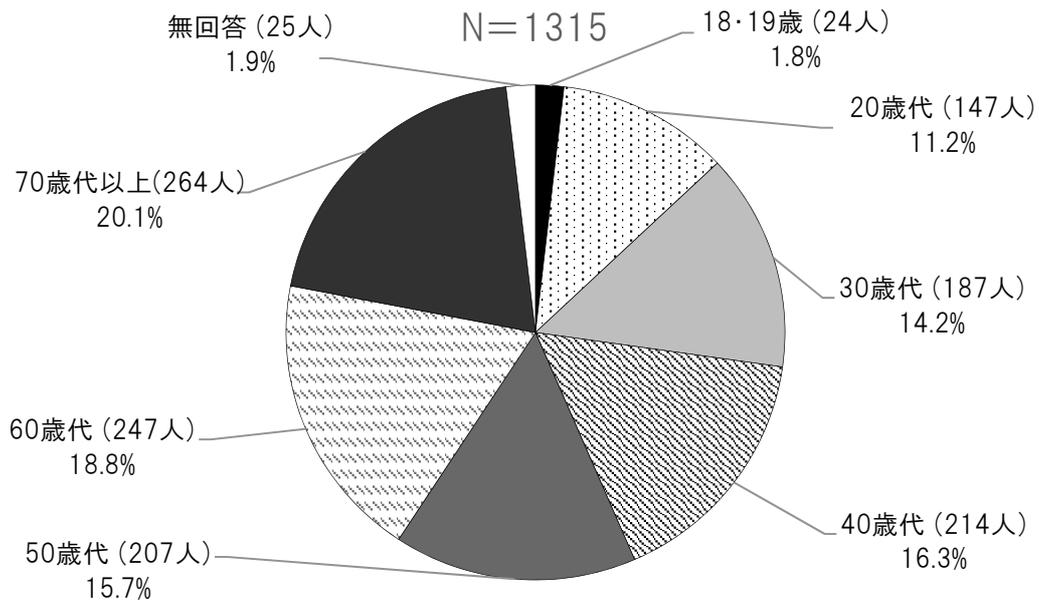
対象者の性別構成比は、女性が 58.1% 男性が 39.9%と、およそ 6：4 の構成である。



2. 年齢別構成比

あなたの年齢を教えてください

対象者の年齢別構成比は、70歳以上の割合が最も高く、50歳以上が半数を占めている。

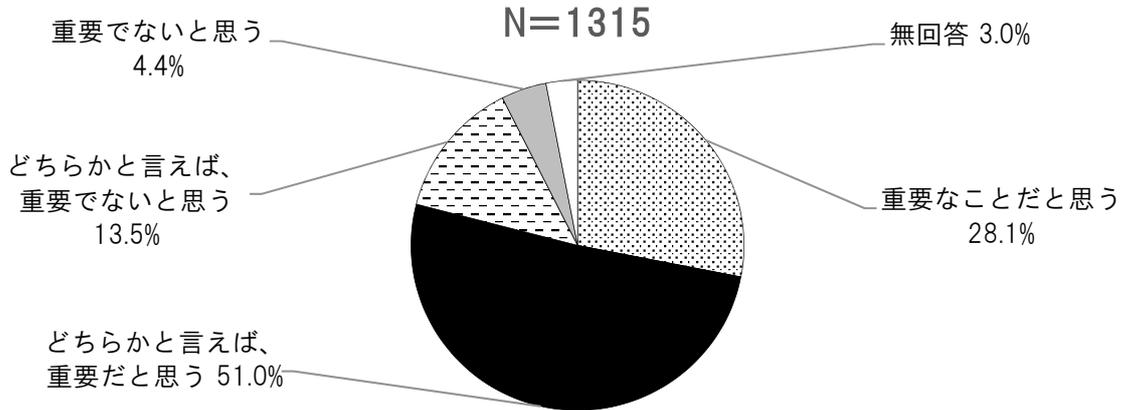


【2】大分市の国際化施策について

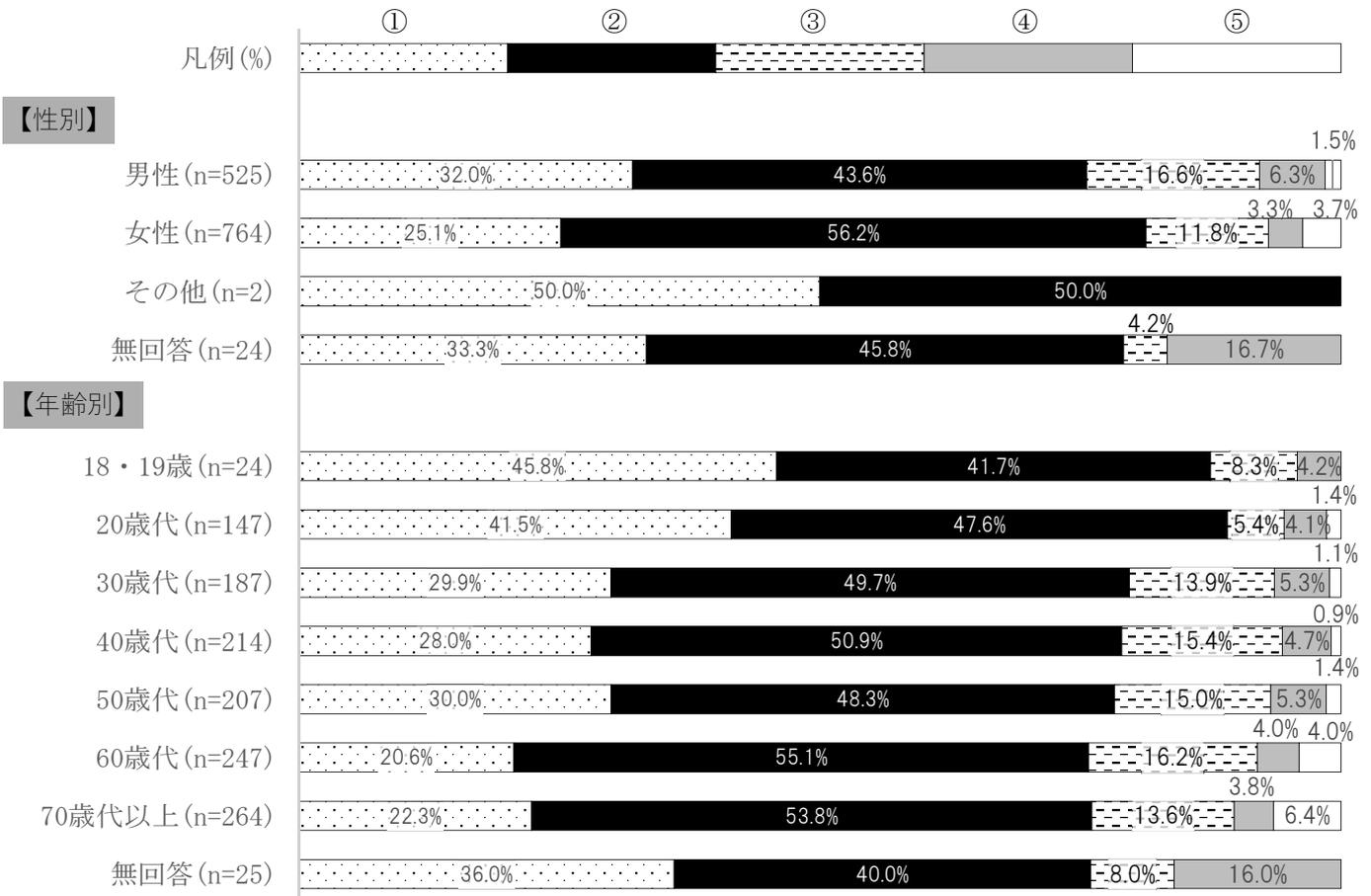
1. 大分市と海外の交流の意見

大分市と海外との交流が進むことについて、あなたはどのように思いますか

大分市と海外の交流については、全体、性別、18・19歳を除く年齢別全てで「どちらかと言えば、重要だと思う」が最も多く、次いで「重要なことだと思う」が多い。全体、性別、年齢別の全てで、「重要なことだと思う」「どちらかと言えば、重要だと思う」で7割以上を占めている。



- ① 重要なことだと思う
- ② どちらかと言えば重要だと思う
- ③ どちらかと言えば重要でないと思う
- ④ 重要ではないと思う
- ⑤ 無回答

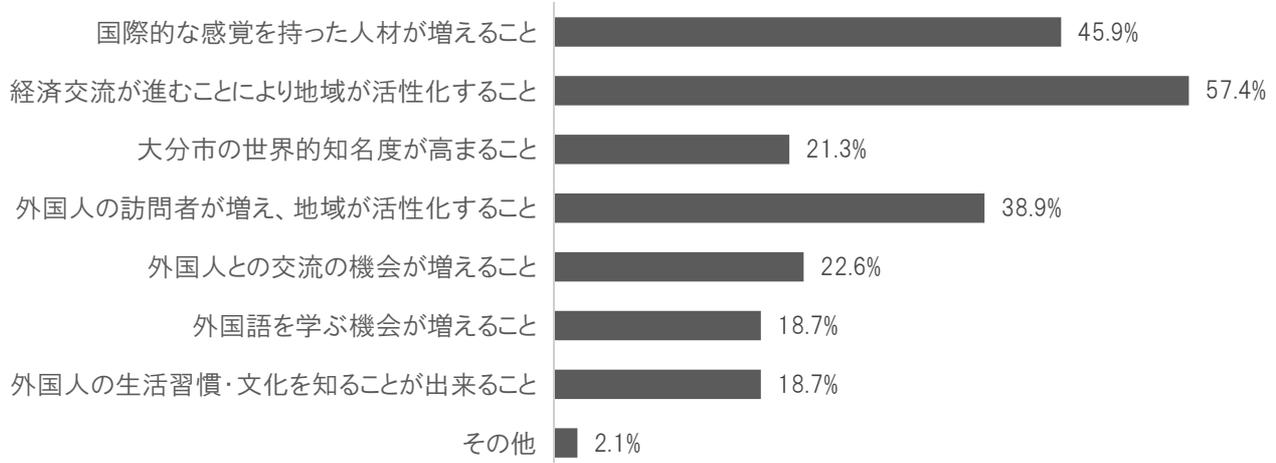


2. 大分市と海外の交流の期待

大分市と海外との交流が進むことで、あなたはどのような事を期待しますか(3つまで選択)

大分市と海外の交流の期待については、「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」が57.4%と最も高くなっている。

N=1315

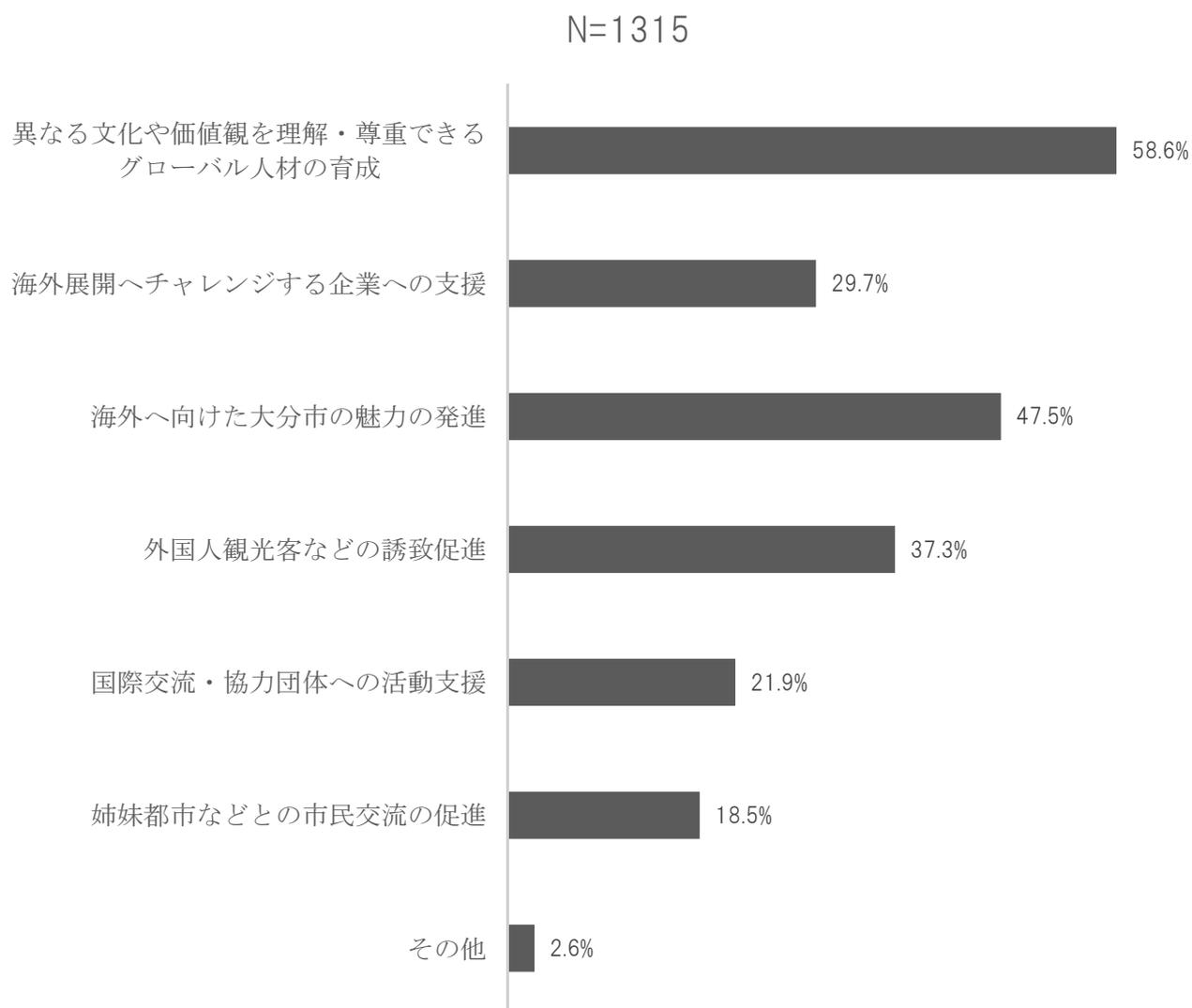


単位(%)		国際的な感覚を持った人材が増えること	経済交流が進むことにより地域が活性化すること	大分市の世界的知名度が高まること	外国人の訪問者が増え、地域が活性化すること	外国人との交流の機会が増えること	外国語を学ぶ機会が増えること	外国人の生活習慣・文化を知ることが出来ること	その他
全体(N=1315)		45.9%	57.4%	21.3%	38.9%	22.6%	18.7%	18.7%	2.1%
性別	男性(n=525)	45.0%	60.8%	23.0%	39.6%	23.8%	14.1%	19.0%	3.0%
	女性(n=764)	46.6%	55.2%	20.3%	38.7%	21.5%	22.1%	18.7%	1.6%
	その他(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	41.7%	54.2%	16.7%	33.3%	29.2%	8.3%	12.5%	0.0%
年齢別	18・19 歳(n=24)	29.2%	50.0%	45.8%	41.7%	33.3%	25.0%	20.8%	4.2%
	20 歳代(n=147)	45.6%	56.5%	23.8%	40.8%	27.2%	23.8%	22.4%	2.0%
	30 歳代(n=187)	41.2%	60.4%	23.5%	43.9%	23.0%	25.1%	17.1%	2.7%
	40 歳代(n=214)	48.1%	59.3%	23.4%	39.7%	20.6%	21.5%	17.8%	2.8%
	50 歳代(n=207)	46.4%	55.6%	15.5%	35.3%	22.2%	20.8%	20.3%	1.4%
	60 歳代(n=247)	55.1%	61.1%	16.6%	40.1%	23.9%	15.4%	17.8%	2.0%
	70 歳代以上(n=264)	40.2%	53.0%	23.5%	35.6%	18.9%	10.6%	18.6%	1.9%
	無回答(n=25)	44.0%	56.0%	20.0%	36.0%	28.0%	12.0%	12.0%	0.0%

3. 海外との交流の取り組み

大分市が海外と交流するにあたり、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか
(3つまで選択)

海外との交流の取り組みについては、「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」が 58.6%と最も多く、次いで「海外へ向けた大分市の魅力の発信」が 47.5%、「外国人観光客などの誘致促進」が 37.3%の順となっている。



単位(%)		異なる文化や価値観を理解・尊重できる グローバル人材の育成	海外展開へチャレンジする企業への支援	海外へ向けた大分市の魅力の発信	外国人観光客などの誘致促進	国際交流・協力団体への活動支援	姉妹都市などとの市民交流の促進	その他
全体(N=1315)		58.6%	29.7%	47.5%	37.3%	21.9%	18.5%	2.6%
性別	男性(n=525)	55.4%	31.8%	48.4%	45.0%	19.0%	20.0%	3.2%
	女性(n=764)	61.0%	28.3%	47.6%	31.9%	23.8%	17.8%	2.2%
	その他(n=2)	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	50.0%	29.2%	20.8%	37.5%	25.0%	8.3%	0.0%
年齢別	18・19歳(n=24)	66.7%	45.8%	54.2%	33.3%	16.7%	25.0%	4.2%
	20歳代(n=147)	67.3%	36.1%	40.1%	38.8%	23.1%	12.9%	2.0%
	30歳代(n=187)	55.6%	34.2%	48.1%	41.7%	21.4%	19.8%	2.1%
	40歳代(n=214)	61.2%	30.4%	45.3%	38.8%	22.0%	14.0%	3.3%
	50歳代(n=207)	60.4%	31.9%	47.8%	32.4%	20.3%	15.5%	3.4%
	60歳代(n=247)	61.9%	27.9%	50.2%	37.2%	23.1%	21.1%	2.8%
	70歳代以上(n=264)	49.2%	20.5%	51.5%	35.6%	22.0%	24.6%	1.9%
	無回答(n=25)	48.0%	32.0%	24.0%	44.0%	24.0%	8.0%	0.0%

【その他の主な意見】

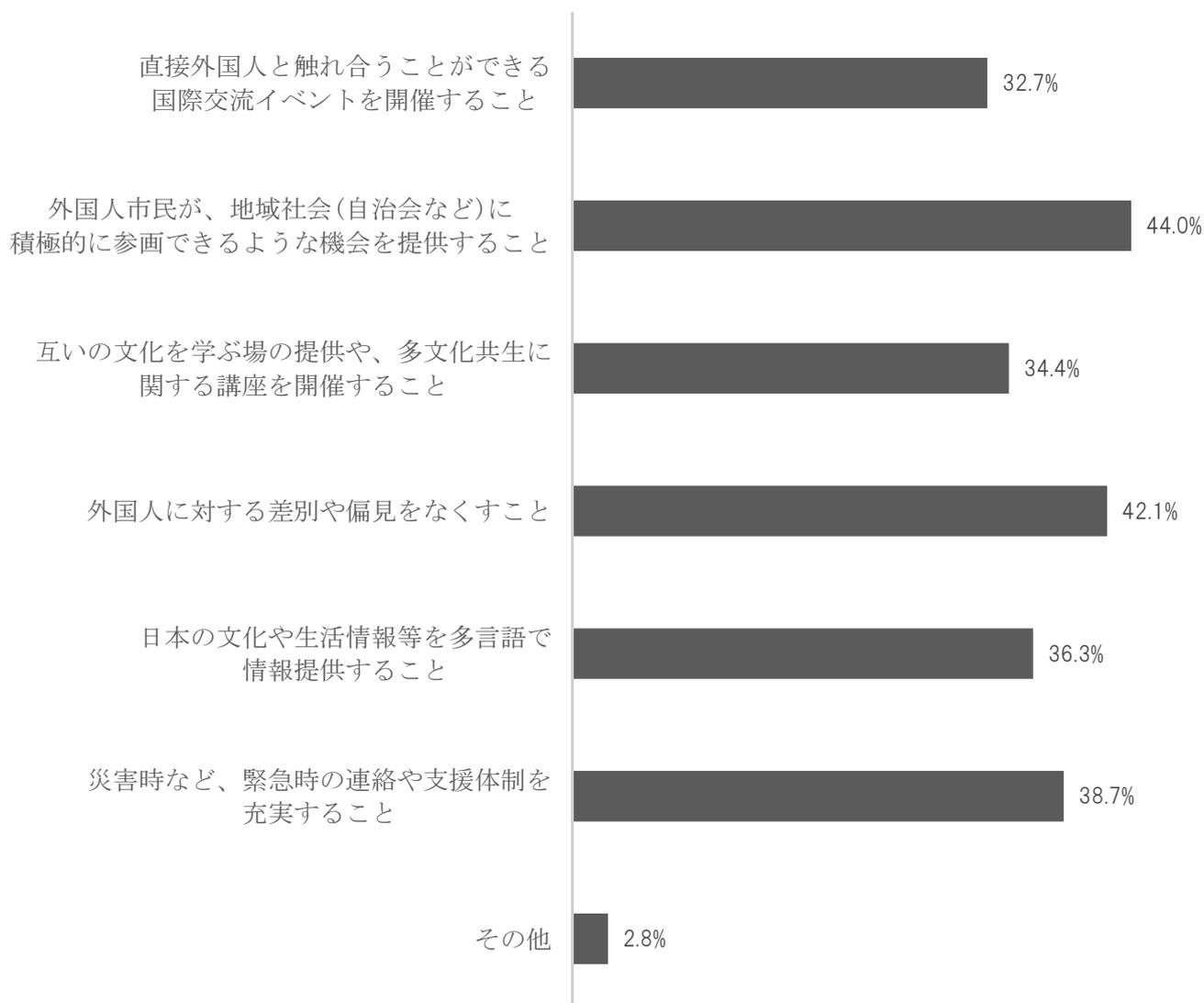
- ・ 留学生の受け入れ。大学の誘致。
- ・ 英語など外国語を学べる環境づくり

4. 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組み

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか？

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組みについては、「外国人市民が、地域社会(自治会など)に積極的に参画できるような機会を提供すること」が44.0%と最も多く、次いで「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」が42.1%、「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」が38.7%となっている。

N=1315



単位(%)		直接外国人と触れ合うことができる国際交流イベントを開催すること	外国人市民が、地域社会(自治会などに積極的に参画できるような機会を提供すること	互いの文化を学ぶ場の提供や、多文化共生に関する講座を開催すること	外国人に対する差別や偏見をなくすこと	日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供する	災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること	その他
全体(N=1315)		32.7%	44.0%	34.4%	42.1%	36.3%	38.7%	2.8%
性別	男性(n=525)	33.9%	46.5%	39.0%	41.7%	37.1%	32.0%	3.2%
	女性(n=764)	32.5%	42.3%	31.7%	42.7%	36.1%	43.7%	2.5%
	その他(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	12.5%	45.8%	25.0%	33.3%	29.2%	29.2%	4.2%
年齢別	18・19歳(n=24)	41.7%	25.0%	41.7%	29.2%	58.3%	54.2%	0.0%
	20歳代(n=147)	40.1%	36.1%	32.7%	45.6%	43.5%	40.8%	2.0%
	30歳代(n=187)	36.9%	34.8%	31.0%	42.2%	46.0%	40.1%	4.8%
	40歳代(n=214)	36.9%	42.5%	35.5%	41.1%	38.8%	41.1%	3.7%
	50歳代(n=207)	30.0%	42.5%	38.2%	43.0%	30.0%	44.4%	2.9%
	60歳代(n=247)	30.0%	56.3%	34.4%	42.5%	32.8%	34.8%	2.0%
	70歳代以上(n=264)	27.7%	47.7%	34.8%	41.7%	29.9%	33.3%	1.9%
	無回答(n=25)	16.0%	44.0%	20.0%	36.0%	36.0%	28.0%	4.0%

【その他の主な意見】

- ・ 日本語や日本の文化を学べるようにする
- ・ 外国語教育
- ・ 外国人に関わる役所の機関を整える

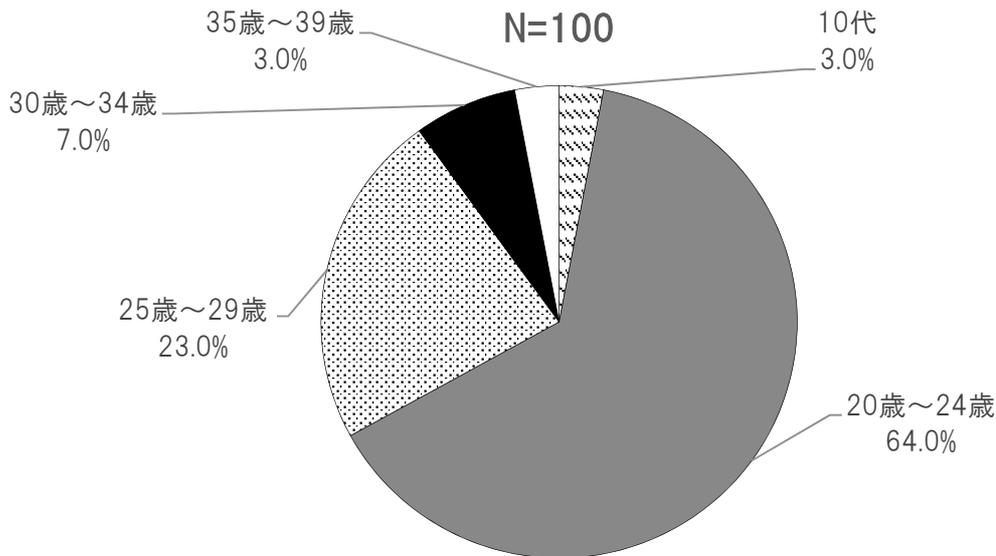
Ⅲ 留学生調査結果

【1】回答者の属性

1. 年齢別構成比

何歳ですか？

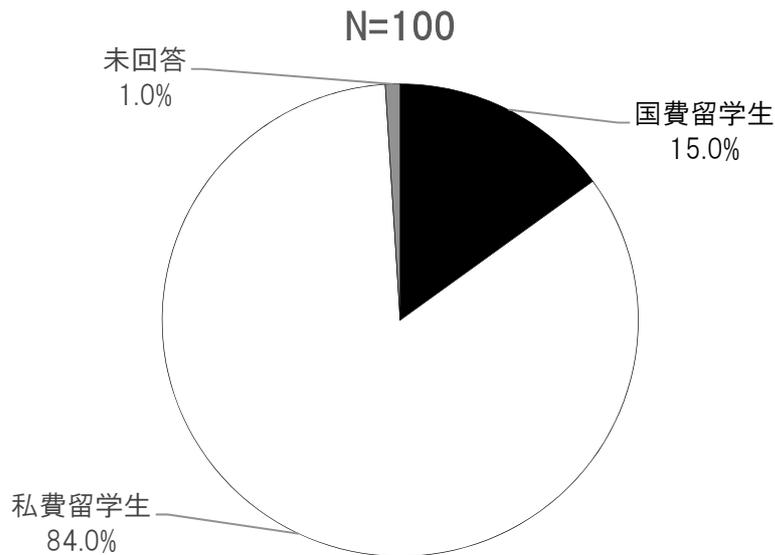
対象者の年齢別構成比は、「20歳～24歳」が64.0%、「25歳～29歳」が23.0%で、20歳代の割合が8割以上(87.0%)を占めている。



2. 留学生の種類

留学生の種類は何ですか？

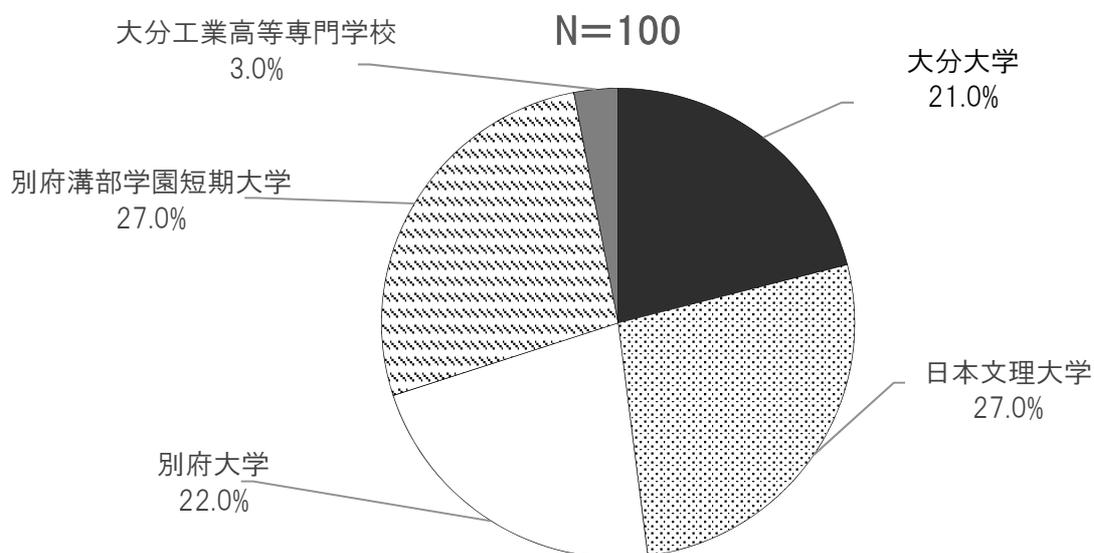
種類については、「私費留学生」が8割以上(84.0%)と大半を占めている。



3. 学校

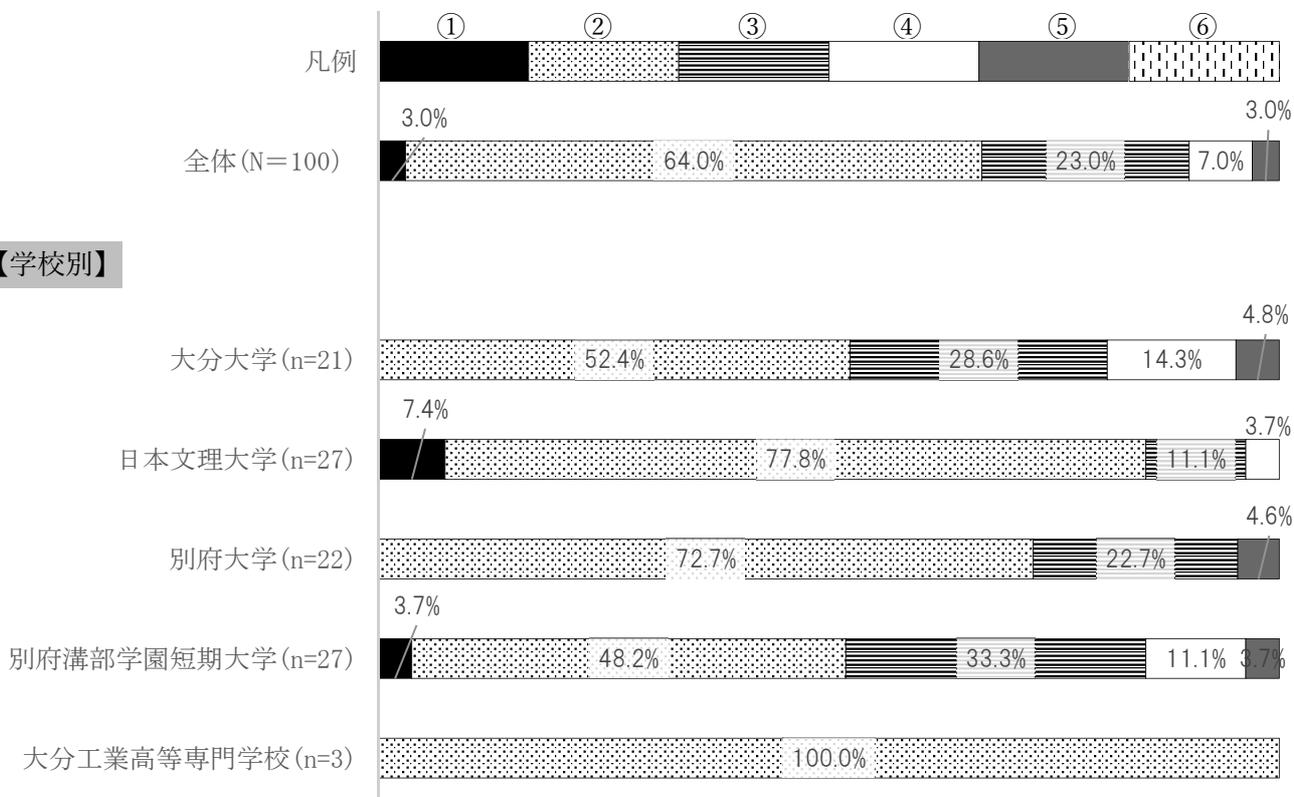
学校はどこですか？

学校については、「日本文理大学」「別府溝学園短期大学」が 27.0%、「別府大学」が 22.0%、「大分大学」が 21.0%の順となっている。



学校別の年齢別構成比は、「20歳～24歳」と「25歳～29歳」の20歳代の割合がそれぞれの学校で8割以上を占めている。

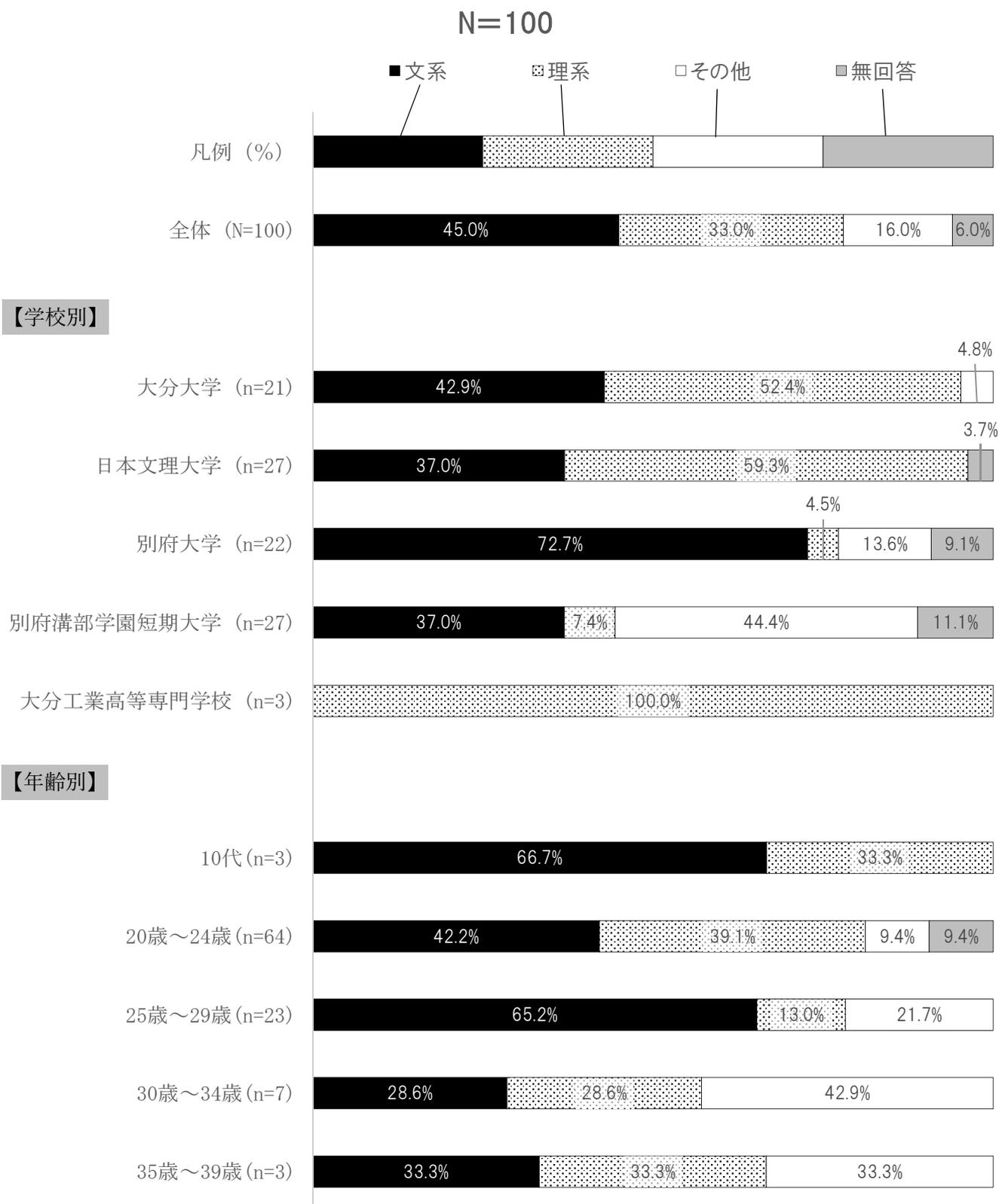
- ① 10代 ② 20歳～24歳 ③ 25歳～29歳 ④ 30歳～34歳 ⑤ 35歳～39歳 ⑥ 40歳以上



4. 専攻

専攻は何ですか？

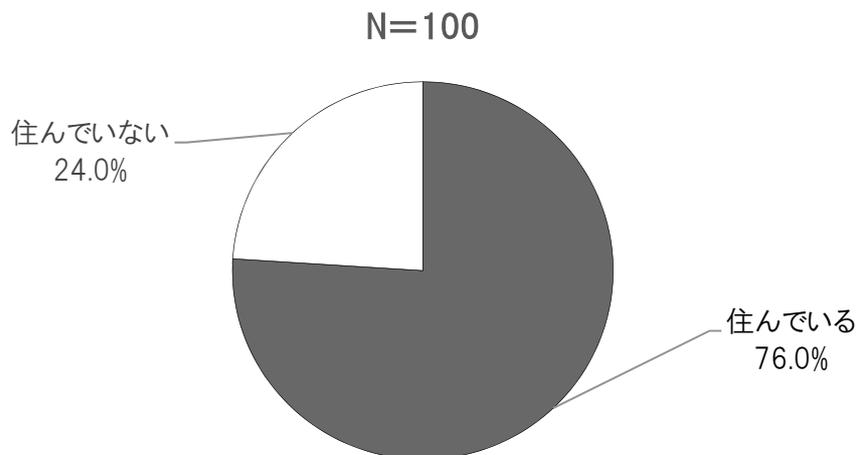
専攻については、「文系」が45.0%で最も高く、次いで「理系」が33.0%、「その他」16.0%の順となっている。



5. 大分市での居住

大分市に住んでいますか？

大分市での居住については、「住んでいる」が76.0%となっている。



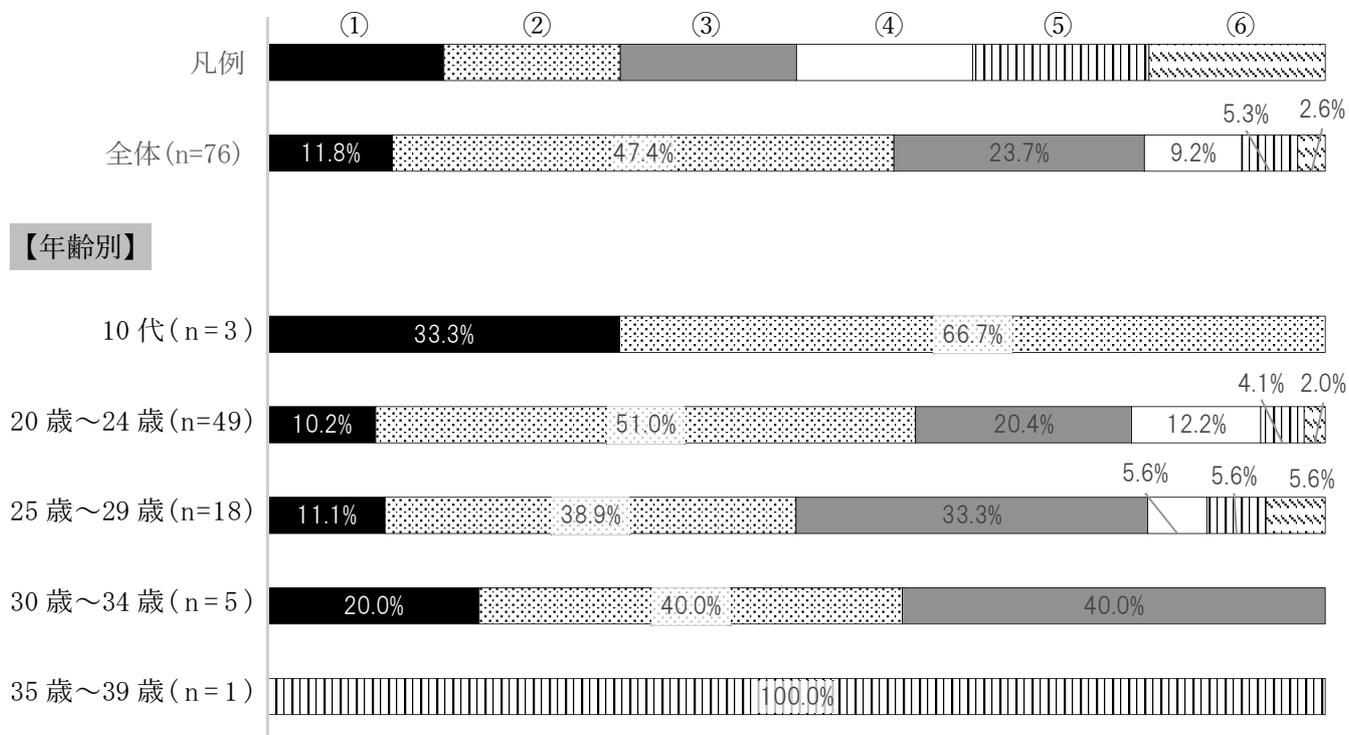
6. 居住年数

大分市に何年住んでいますか？

居住年数については、「1年～2年未満」が47.4%と最も高く、「2年～3年未満」が23.7%である。3年以上は17.1%となっている。

n=76

① 1年未満 ② 1年～2年未満 ③ 2年～3年未満 ④ 3年～4年未満 ⑤ 4年～5年未満 ⑥ 5年～6年未満

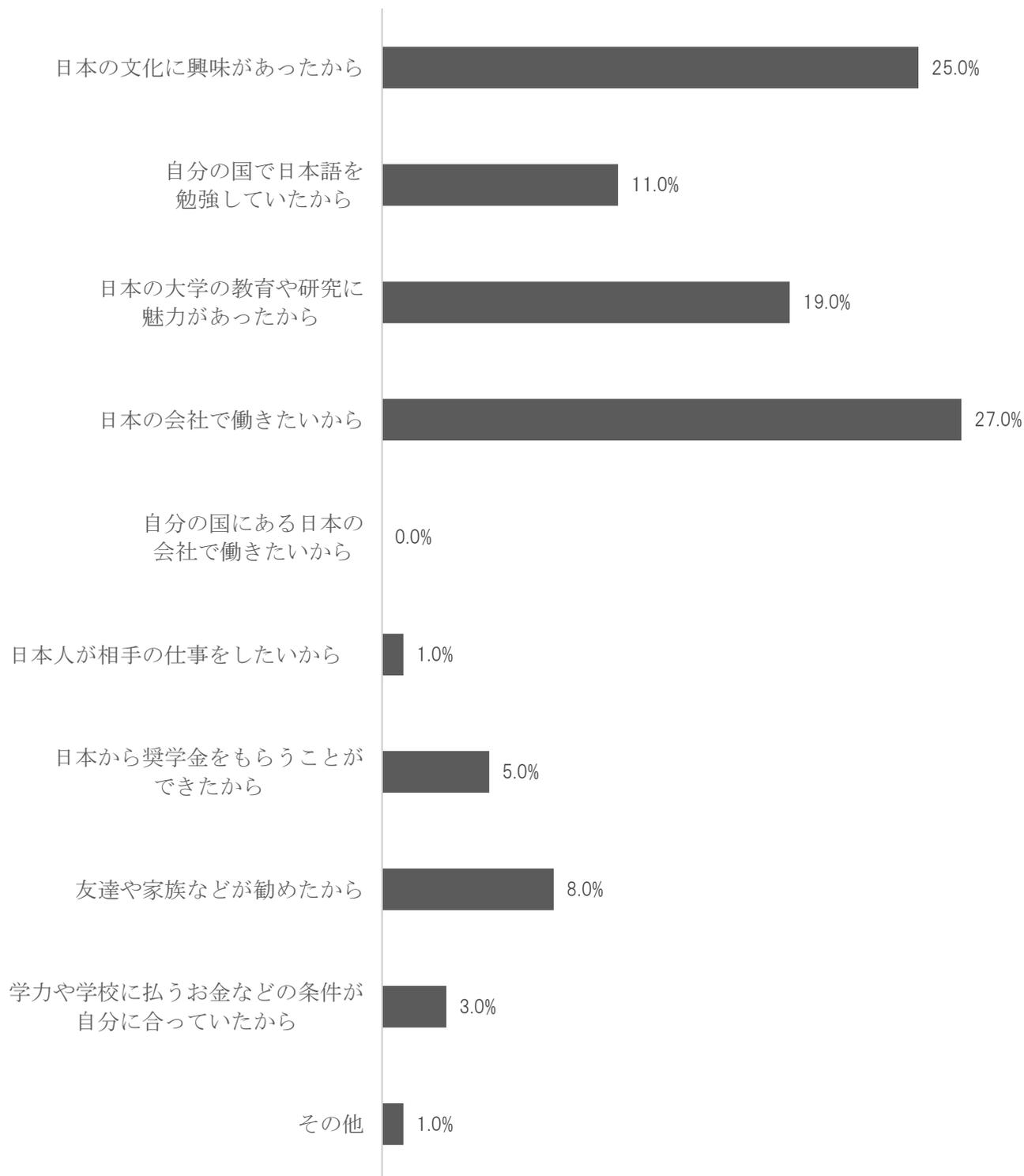


7. 居住の理由

大分に留学した主な理由は何ですか？

居住の理由としては、「日本の文化に興味があったから」「日本の大学の教育や研究に魅力があったから」「日本の会社で働きたいから」などの理由が全体の6割以上を占めている。

N=100

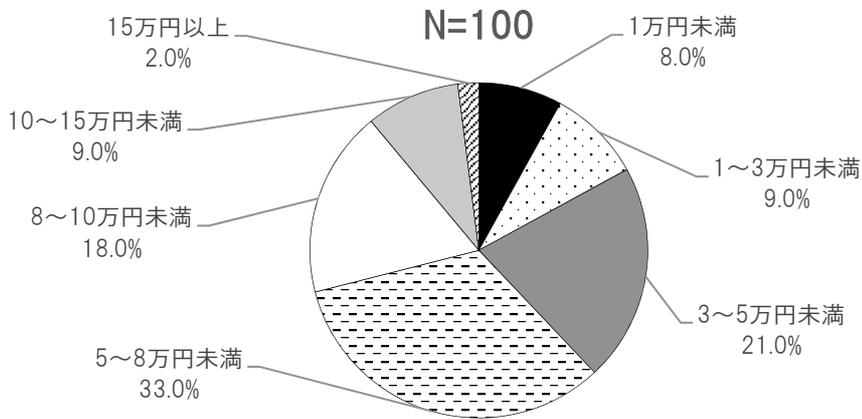


【2】国際交流の実態や意識について

1. 1ヶ月の生活費

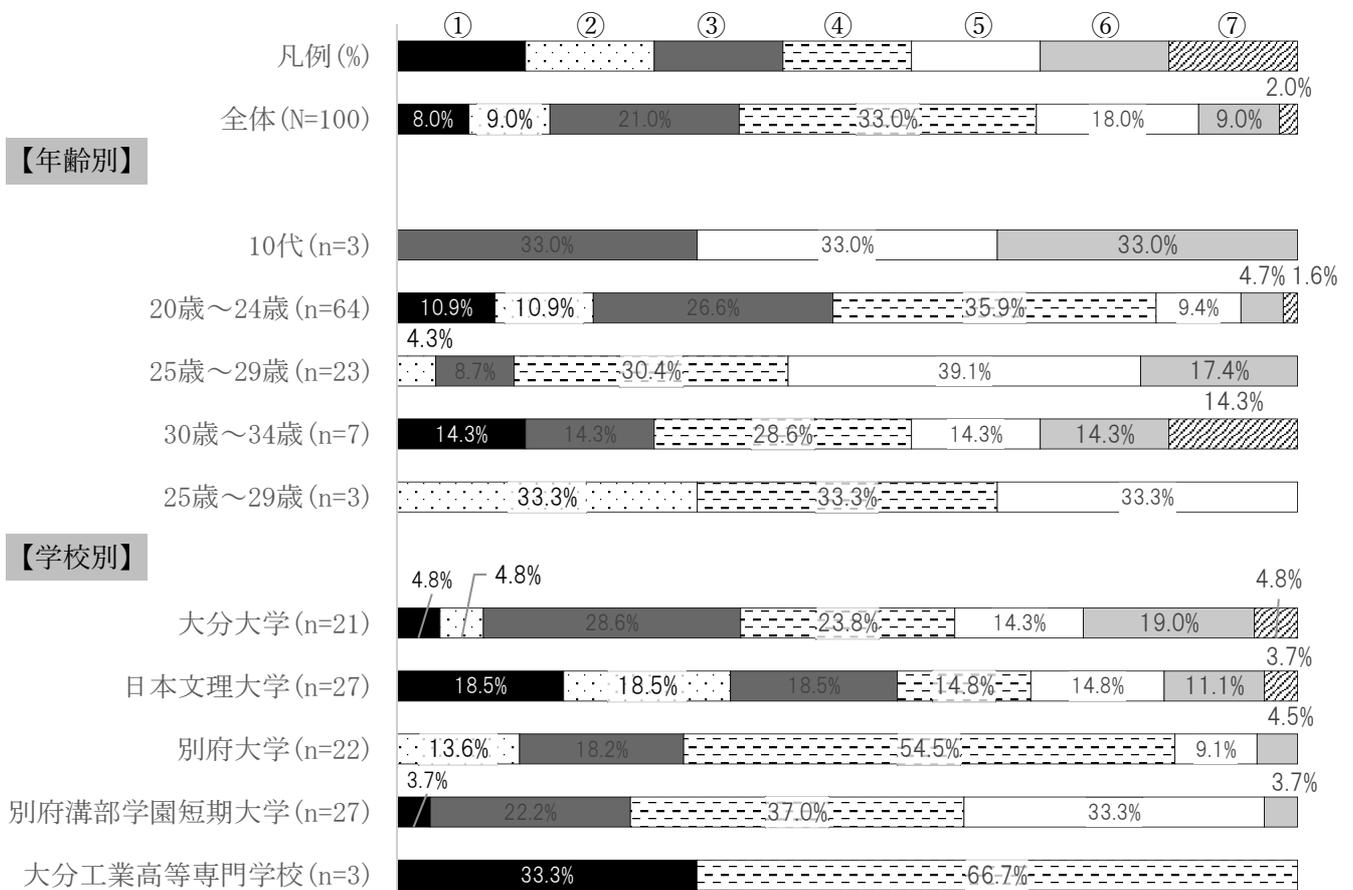
生活のためのお金は1ヶ月にどのくらいかかりますか？

1か月の生活費については、「5～8万円未満」が33.0%と最も高く、次いで「3～5万円未満」が21.0%、「8～10万円未満」が18.0%の順となっている。



N=100

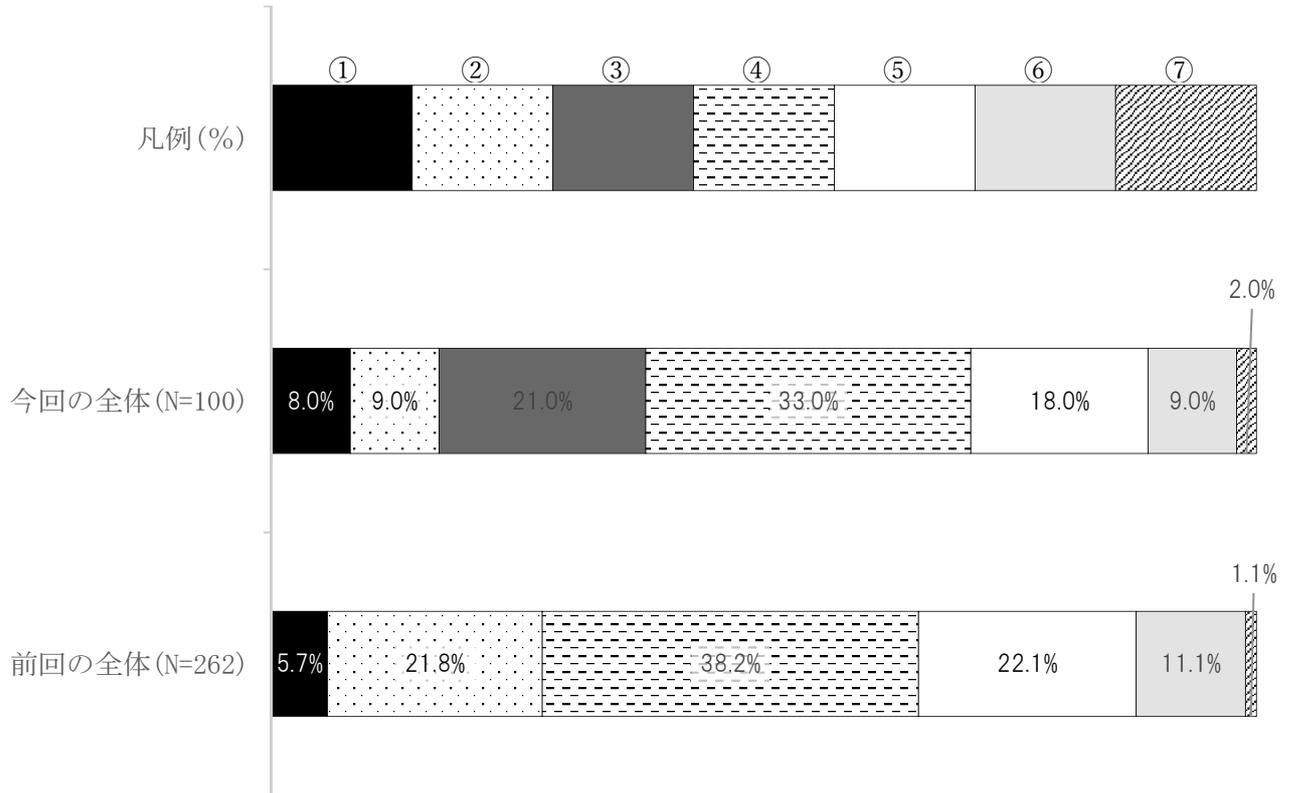
- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



前回調査との比較を見ると、今回調査では「3～5万円未満」はほぼ変わらず、「1～3万円未満」が増加し、「5～8万円未満」と「8～10万円未満」が減少している。

◆前回調査との比較◆

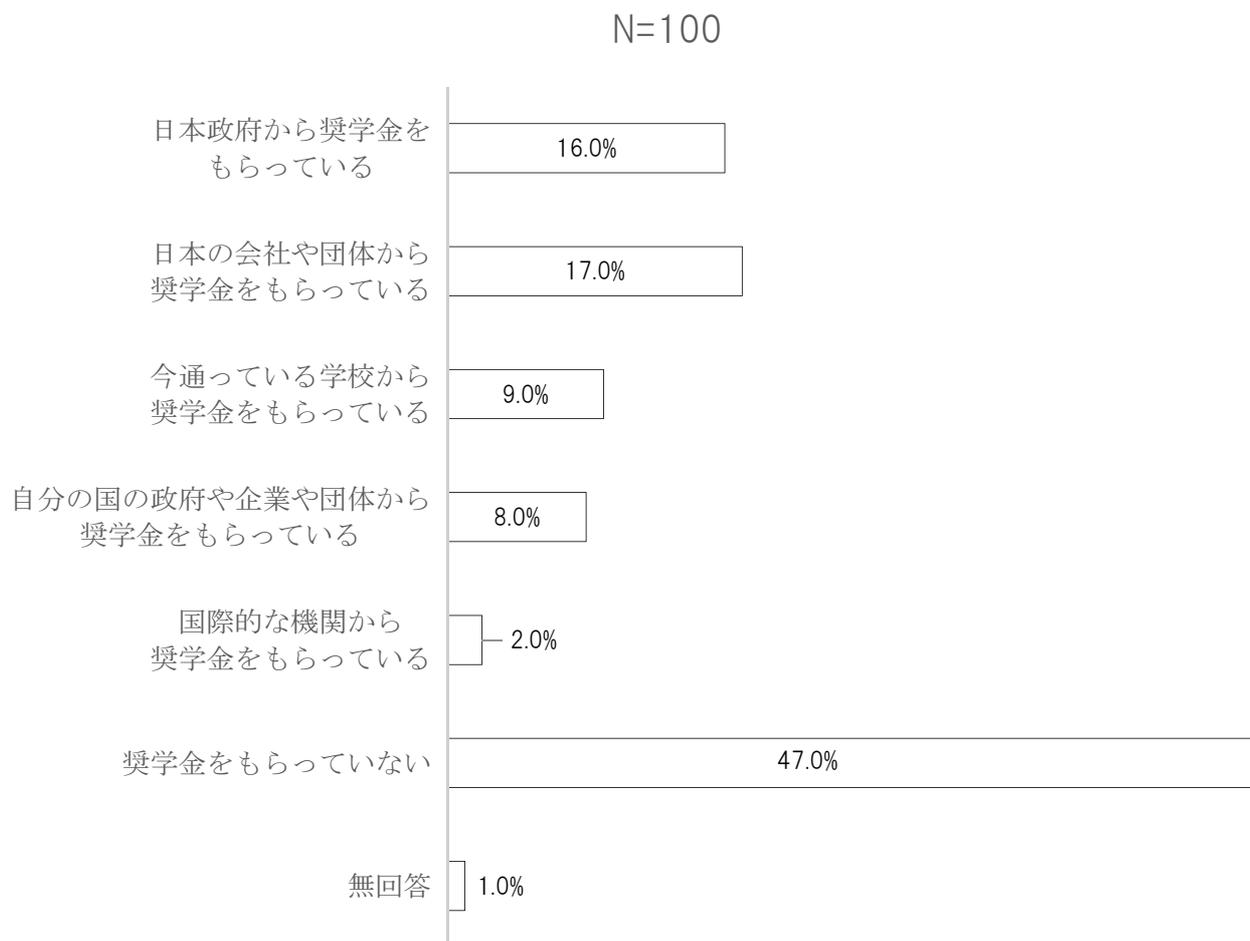
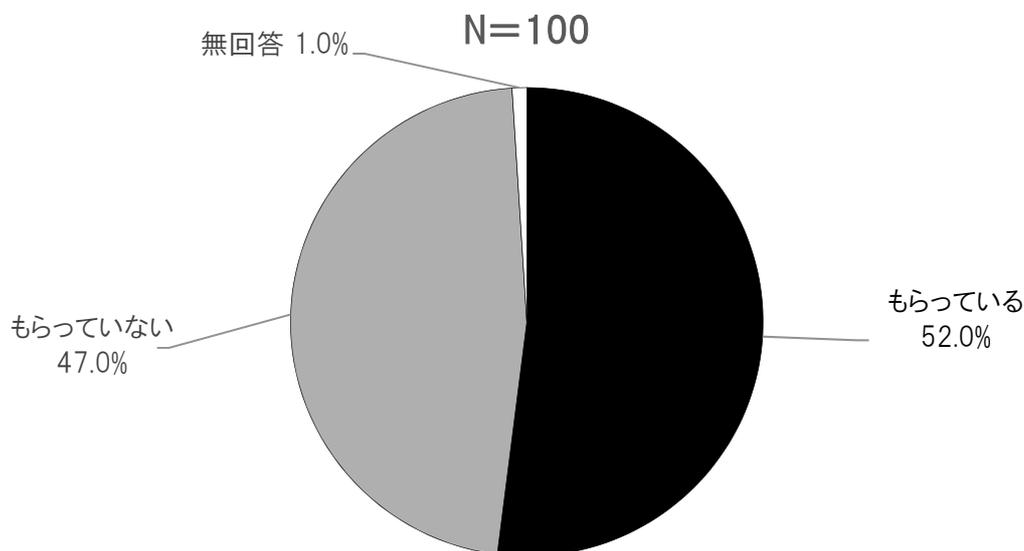
- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



2. 奨学金の受給状況

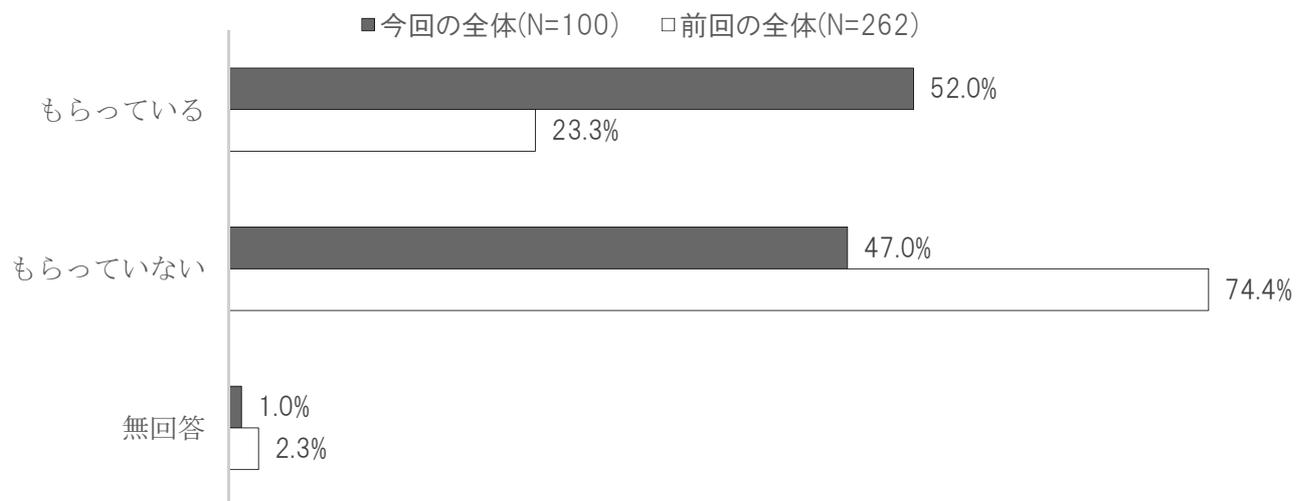
奨学金をもらっていますか？

奨学金の受給状況については、過半数の 52.0%が何らかの受給をしている。奨学金の種類としては、「日本政府からの奨学金」が 16.0%、「日本の会社や団体からの奨学金」が 17.0%で、次いで「今通っている学校からの奨学金」が 9.0%、「自分の国の政府や企業や団体からの奨学金」が 8.0%、「国際的な機関から奨学金をもらっている」が 2.0%となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「もらっている」が増加している。

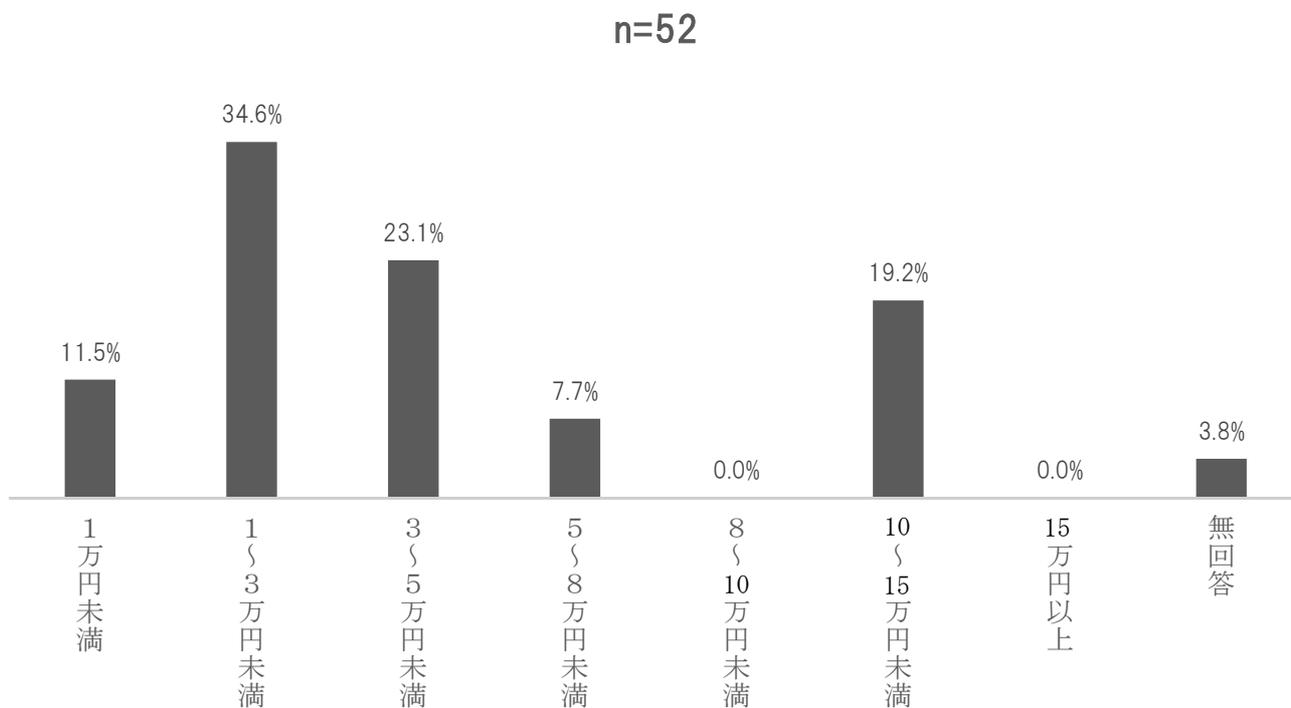
◆ 前回調査との比較 ◆



3. 1 か月あたりの奨学金の受給額

奨学金を1か月にどれくらいもらっていますか？

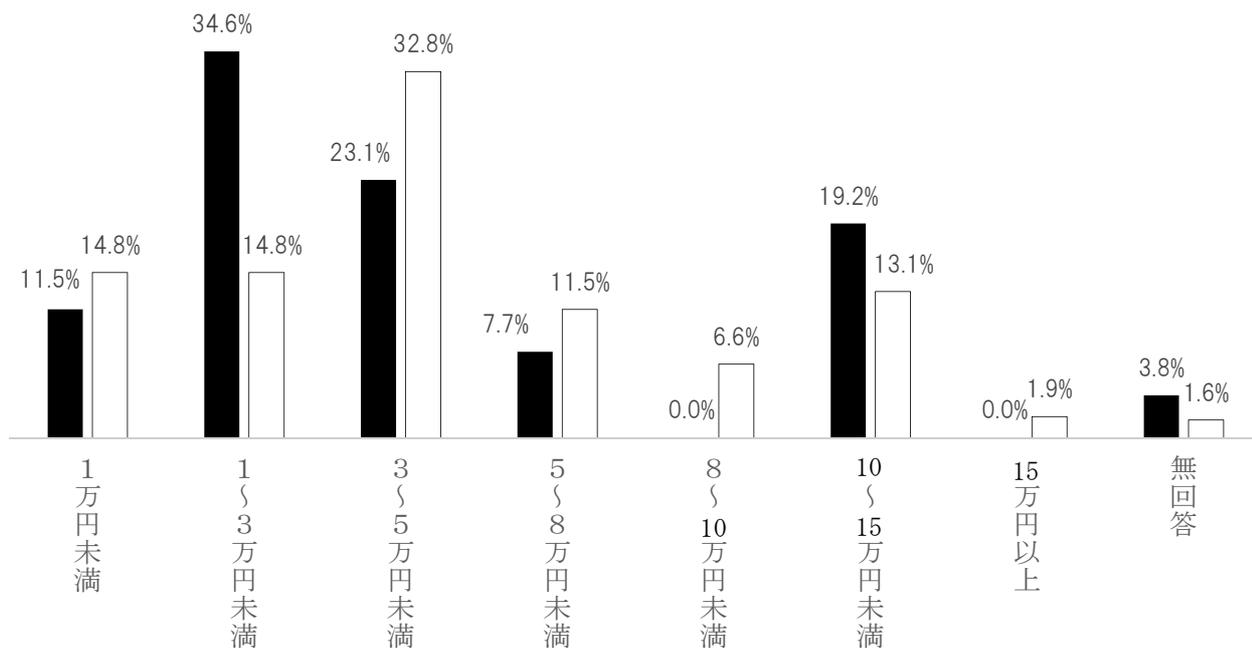
1か月あたりの奨学金受給額については、「1～3万円未満」が34.6%と最も高く、次いで「3～5万円未満」が23.1%、「10～15万円未満」が19.2%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「1～3万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が減少した。

◆前回調査との比較◆

■今回(n=52) □前回(n=61)

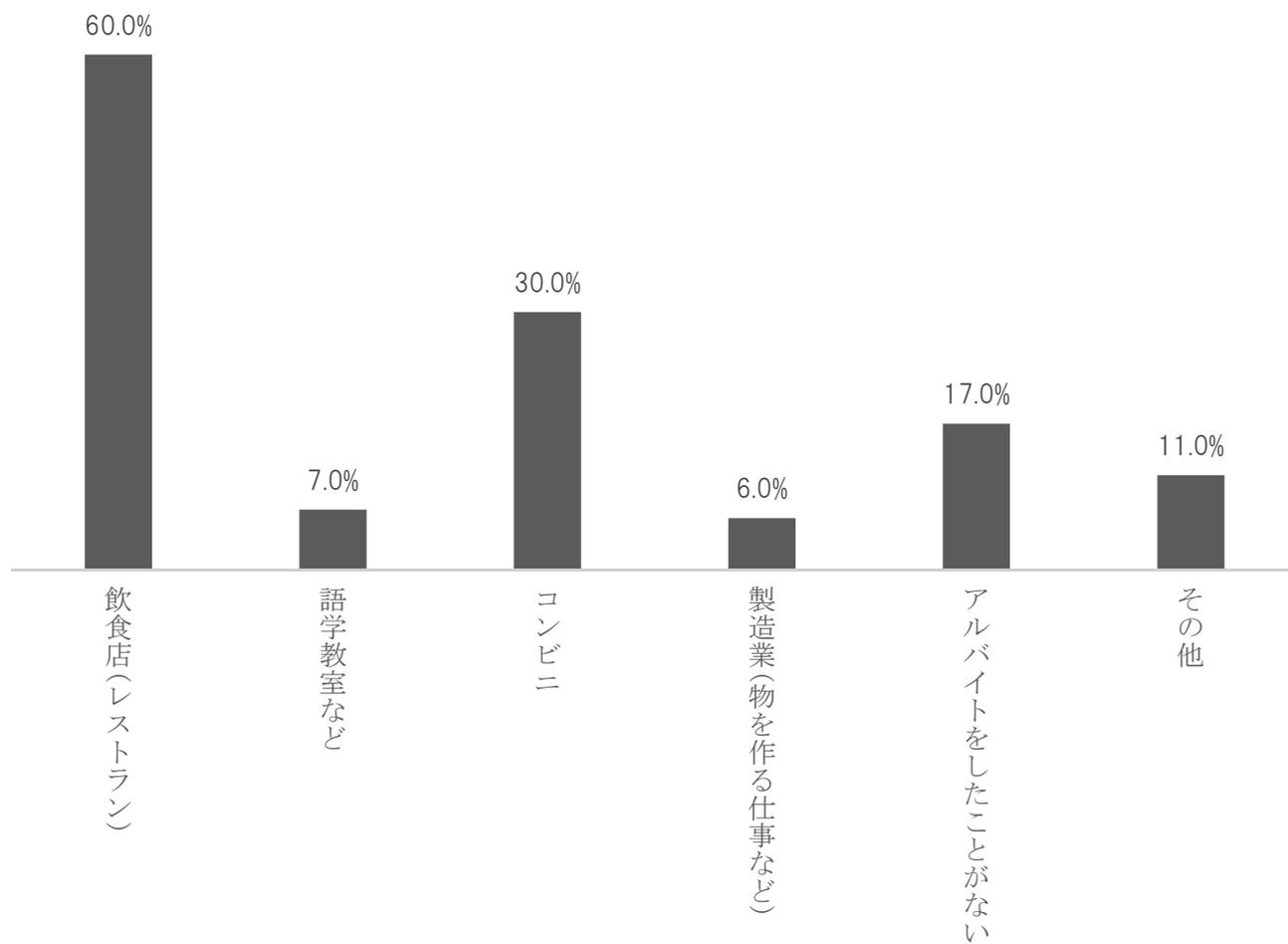


4. アルバイトの種類

これまでどこでアルバイトをしたことがありますか？（複数回答可）

アルバイトの種類については、「飲食店」が60.0%と突出して最も高く、次いで「コンビニ」が30.0%、「語学教室など」が7.0%、「製造業」が6.0%の順となっている。「アルバイトをしたことがない」は17.0%となっている。

N=100



5. アルバイトに対する希望

仕事の種類、給料、時間などアルバイトをする時の希望はありますか？

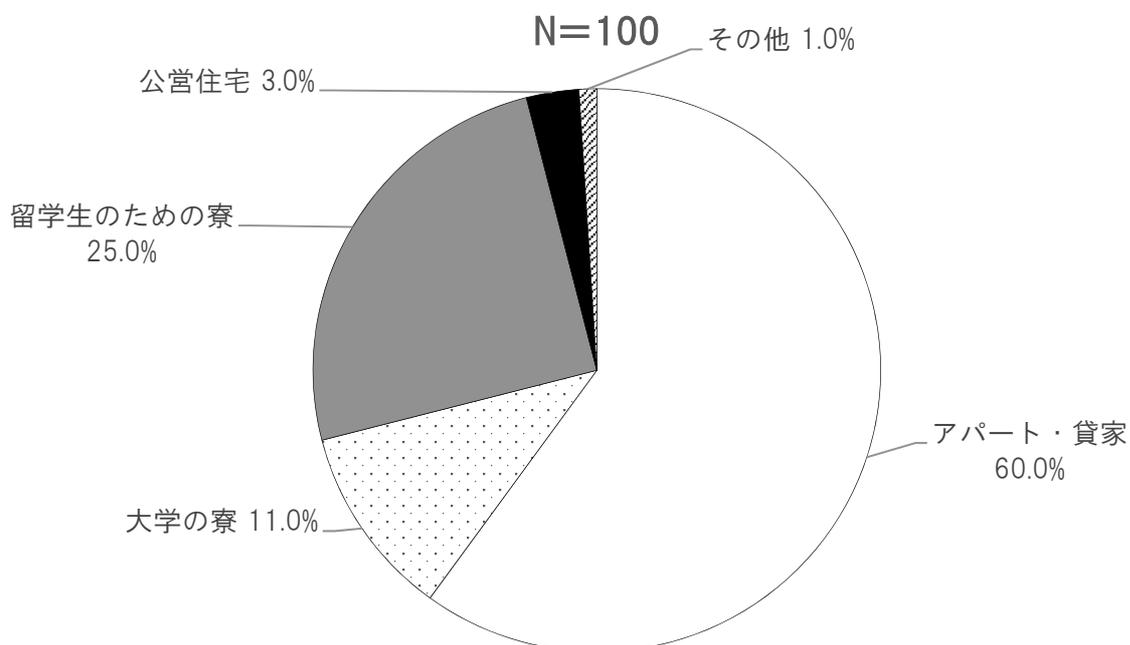
(自由回答)

- ・アルバイトを探しています (2)
- ・支払い、働く時間、アクセス
- ・特にない (15)
- ・時間が長くて時給が 900 円があったらいいです。
- ・コンビニでアルバイトです。今はコロナでバイトの時間が足りません。
- ・先月から仕事がなくなった。アルバイトがありません。工場で 27.5 時間働きました。
- ・レストランで仕事します。時給は 900 円ぐらい。一週間に 3、4 日です。
- ・レストランでアルバイトをしたいです
- ・今、私はコンビニで働いている、コンビニの時給は 790 円で、もうちょっと高ければいいと思いました。
- ・最短 5 時間で、時給 900 円ぐらいのタピオカ屋
- ・時間と給料に比べて仕事のレベルが大変すぎじゃない仕事
- ・私はコンビニでアルバイトをしていますが、仕事量は時間に比例しません。これも日本人がコンビニで働くのが嫌いな原因の一つだと思います。
- ・サービス業のアルバイトは時給は 1000 円ぐらい。1 日 5 時間
- ・アルバイト：サービス業の仕事。
時給：1000 円
時間：1 日 5 時間
- ・週 28 時間以内のレストランでアルバイトをすること
- ・時給は 900 円で交通手当がもらうことができるアルバイト
- ・時給 850 円以上 (専門職は千円から)
交通が便利で雰囲気 (人間関係) がよく、週 2-4 日間働けるところ
国際交流、観光、語学、教育、イラスト関係の専門職ならなお良し
- ・時給が 850 円以上。
- ・柔軟なスケジュールや環境、時給 800 円以上
- ・時給は 900 円前後のバイト
- ・コロナの影響でアルバイトの時間が減ってバイトもなくなってしまったのでアルバイトの時間週 28 時間希望です。
- ・まだバイトをするつもりはないです。
- ・研究助手になりたい
- ・アルバイトの時間を変更できる。
- ・福祉施設の給料が上がってほしいです。人材不足の問題や継続困難の課題が出来ているので、900 円以上の時給を望んでいます。
- ・皿洗い、掃除、おかず、盛り付け
- ・アルバイト応募し、面談を受け、何日も待たされて、不採用になっても構わないですけど、理由を聞かせてほしい。

6. 住居形態

どこに住んでいますか？

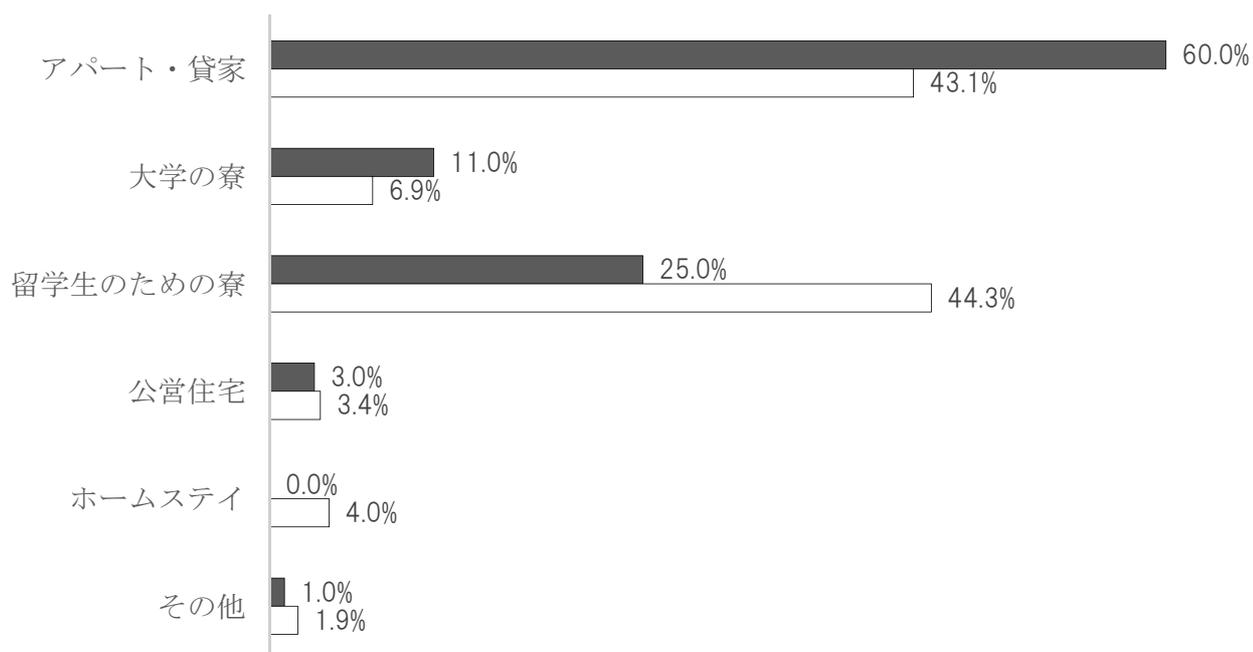
住居形態については、「アパート・貸家」が60.0%で最も高く、次いで「留学生のための寮」が25.0%、「大学の寮」が11.0%、「公営住宅」が3.0%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「留学生のための寮」が減少し、「アパート・貸家」「大学の寮」が増加している。

◆前回調査との比較◆

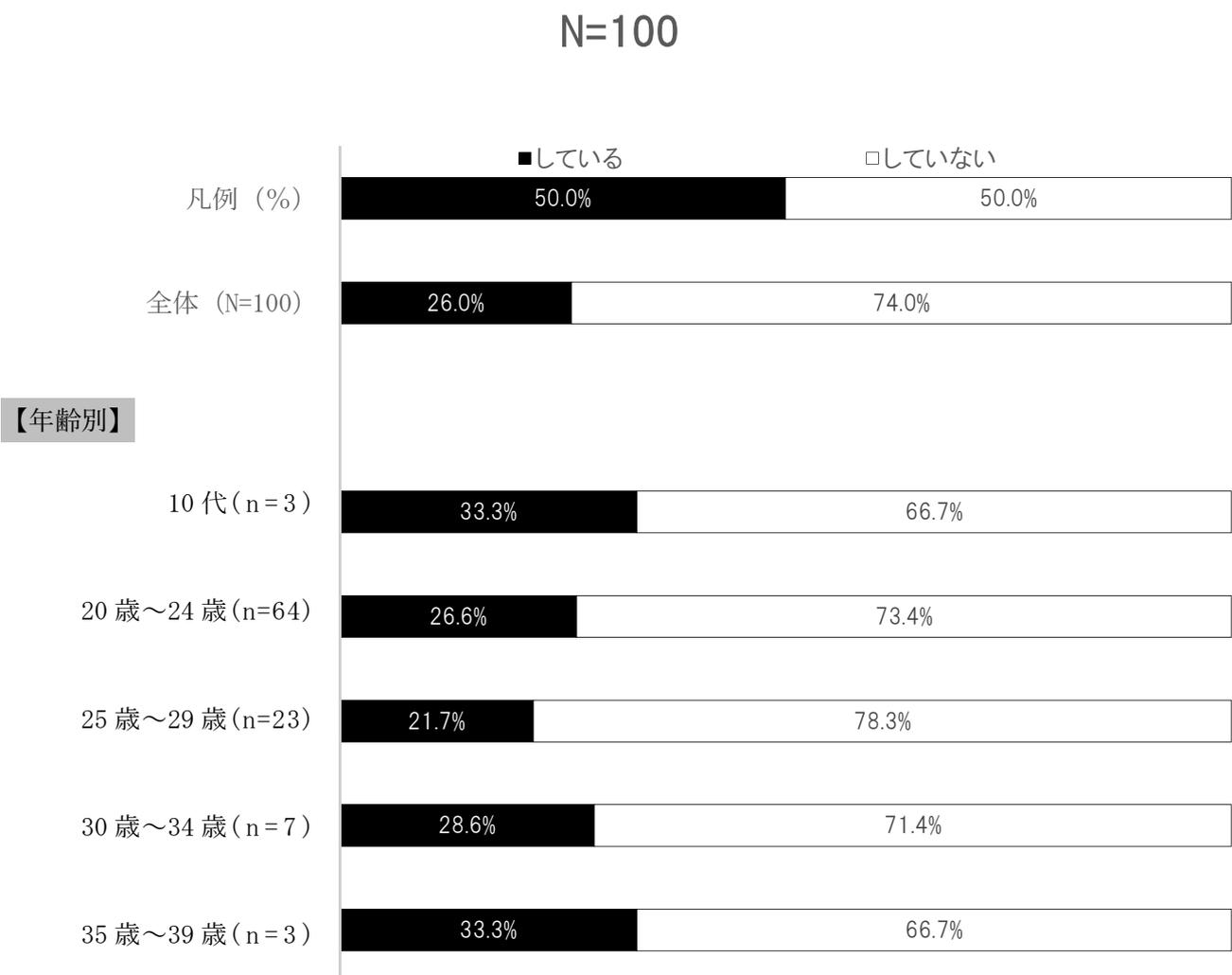
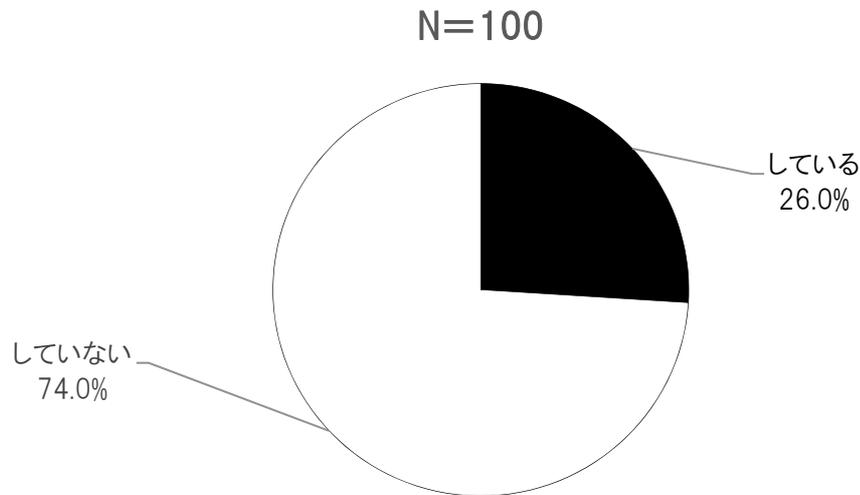
■今回全体(N=100) □前回全体(N=262)



7. 同居者(ルームシェア等)の有無

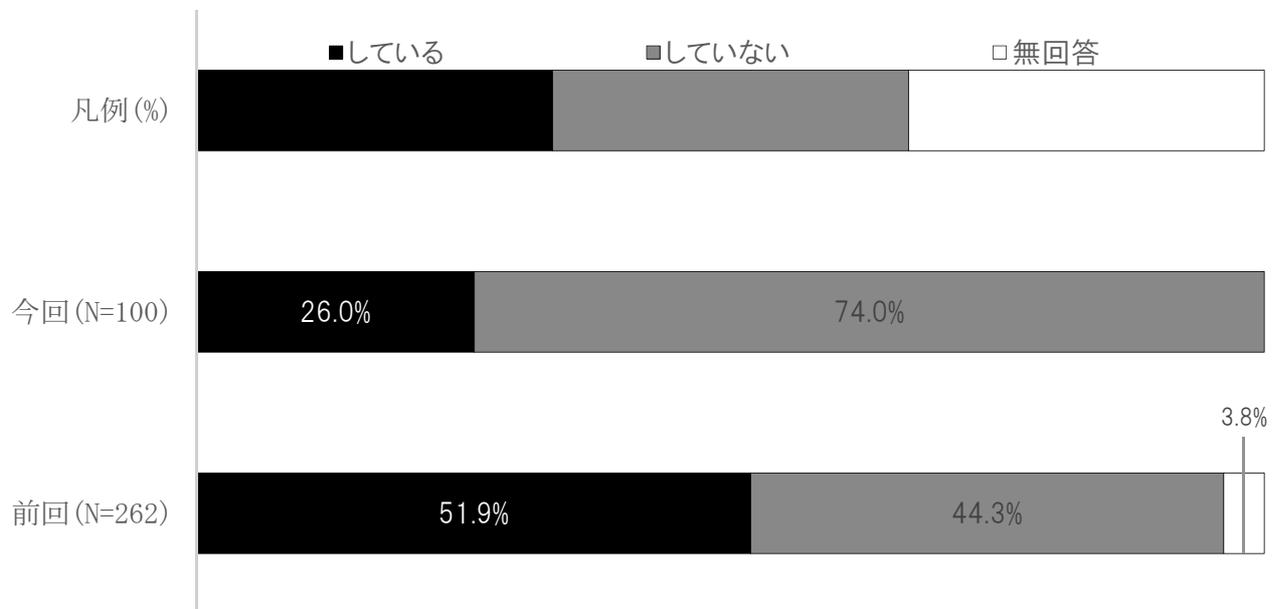
ルームシェア（ほかの人と一緒に住むこと）をしていますか？

同居者（ルームシェア）の有無については、7割以上の74.0%が「していない」と回答している。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「していない」が増加し 74.0%となり、「している」よりも「していない」が多くなっている。

◆ 前回調査との比較 ◆



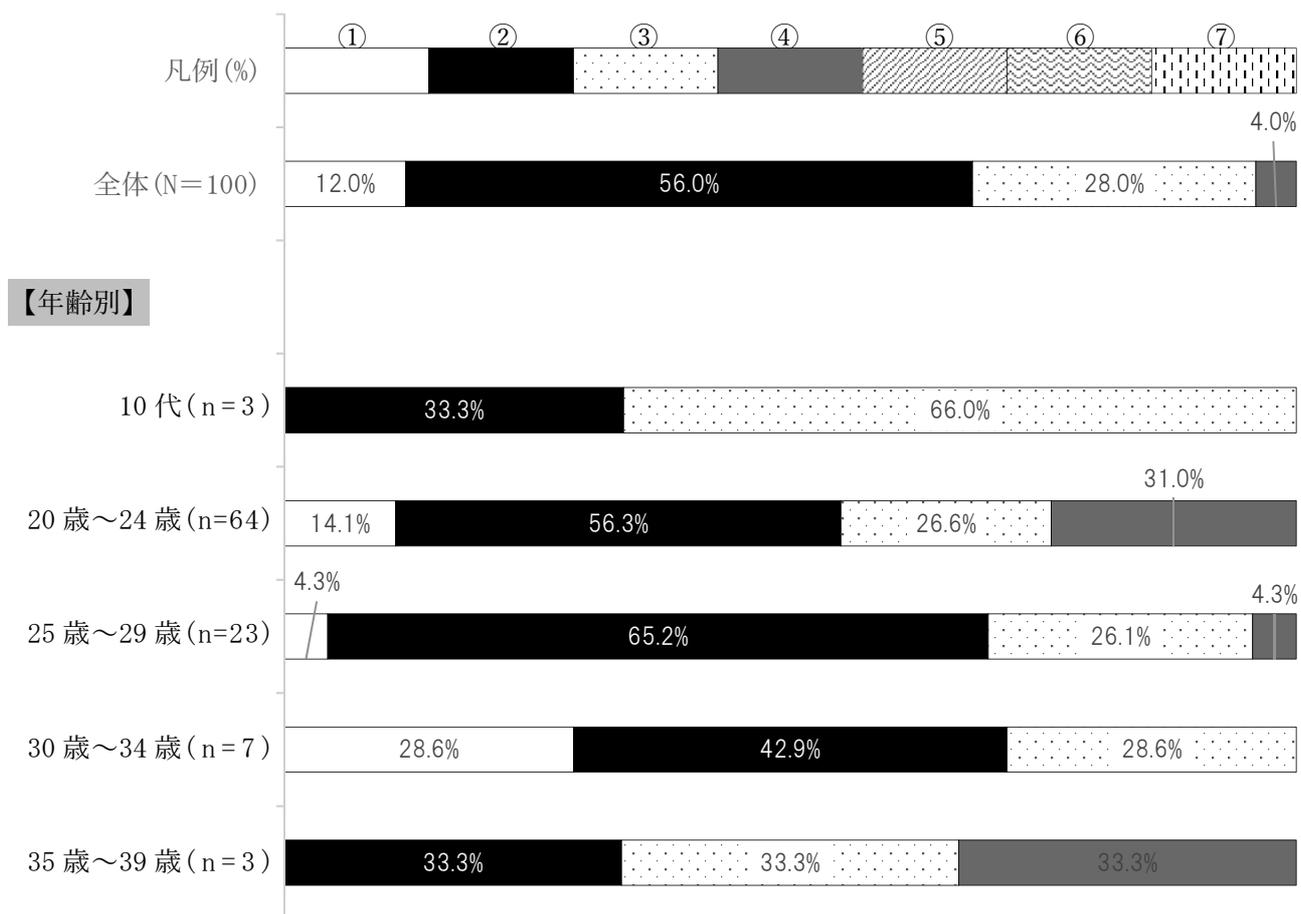
8. 1 か月の家賃

家賃を1か月にどれくらい払いますか？

1か月の家賃については、「1～3万円未満」が56.0%と最も高く、「3～5万円未満」が28.0%で続いており、あわせて全体の8割以上を占めている。

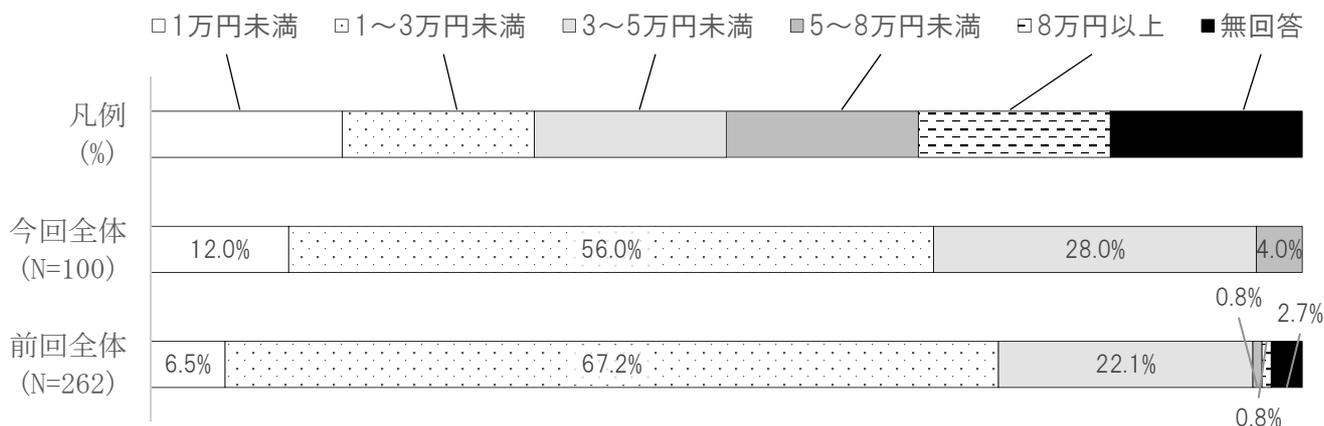
N=100

- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



前回調査との比較を見ると、大きな差はない。

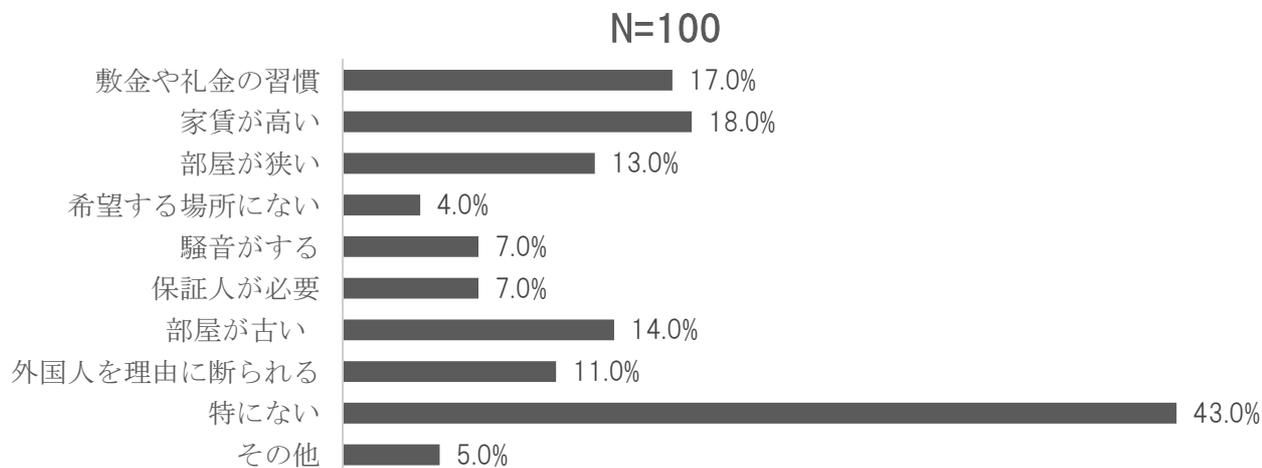
◆ 前回調査との比較 ◆



9. 住居の不満

住むところで困っていることはありますか？(複数回答可)

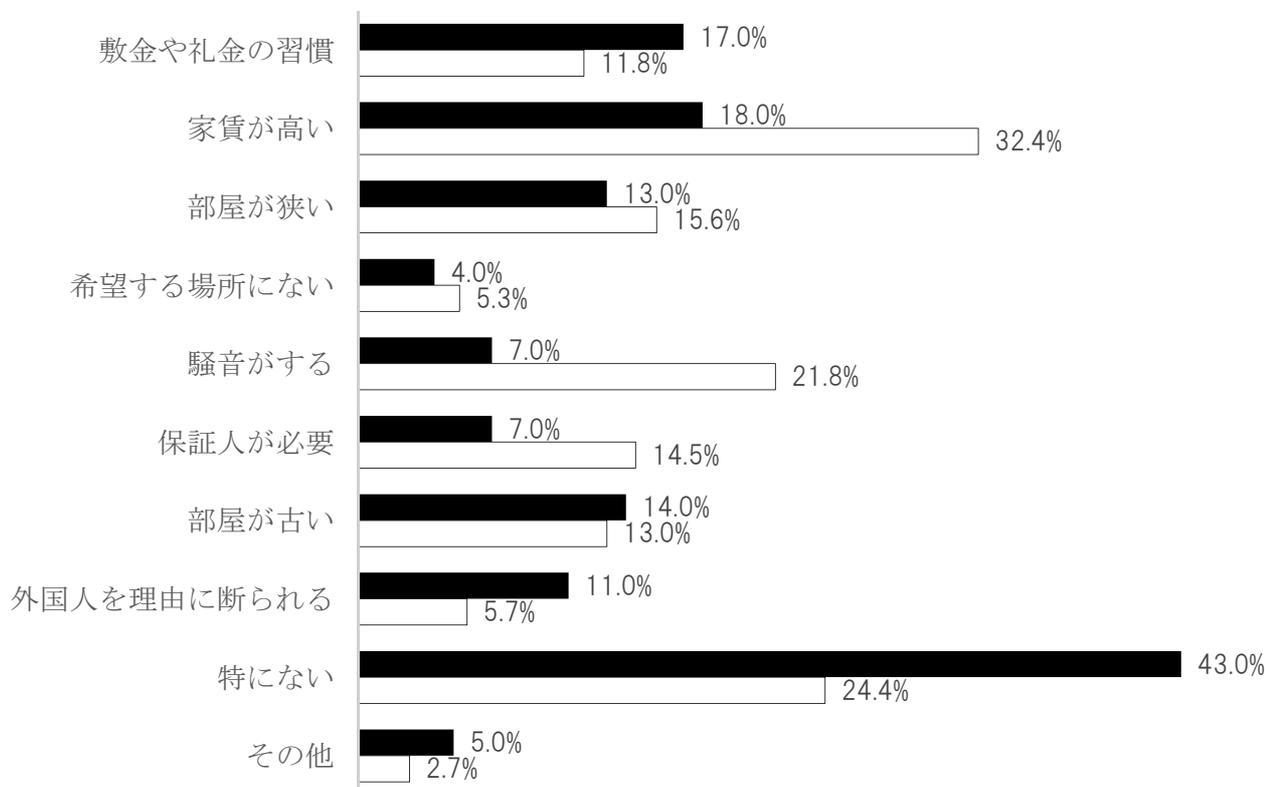
住居の不満については、「なし」が43.0%であることから、全体の6割程度が何らかの不満を感じているとみられる。不満の理由は、「家賃が高い」18.0%、「敷金や礼金の習慣」が17.0%、「部屋が古い」が14.0%、「部屋が狭い」が13.0%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「なし」が増加しており、「家賃が高い」「騒音がする」「保証人が必要」が減少している。

◆ 前回との比較 ◆

■ 今回全体(N=100) □ 前回全体(N=262)

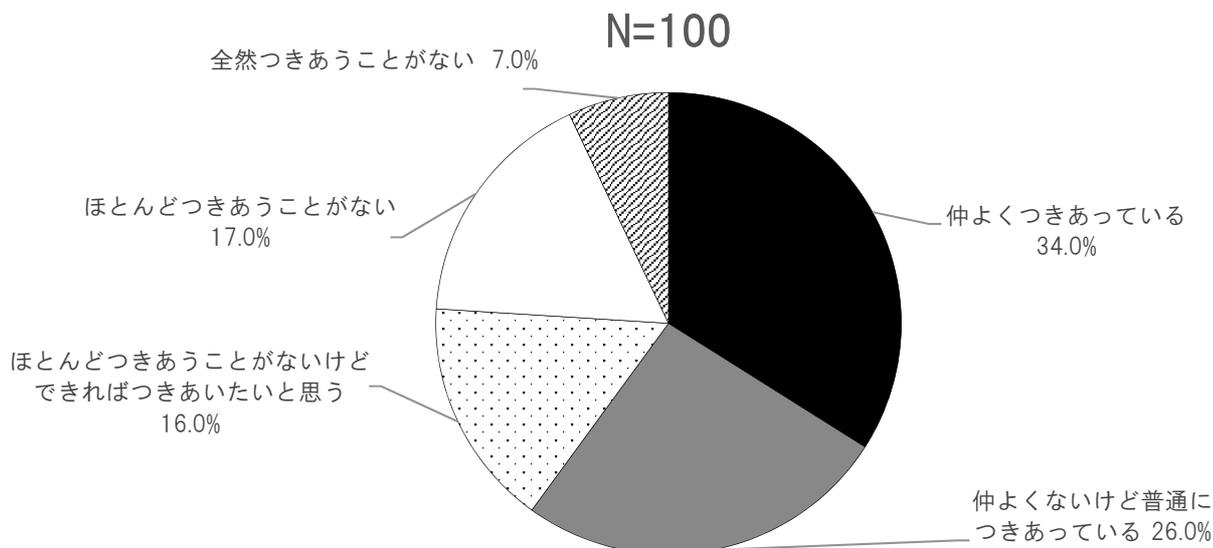


【3】国際交流に対する意識や意向などについて

1. 学校や仕事以外での日本人との交流

学校や仕事以外で日本人と交流することがありますか？

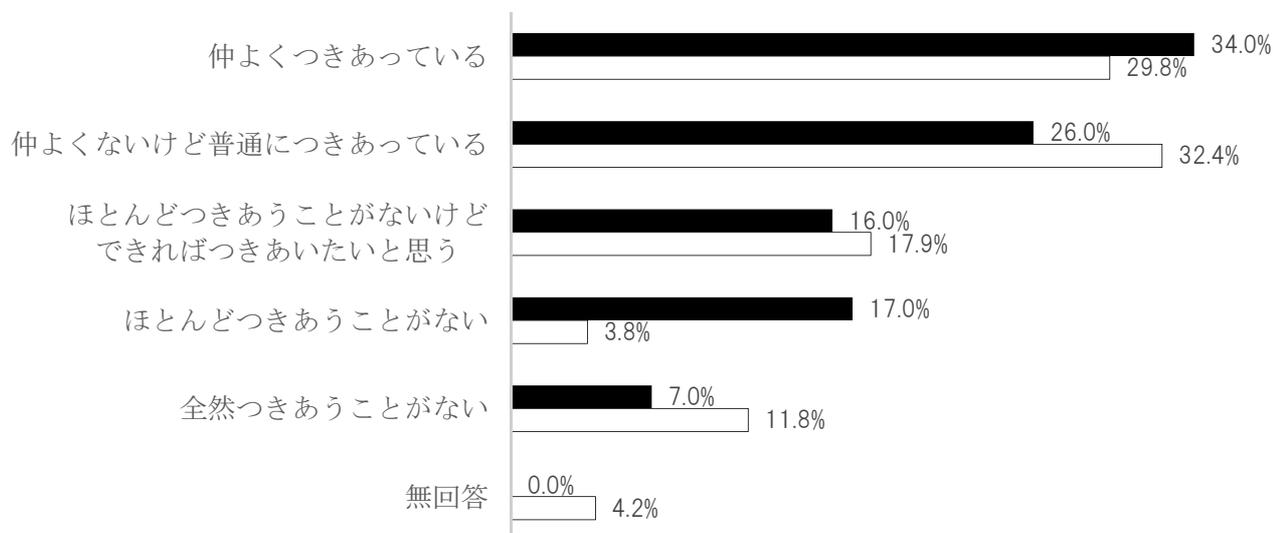
学校や仕事以外での日本人との交流については、「仲よくつきあっている」が 34.0%と最も高く、次いで「仲よくないけど普通につきあっている」が 26.0%となっている。年齢別では、20 歳代では「仲よくつきあっている」と「仲よくないけど普通につきあっている」が過半数を占めており、30 歳代では「ほとんどつきあうことがないけどできればつきあいたいと思う」が過半数を占めている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「ほとんどつきあうことがない」が増加し、「仲よくないけど普通につきあっている」が減少している。

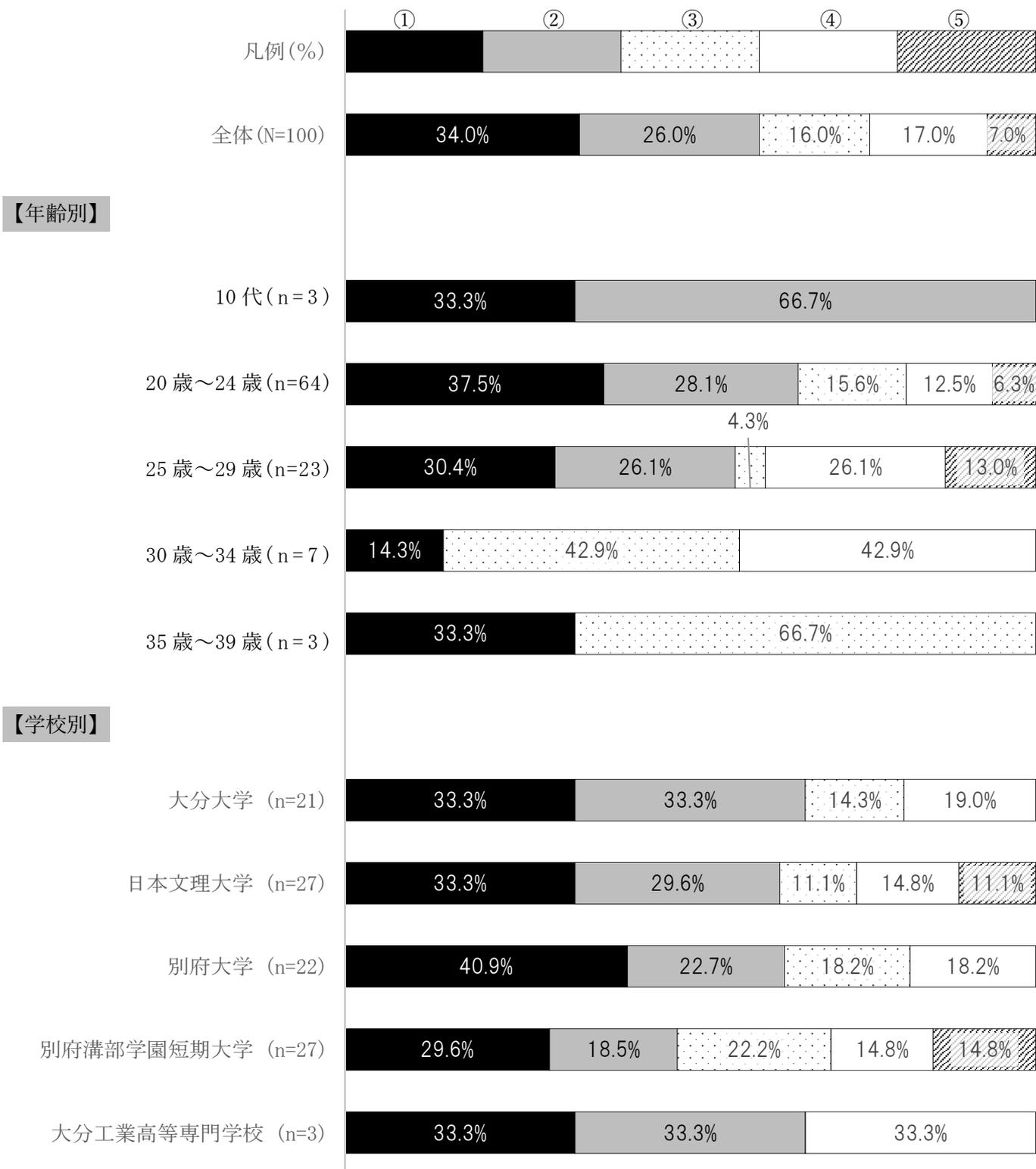
◆ 前回調査との比較 ◆

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



N=100

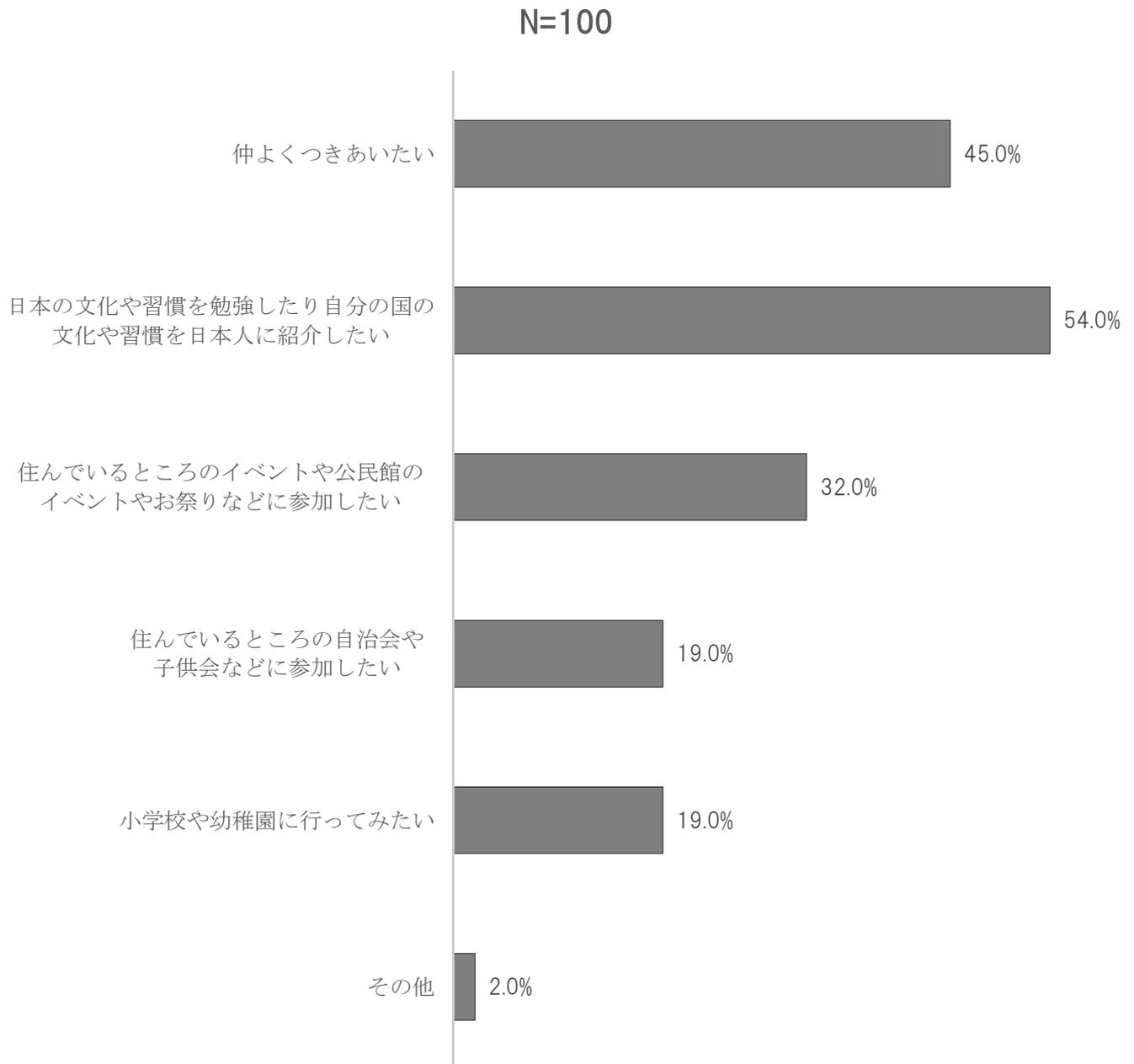
- ①仲よくつきあっている ②仲よくないけど普通につきあっている
 ③ほとんどつきあうことがないけどできればつきあいたいと思う
 ④ほとんどつきあうことがない ⑤全然つきあうことがない



2. 市民との国際交流の希望

近くに住んでいる日本人とどうつきあいたいですか？(複数回答可)

日本人との交流については、全体、年齢別、日本人と交流別のすべてで「仲よくつきあいたい」と「日本の文化や習慣を勉強したり自分の国の文化や習慣を日本人に紹介したい」で過半数を占めている。

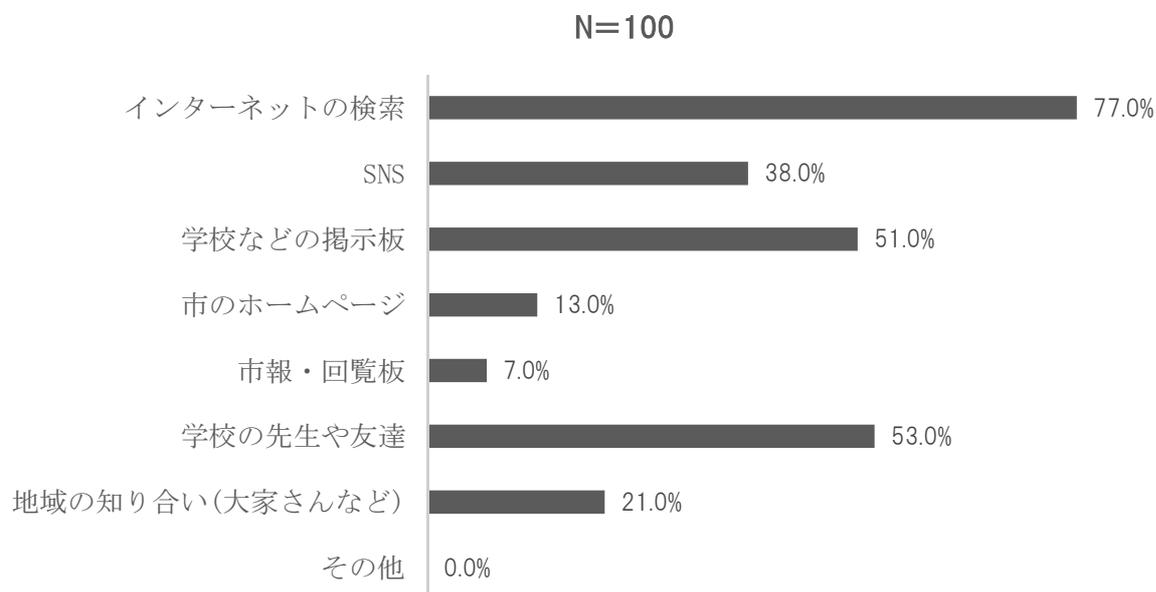


単位(%)		仲よくつきあいたい	日本の文化や習慣を勉強したり自分の国の文化や習慣を日本人に紹介したい	住んでいるところのイベントや公民館のイベントやお祭りなどに参加したい	住んでいるところの自治会や子供会などに参加したい	小学校や幼稚園に行ってみたい	その他
全体(N=100)		45.0%	54.0%	32.0%	19.0%	19.0%	2.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	42.2%	57.8%	26.6%	15.6%	17.2%	0.0%
	25歳～29歳(n=23)	43.5%	43.5%	26.1%	17.4%	13.0%	8.7%
	30歳～34歳(n=7)	71.4%	57.1%	71.4%	42.9%	42.9%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
学校や仕事以外での日本人との交流別	仲よくつきあっている(n=34)	47.1%	52.9%	29.4%	11.8%	17.6%	0.0%
	仲よくないけど普通に付き合っている(n=26)	34.6%	61.5%	42.3%	19.2%	11.5%	0.0%
	ほとんどつきあいがいいけど出来れば付き合いたいと思う(n=16)	62.5%	68.8%	43.8%	43.8%	31.3%	0.0%
	ほとんどつきあうことがない(n=17)	41.2%	47.1%	23.5%	17.6%	29.4%	0.0%
	全然つきあうことがない(n=7)	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%

3. 必要な生活情報の入手先

必要な生活情報は何で知りますか？(複数回答可)

必要な生活情報の入手先については、「インターネットの検索」が77.0%と最も高く、次いで「学校の先生や友達」が53.0%、「学校などの掲示板」が51.0%、「SNS」が38.0%の順となっている。



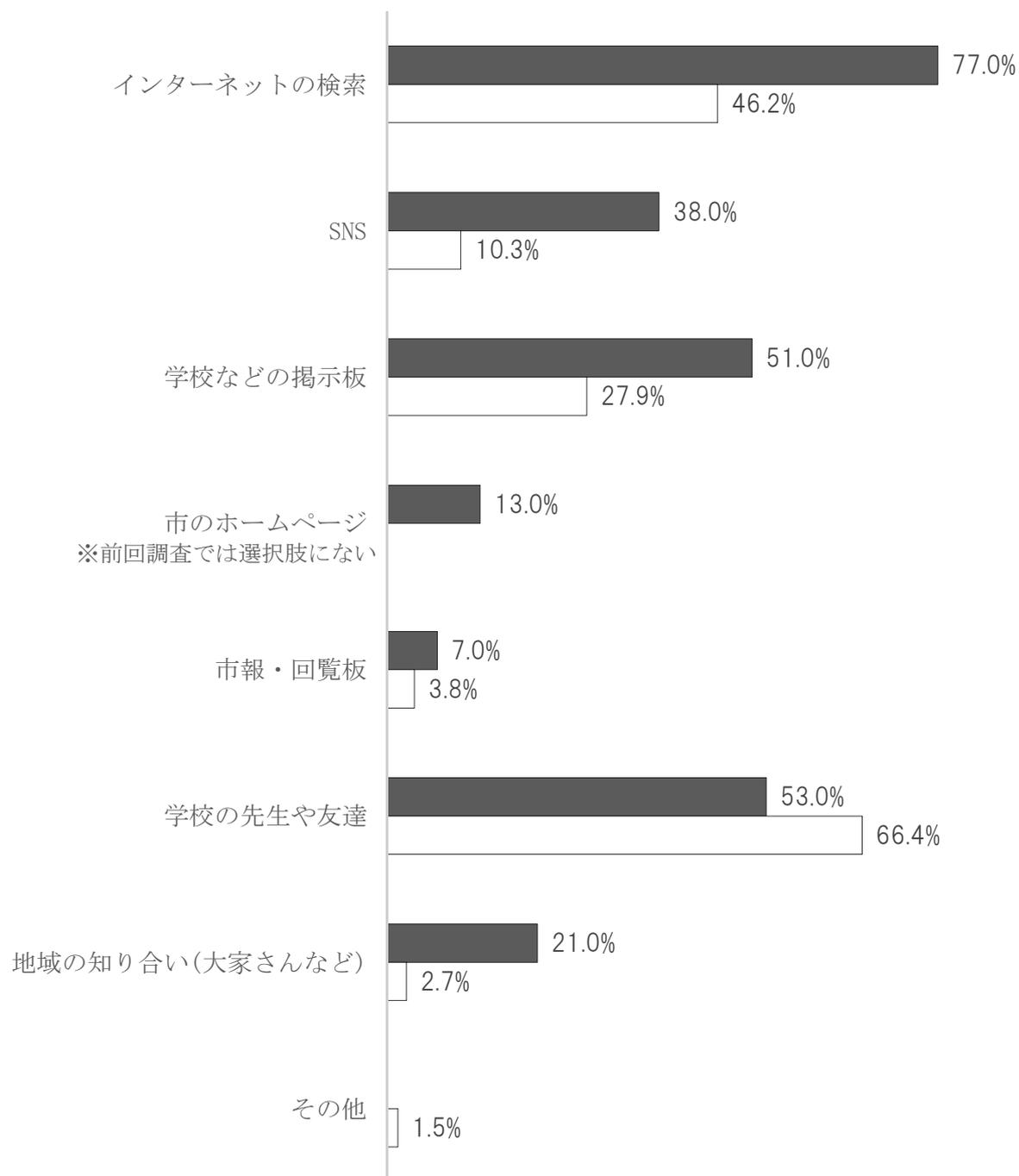
年齢別、専攻別でも「インターネットの検索」「学校などの掲示板」「学校の先生や友達」「SNS」で大半を占めている。

単位(%)		インターネットの検索	SNS	学校などの掲示板	市のホームページ	市報・回覧板	学校の先生や友達	地域の知り合い	その他
全体(N=100)		77.0%	38.0%	51.0%	13.0%	7.0%	53.0%	21.0%	0.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	78.1%	37.5%	54.7%	10.9%	4.7%	46.9%	17.2%	0.0%
	25歳～29歳(n=23)	78.3%	30.4%	52.2%	17.4%	8.7%	60.9%	39.1%	0.0%
	30歳～34歳(n=7)	85.7%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%
専攻別	文系(n=45)	80.0%	17.8%	55.6%	13.3%	4.4%	44.4%	22.2%	0.0%
	理系(n=33)	72.7%	51.5%	48.5%	6.1%	6.1%	51.5%	21.2%	0.0%
	その他(n=16)	87.5%	62.5%	43.8%	31.3%	18.8%	81.3%	18.8%	0.0%
	無回答(n=6)	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「インターネットの検索」「SNS」「学校などの掲示板」「市報・回覧板」「地域の知り合い」が増加し、「学校の先生や友達」が減少している。

◆前回調査との比較◆

■今回(N=100) □前回(N=262)

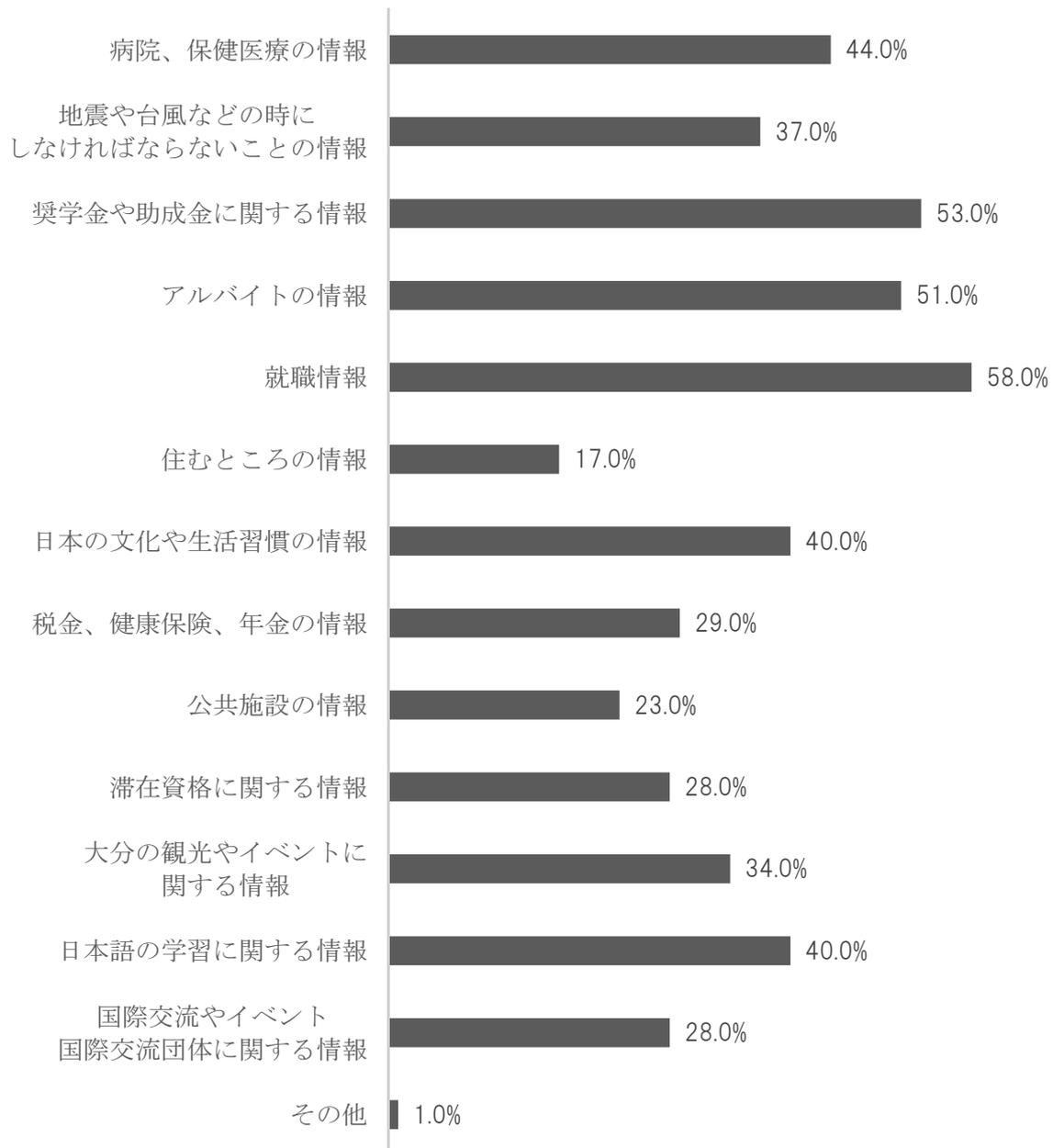


4. 現在、最もほしいと思う情報

あなたがほしい情報は何か？(複数回答可)

現在、最もほしいと思う情報については、「就職情報」が 58.0%、「奨学金や助成金に関する情報」が 53.0%、「アルバイトの情報」が 51.0%、「病院、保健医療の情報」が 44.0%、「日本の文化や生活習慣の情報」「日本語の学習に関する情報」が 40.0%の順となっている。

N=100



年齢別では、10歳代で「就職情報」「奨学金や助成金に関する情報」が 66.7%と突出して高く、20歳代では「就職情報」「アルバイトの情報」が高くなっている。30歳代になると、「日本の文化や生活習慣の情報」「就職情報」「税金・健康保険・年金の情報」「日本語の学習に関する情報」が高くなっている。専攻別では、文系・理系ともに、「就職情報」「アルバイトの情報」「奨学金や助成金に関する情報」が高くなっている。

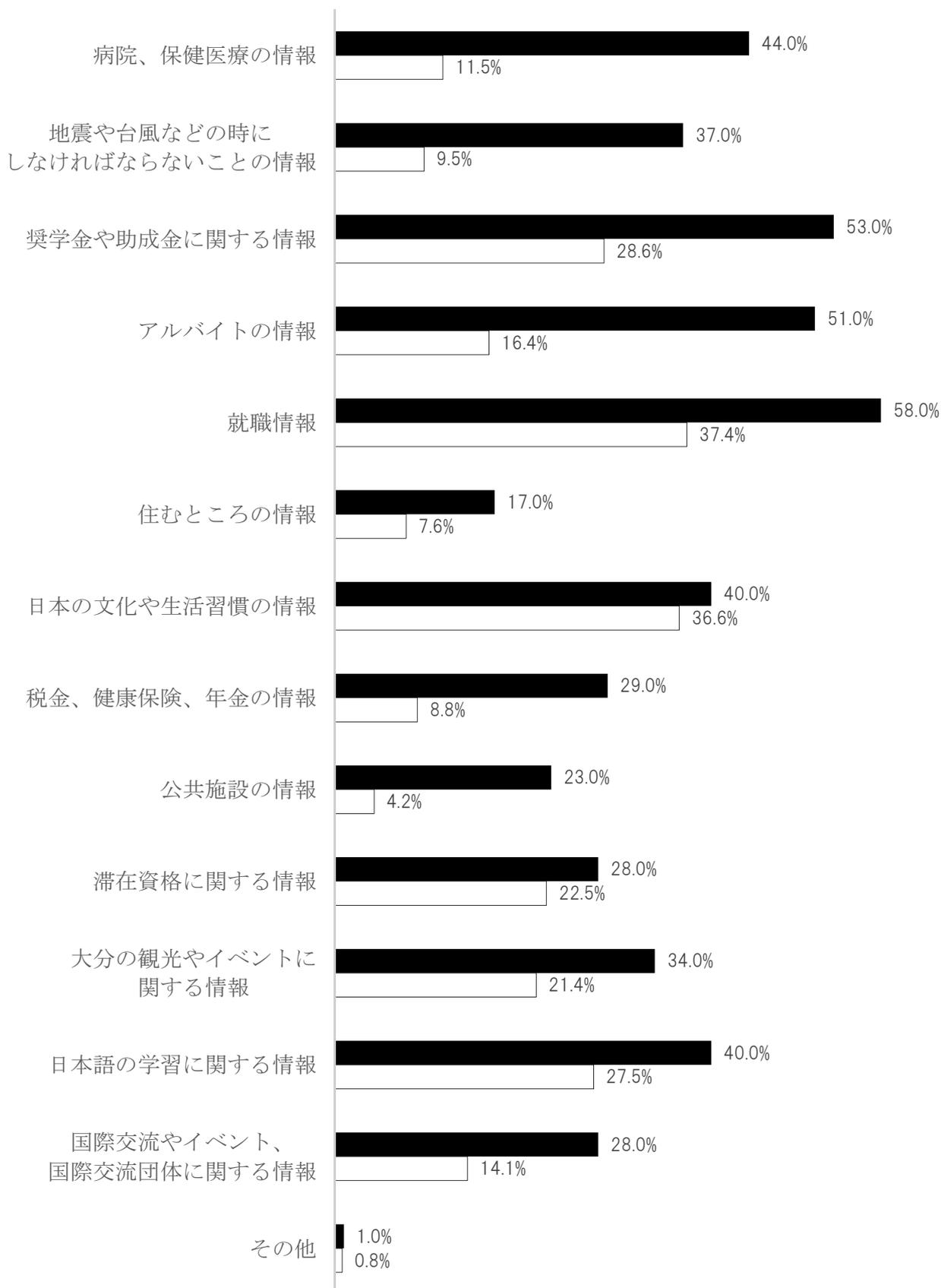
単位(%)		病院、保健医療の情報	地震や台風などの時に しなければならぬ情報	奨学金や助成金に関する 情報	アルバイトの情報	就職情報	住むところの情報	日本の文化や生活習慣の 情報	税金、健康保険、年金の 情報	公共施設の情報	滞在資格に関する情報
全体(N=100)		44.0%	37.0%	53.0%	51.0%	58.0%	17.0%	40.0%	29.0%	23.0%	28.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	42.2%	37.5%	54.7%	51.6%	57.8%	12.5%	37.5%	23.4%	18.8%	18.8%
	25歳～29歳(n=23)	47.8%	39.1%	56.5%	60.9%	56.5%	21.7%	43.5%	34.8%	34.8%	52.2%
	30歳～34歳(n=7)	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	42.9%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%
専攻別	文系(n=45)	40.0%	31.1%	57.8%	57.8%	55.6%	15.6%	48.9%	31.1%	20.0%	37.8%
	理系(n=33)	42.4%	42.4%	45.5%	42.4%	54.5%	21.2%	36.4%	27.3%	27.3%	18.2%
	その他(n=16)	50.0%	43.8%	56.3%	56.3%	68.8%	18.8%	31.3%	31.3%	25.0%	31.3%
	無回答(n=6)	66.7%	33.3%	50.0%	33.3%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%

単位(%)		大分の観光や イベントに関する情報	日本語の学習に関する 情報	国際交流やイベント、 国際交流団体に関する情報	その他
全体(N=100)		34.0%	40.0%	28.0%	1.0%
年齢別	10代(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	31.3%	40.6%	23.4%	1.6%
	25歳～29歳(n=23)	43.5%	34.8%	39.1%	0.0%
	30歳～34歳(n=7)	28.6%	57.1%	28.6%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
専攻別	文系(n=45)	40.0%	37.8%	33.3%	0.0%
	理系(n=33)	30.3%	36.4%	27.3%	3.0%
	その他(n=16)	37.5%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答(n=6)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では全体的にどの項目も前回より増加している。

◆前回調査との比較◆

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体 (N=262)

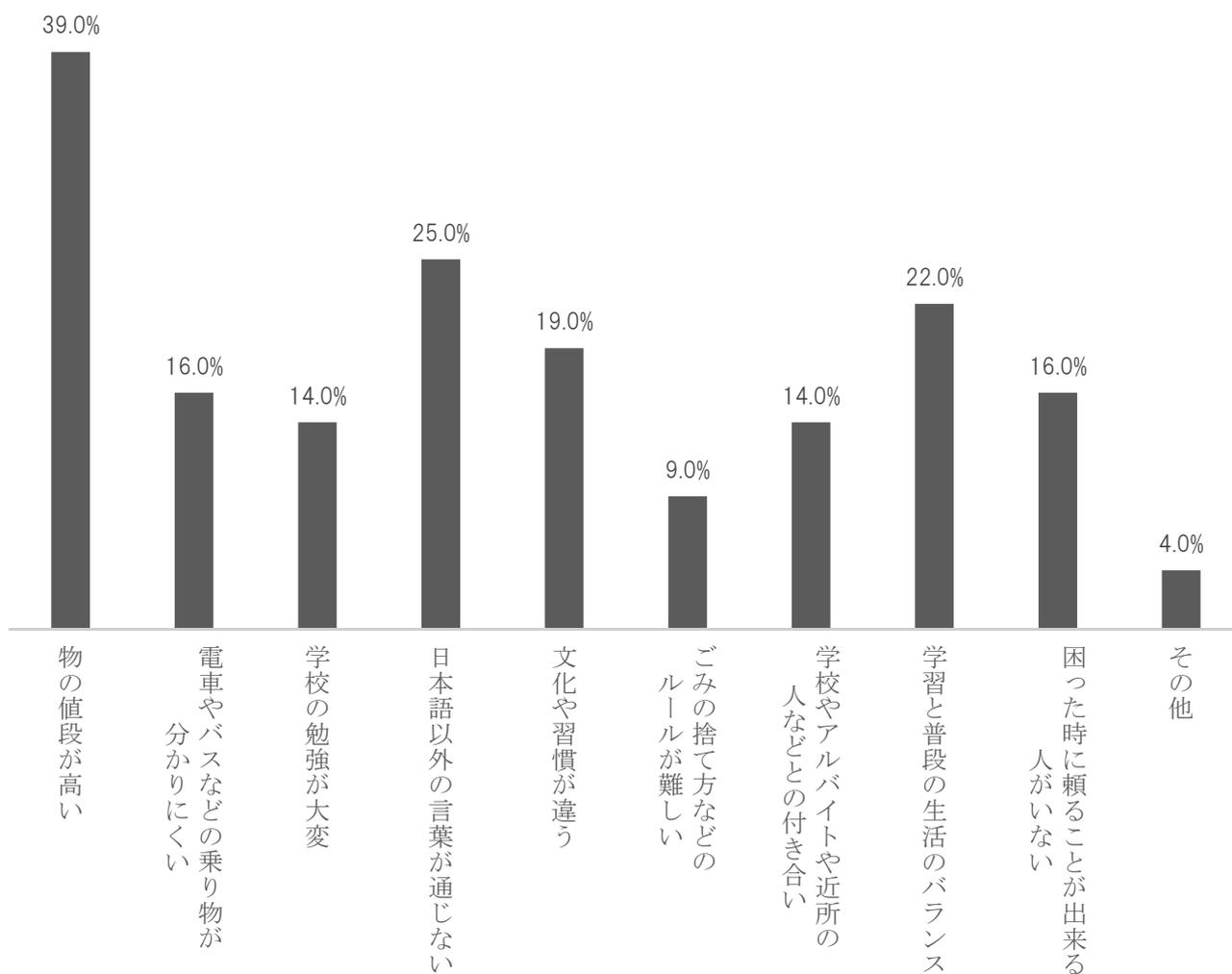


5. 生活の問題

生活で困っていることは何ですか？(複数回答可)

生活の問題については、「物の値段が高い」が 39.0%と最も高く、次いで「日本語以外の言葉が通じない」が 25.0%、「学習と普段の生活のバランス」が 22.0%の順となっている。

N=100

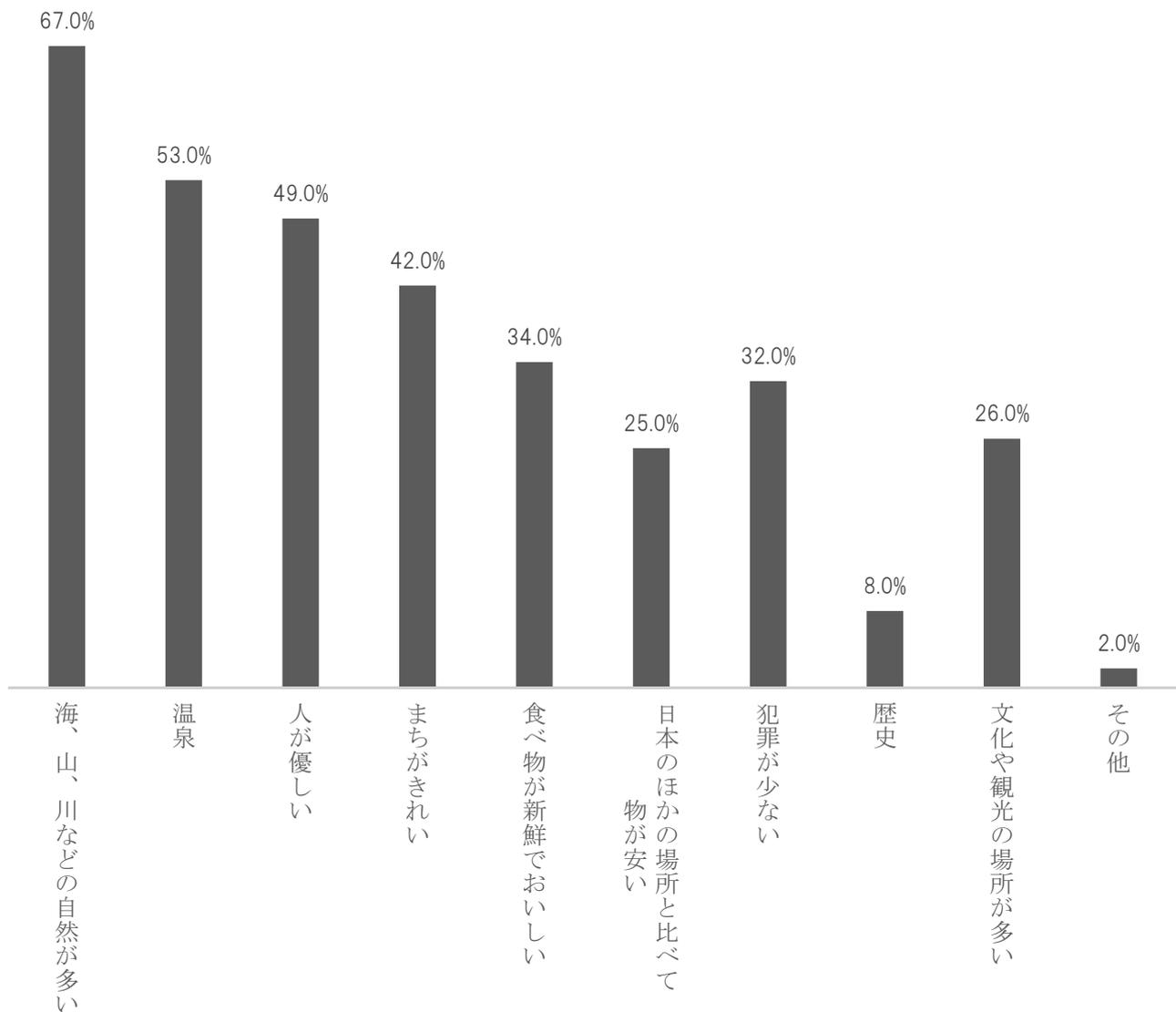


6. 大分の好きなおとこ

大分の好きなおとこは何ですか？(複数回答可)

大分の好きなおとこについては、「海、山、川などの自然が多い」が 67.0%と最も高く、次いで「温泉」が 53.0%、「人が優しい」が 49.0%、「まちがきれい」が 42.0%の順となっている。

N=100

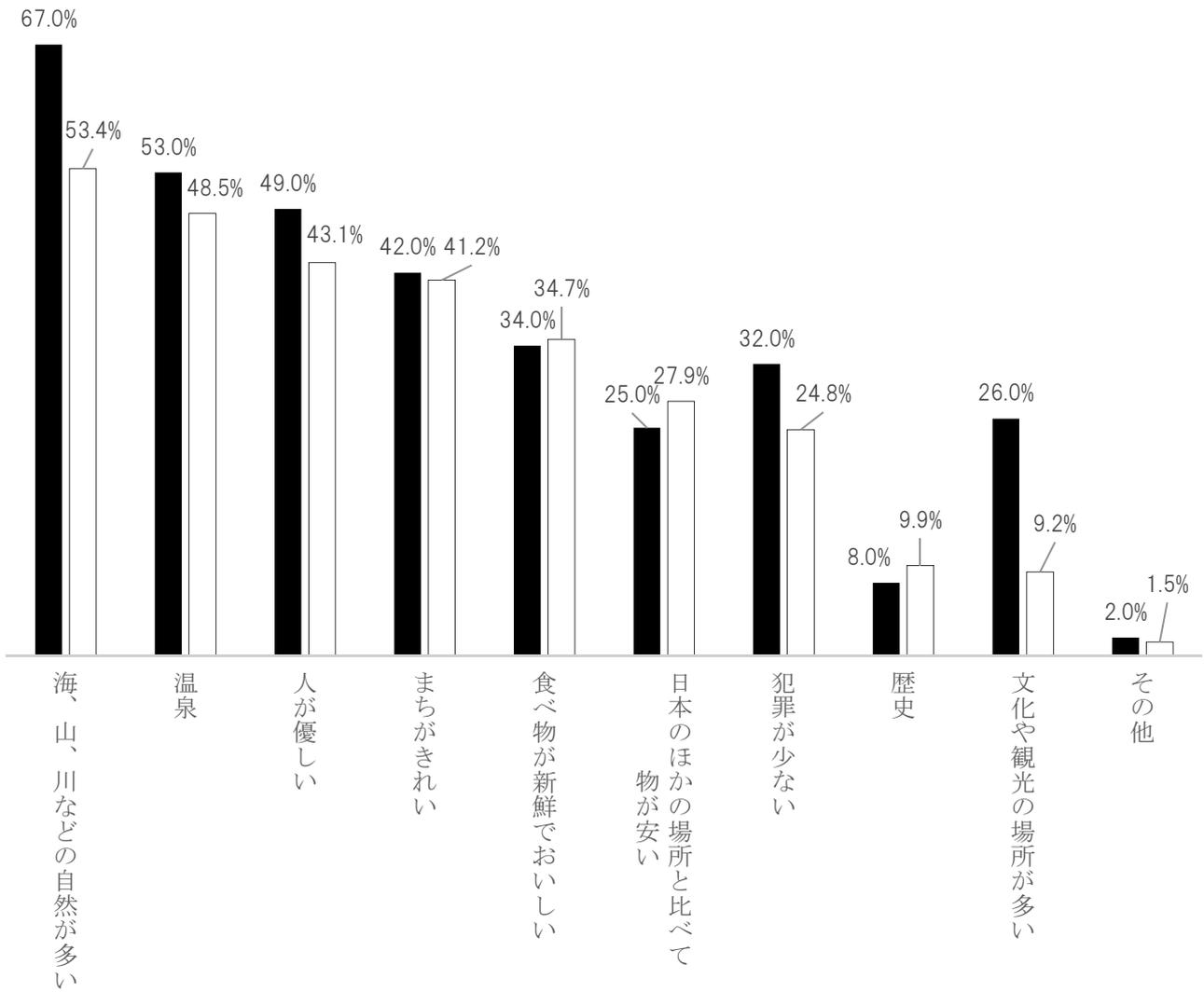


単位(%)		海、山、川などの自然が多い	温泉	人が優しい	まちがきれい	食べ物が新鮮でおいしい	日本のほかの場所と比べて物が安い	犯罪が少ない	歴史	文化や観光の場所が多い	その他
全体(N=100)		67.0%	53.0%	49.0%	42.0%	34.0%	25.0%	32.0%	8.0%	26.0%	2.0%
年齢別	10代(n=3)	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	67.2%	50.0%	39.1%	42.2%	25.0%	17.2%	26.6%	4.7%	20.3%	1.6%
	25歳～29歳(n=23)	65.2%	56.5%	65.2%	34.8%	39.1%	30.4%	39.1%	13.0%	34.8%	4.3%
	30歳～34歳(n=7)	71.4%	71.4%	85.7%	57.1%	71.4%	28.6%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
居住年数別	1年未満(n=9)	66.7%	66.7%	55.6%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
	1年～2年未満(n=36)	52.8%	38.9%	41.7%	41.7%	27.8%	16.7%	36.1%	0.0%	25.0%	2.8%
	2年～3年未満(n=18)	77.8%	50.0%	61.1%	50.0%	44.4%	44.4%	50.0%	16.7%	27.8%	0.0%
	3年～4年未満(n=7)	71.4%	57.1%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
	4年～5年未満(n=4)	100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5年～6年未満(n=2)	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	大分市に住んでいない(n=24)	70.8%	70.8%	50.0%	37.5%	41.7%	33.3%	25.0%	12.5%	29.2%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「海、山、川などの自然が多い」「文化や観光の場所が多い」が突出して増加している。

N=100

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



【4】卒業した後について

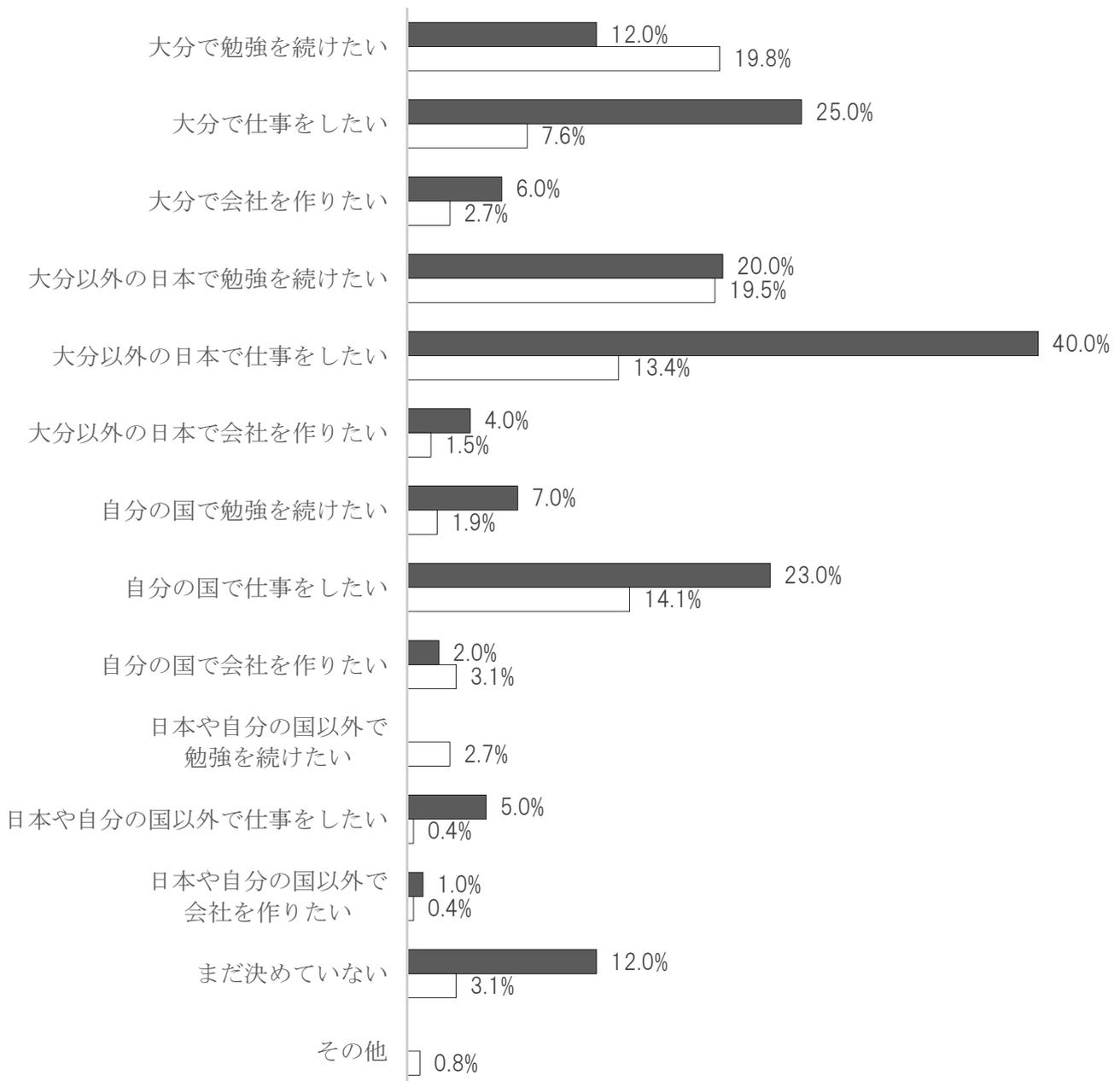
1. 卒業した後の予定

学校を卒業した後どうしますか？(複数回答可)

卒業した後の予定については、「大分以外の日本で仕事をしたい」が40.0%と最も高く、次いで「大分で仕事をしたい」25.0%「自分の国で仕事をしたい」が23.0%、「大分以外の日本で勉強を続けたい」が20.0%の順となっている。前回調査との比較を見ると、今回調査では「大分以外の日本で仕事をしたい」「自分の国で仕事をしたい」が突出して増加している。

◆前回調査との比較◆

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



【5】その他

1. 新型コロナウイルスで困っていること

新型コロナウイルスで困っていることがあれば教えてください

- ・ 仕事がなくなりました。
- ・ あと1年卒業した、でも仕事を見つけないと思います、続いて学校で勉強しなければなりません。
- ・ コロナのせいでアルバイトがなくなったからこまっています、
- ・ 就職活動が厳しいです
- ・ バイト足りないです。お金がない。
- ・ コロナウイルスあるから仕事がなくなった。生活は大変です。アルバイトの場もありませんでした。
- ・ コロナウイルスで、アルバイトが少なくなりました。お金がなくなります。
- ・ アルバイトする時間が減ってきました
- ・ 最近コロナのせいでバイトがなくなって生活をするのは大変です。
- ・ アルバイトがないです。それで生活が難しくなっています。
- ・ 友達と一緒に遊べないです。
- ・ 夏休みで母国に帰れないこと。外国人たちを疑う視線。美容室に入場拒否された。
- ・ 地元より日本のモノの値段が高いですし、お金がないとき、親にお金もらうのがすまないから3日間うどんとしょうゆだけ食べたことがあります。
- ・ 外に出たらマスクをかけない人がけっこういることが困ります。
- ・ 最近コロナウイルスがどんどん危なくなりますが、たまに対面授業になる場合が困ります。
- ・ バイト先がなくなった
- ・ 道にマスクをしていない人がいて、不安になることがあります。
- ・ 私の生活に大きな変化があります。アルバイトが減ります。日本政府が留学生に生活支援をしてほしいです。
- ・ 公共施設や食堂でマスクをしている人が少ない
- ・ コロナの前よくアルバイトもありました、生活もよかった。ホテルでアルバイトをやっていましたけどホテルは3か月ぐらい休館になりました。今もホテルのシフトが減って一週間に2回ぐらいだけです。自分の国もコロナでこまっています。だから国からお金をもらえません。このせんぶのことで生活はたいへんになっています。
- ・ 最近新型コロナウイルスのせいでホテルでアルバイトしていたけど今のところはホテルは休館になって、アルバイトは3月ぐらい休みでした。今もホテルでシフトが減ってアルバイトは一週間に2回ぐらいだけです。その原因で学費と家賃など払うことができなくなりました。今のところは国から仕送りすることは大変です。新型コロナウイルスのせいで、今アルバイトを見つけることはとても難しくなりました。もう貯金がだんだん少なくなったので生活は大変です。
- ・ 仕事がない
- ・ 学校に行きませんので、他の人との交流も進まなくて、日本語は後退しました。オンライン授業の効率も低いと思います。
- ・ 新型コロナ感染まだ広がっていますので、人と接することが心配しています。
- ・ 医療用3層構造のマスクが高くて買えない（布製じゃ安心できない）。友達と旅行に行けない。
- ・ 学費が高いから親もお金のことで困っています。
- ・ 2学期には学校で対面授業を行うと思いますが、コロナが深刻化する状況でインターネット授業を

するのが正しいと思います。

- ・あまりあっちこっちいけなくなること
- ・生活費が困ります
- ・バイトが減ってしまいまして、お金が足りないです。就職活動もやりにくいです。
- ・自分の国に帰れない。
- ・バイトの時間少なくなった。
- ・コロナウイルスの影響でバイトは無くなって3ヶ月アルバイトをしなかった。今はアルバイトの時間がとても少ないので生活が難しくなっているので困っています。
- ・アルバイトの再就職が難しく、何度も状況が変わることで不安だ。夏休みなのにバイトもなく、母国に帰れなくて退屈で寂しい。
- ・現在、日本に入る手段がなく、携帯電話や公課金などが出せない状態だ
- ・大学四年生は卒業に直面していますので、卒業はどうやって行いますか？
- ・夏休みに国に戻れない
- ・インターンシップがWEBになった。
- ・コロナの影響で、収入の減少プラス精神的なストレスが溜まっています。

2. 大分の生活などについての意見

大分の生活などについて自由な意見を教えてください。

- ・ 大分は静かですみやすいです、そして留学生のこともよくしらべてくれるのであんしんです、ありがとうございます
 - ・ 仕事なさすぎ。しかも給料低い
 - ・ コロナにかからないように生活をしましょう
 - ・ この困難な状況で私たちは助けが必要です
 - ・ 人々が本当に優しくて良いです！
- 1、交通不便、交通費が高い
 - 2、娯楽施設が少ない
 - 3、留学生が働けるところが少ない
 - 4、留学生と日本人大学生のコミュニケーションするイベントが少ない
- ・ 免許がないと遠い所には行きにくい。
 - ・ とりあえず、電車が少ないと思います。それで、大分でバイトする私は電車を乗れなかったときに困ったことがありました。そして、スーパーとかお店が早く閉まります。そんなことのせいで、午前、午後には学校の授業を受けて、夜までバイトをする私は買い物するのがちょっと困ります。
 - ・ きれいで親切なところだと思います。
 - ・ 大分の中でいろんな店とかあって欲しいなと思います。
 - ・ 何事もなく平和でよい
 - ・ 留学生にもっと交流する活動をして、文化交流をしたいです。
 - ・ 大分のことを外国人に知って欲しい。
 - ・ 大分の環境も人も好きです。困ることが全くなかったわけではありませんが、ここでの暮らしが楽しくてしょうがないです。
 - ・ 虫多いです
 - ・ 大分は静かな町ときれいな町です。前は生活は良いけど今はコロナの影響で生活は難しいです。
 - ・ 豊かに暮らしている。でも、食べ物の配達は高く種類が少なくてもっとよくなってほしい
 - ・ 日本のバスは料金がどんどん高くなって少し怖いという認識がある。現金で小銭などで合わせるのが難しくて自分が行きたい停留所の料金が分からないからバスなどの移動手段にはあまり乗らないバス停留所にガイドブックで停留所などの料金を書いておくと役に立つと思う。
 - ・ 大分に対する不満はないが、時々外国人に対する無視やからかうことがある。(教授、サークル、バイト先など) たぶん外国人だと知らないと思ってする行動だったと思うが、これを除けば本当にのんびりしていい地域だと思う。
 - ・ 人、大自然、温泉、すべてが良い。大分に来て人生が楽しく豊かになった。車やバイクがあれば日本で一番良いところだと思う。留学生は車やバイクのローンを組むのが難しい。

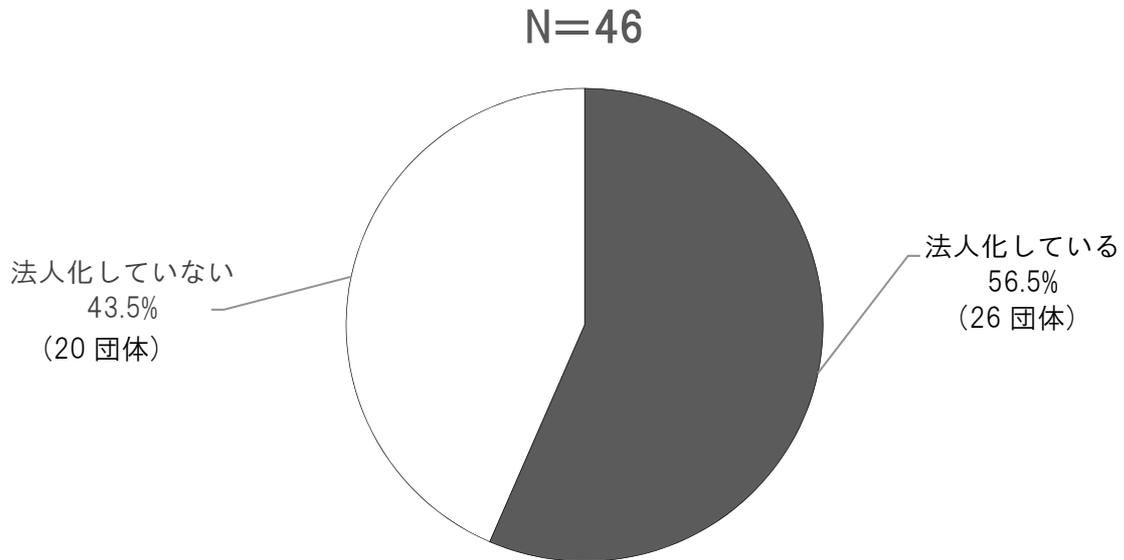
IV 国際交流団体調査結果

【1】団体の属性

1. 団体の形態

貴団体の形態についてお知らせください

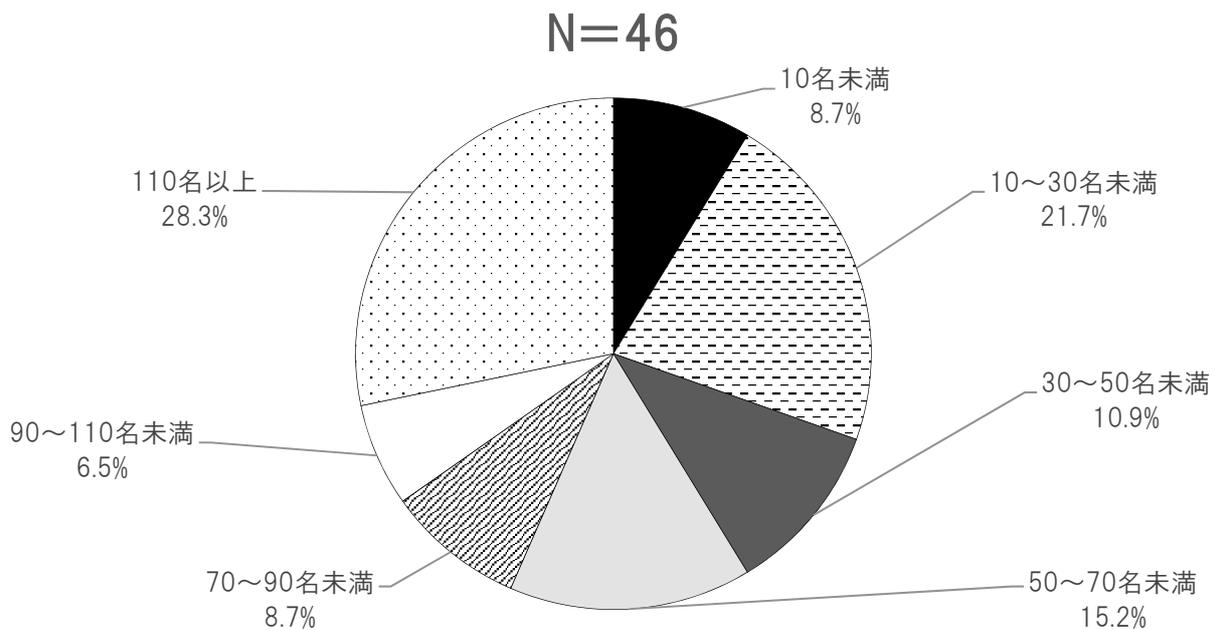
団体の形態については、「法人化している」が56.5%と「法人化していない」が43.5%となっている。



2. 会員数

会員数は何人ですか？

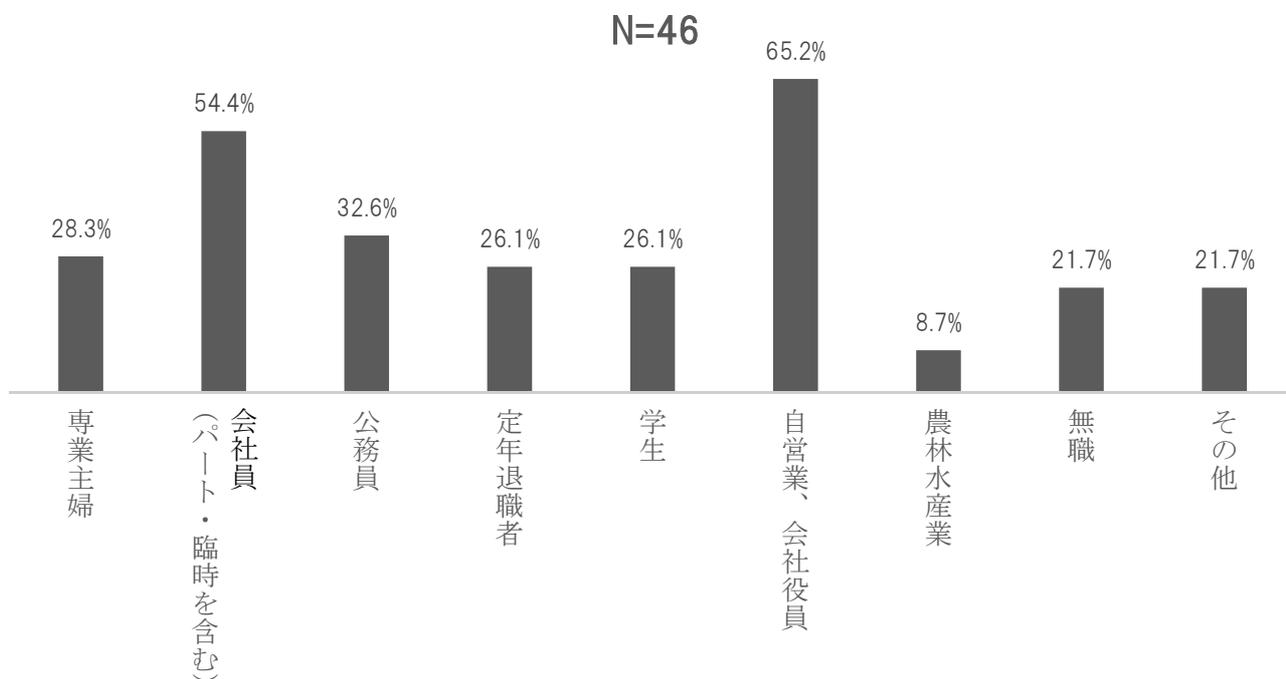
会員数については、「110名以上」が28.3%と最も高く、次いで「10～30名未満」が21.7%、「50～70名未満」が15.2%の順となっている。



3. 会員の主な職業

会員の主な職業は何ですか？(複数回答可)

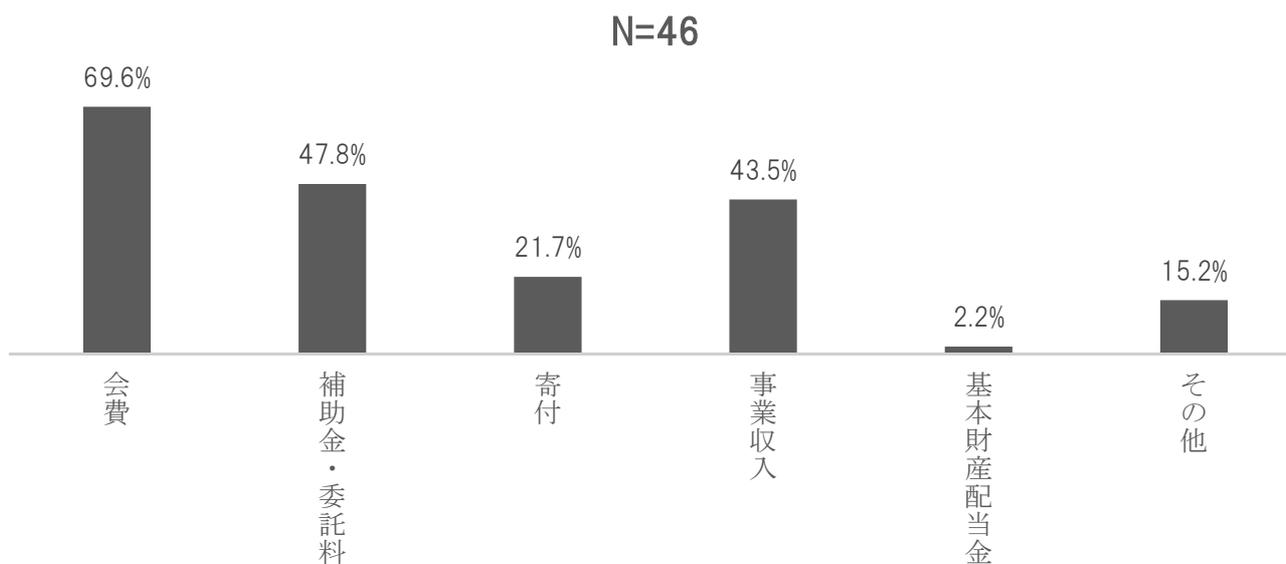
会員の主な職業については、「自営業、会社役員」が65.2%と最も高く、次いで「会社員（パート・臨時を含む）」が54.4%、「公務員」が32.6%の順となっている。



4. 団体運営の主な財源

貴団体運営の主な財源は何ですか？(複数回答可)

団体運営の主な財源については、「会費」が69.6%と最も高く、次いで「補助金、委託料」が47.8%、「事業収入」が43.5%の順となっている。



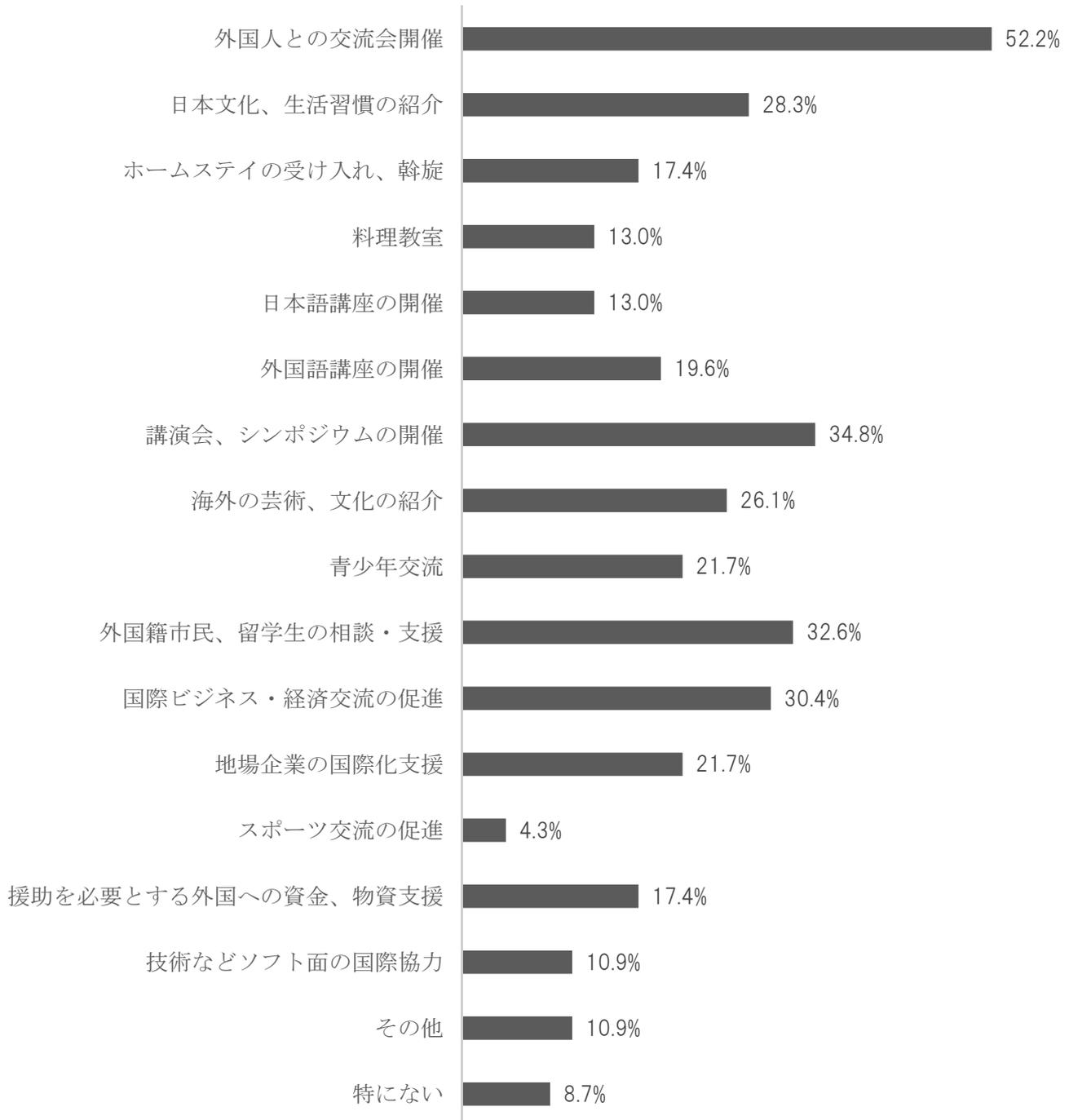
【2】活動について

1. 国際交流・協力活動

国際交流・協力活動の主なものは何ですか？(複数回答可)

国際交流・協力活動の主なものについては、「外国人との交流会開催」が 52.2%と最も高く、次いで「講演会、シンポジウムの開催」が 34.8%、「外国籍市民、留学生の相談・支援」が 32.6%、「国際ビジネス・経済交流の促進」が 30.4%の順となっている。

今回の全体 (N=46)



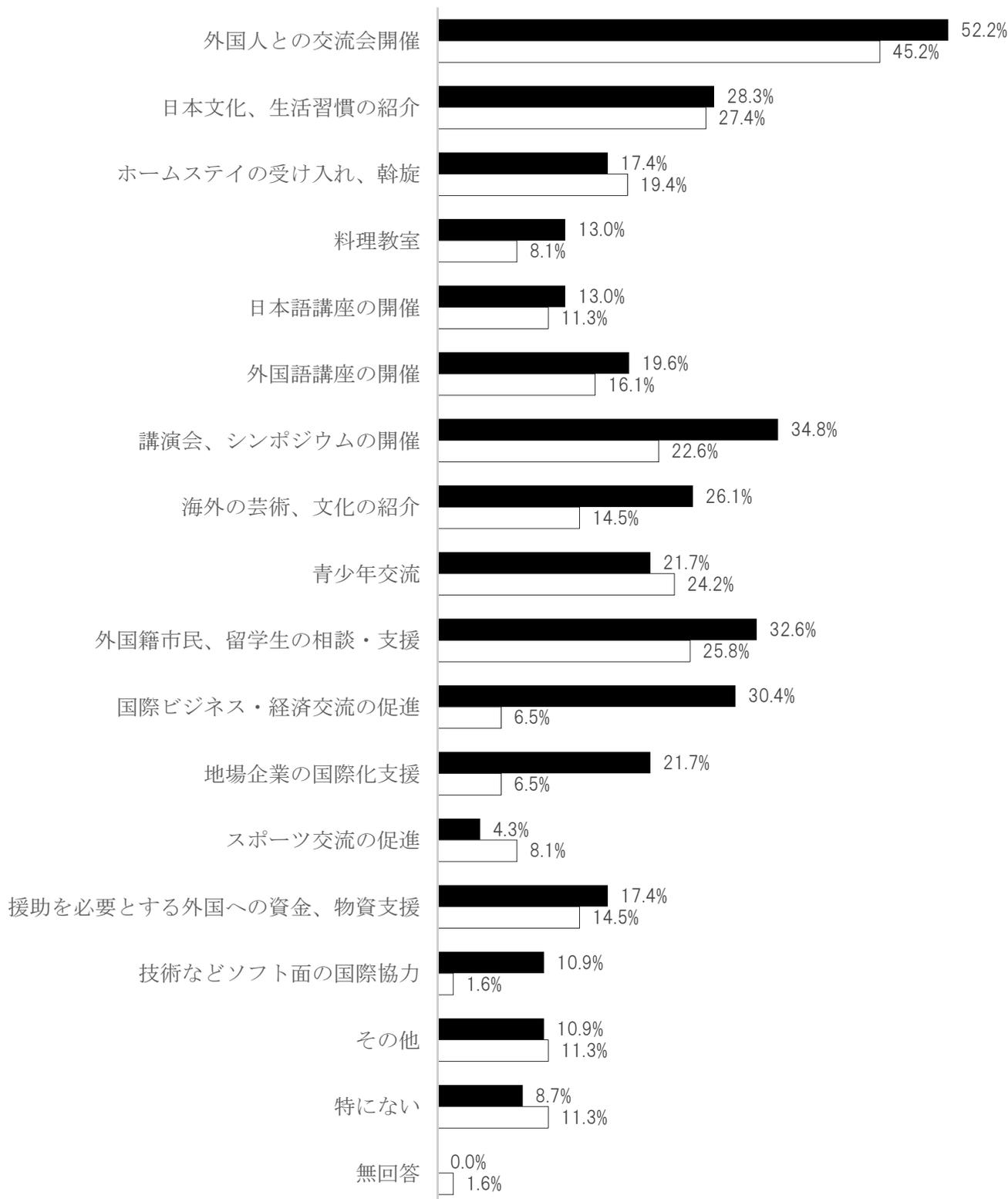
単位(%)		外国人との交流会開催	日本文化、生活習慣の紹介	ホームステイの受け入れ、 幹旋	料理教室	日本語講座の開催	外国語講座の開催	講演会、シンポジウムの 開催	海外の芸術、文化の紹介	青少年交流
全体(N=46)		52.2%	28.3%	17.4%	13.0%	13.0%	19.6%	34.8%	26.1%	21.7%
形態別	法人(n=26)	34.6%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	19.2%	34.6%	23.1%	23.1%
	非法人(n=20)	75.0%	25.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	35.0%	30.0%	20.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	80.0%	30.0%	20.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%	10.0%
	30～50名未満(n=5)	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
	50～70名未満(n=7)	57.1%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	71.4%	57.1%	14.3%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%
	90～110名未満(n=3)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	23.1%	23.1%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%	46.2%	7.7%	38.5%

単位(%)		外国籍市民、留学生の 相談・支援	国際ビジネス・経済 交流の促進	地場企業の国際化 支援	スポーツ交流の促進	援助を必要とする外 国への資金、物資支援	技術などソフト面の 国際協力	その他	特になし
全体(N=46)		32.6%	30.4%	21.7%	4.3%	17.4%	10.9%	10.9%	8.7%
形態別	法人(n=26)	30.8%	38.5%	26.9%	3.8%	3.8%	15.4%	15.4%	7.7%
	非法人(n=20)	35.0%	20.0%	15.0%	5.0%	35.0%	5.0%	5.0%	10.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	50.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	50～70名未満(n=7)	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	23.1%	15.4%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「国際ビジネス・経済交流の促進」が30.4%、「地場企業の国際化支援」が21.7%と前回より突出して増加しており、「外国人との交流会開催」「講演会、シンポジウムの開催」「海外の芸術、文化の紹介」「外国籍市民、留学生の相談・支援」などが多少増加している。

◆前回との比較◆

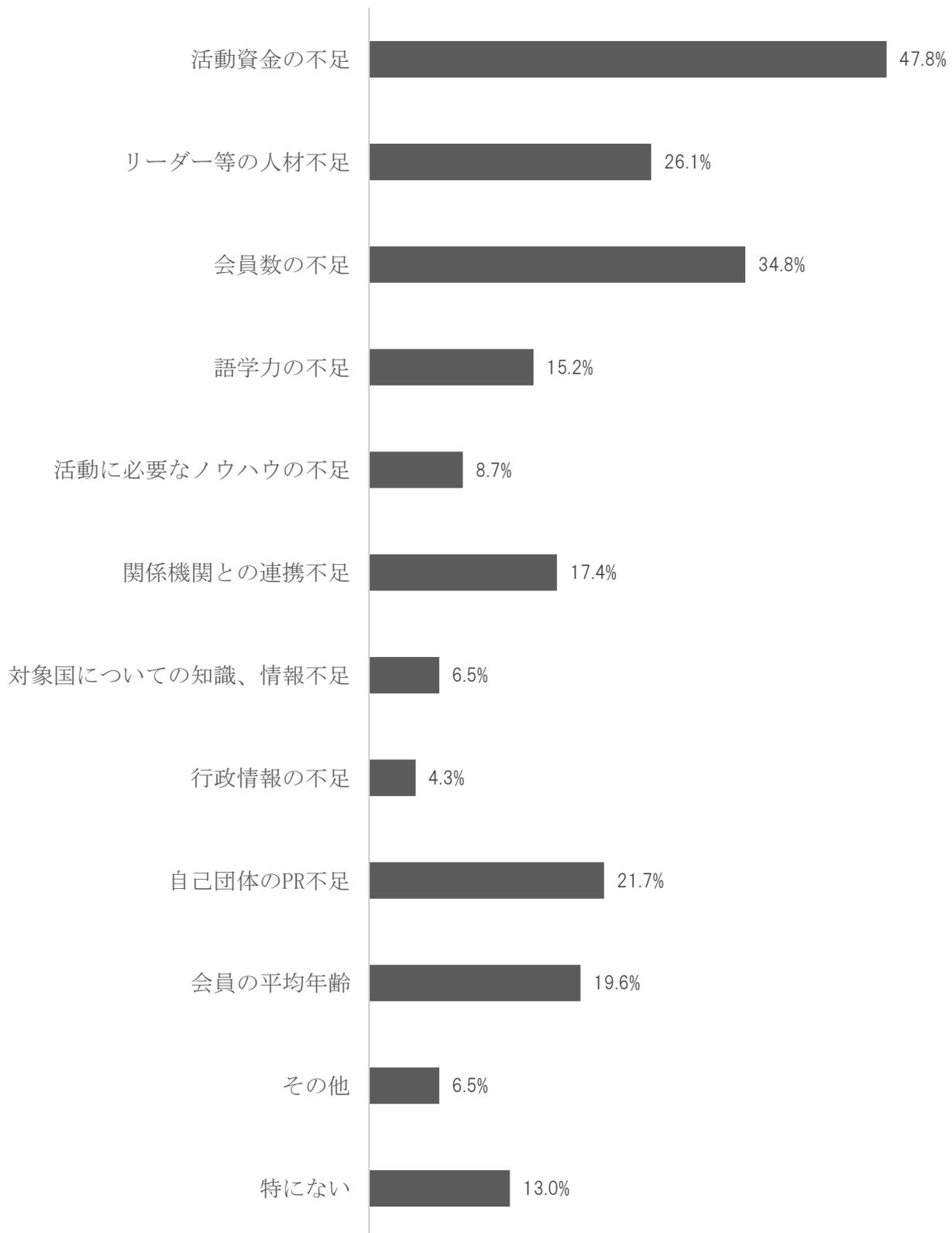
■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



2. 活動上の問題点や課題

活動するうえで、問題点や課題があるとすればなんですか？(複数回答可)

活動上の問題点や課題については、「活動資金の不足」が47.8%と最も高く、次いで「会員数の不足」が34.8%、「リーダー等の人材不足」が26.1%の順となっている。

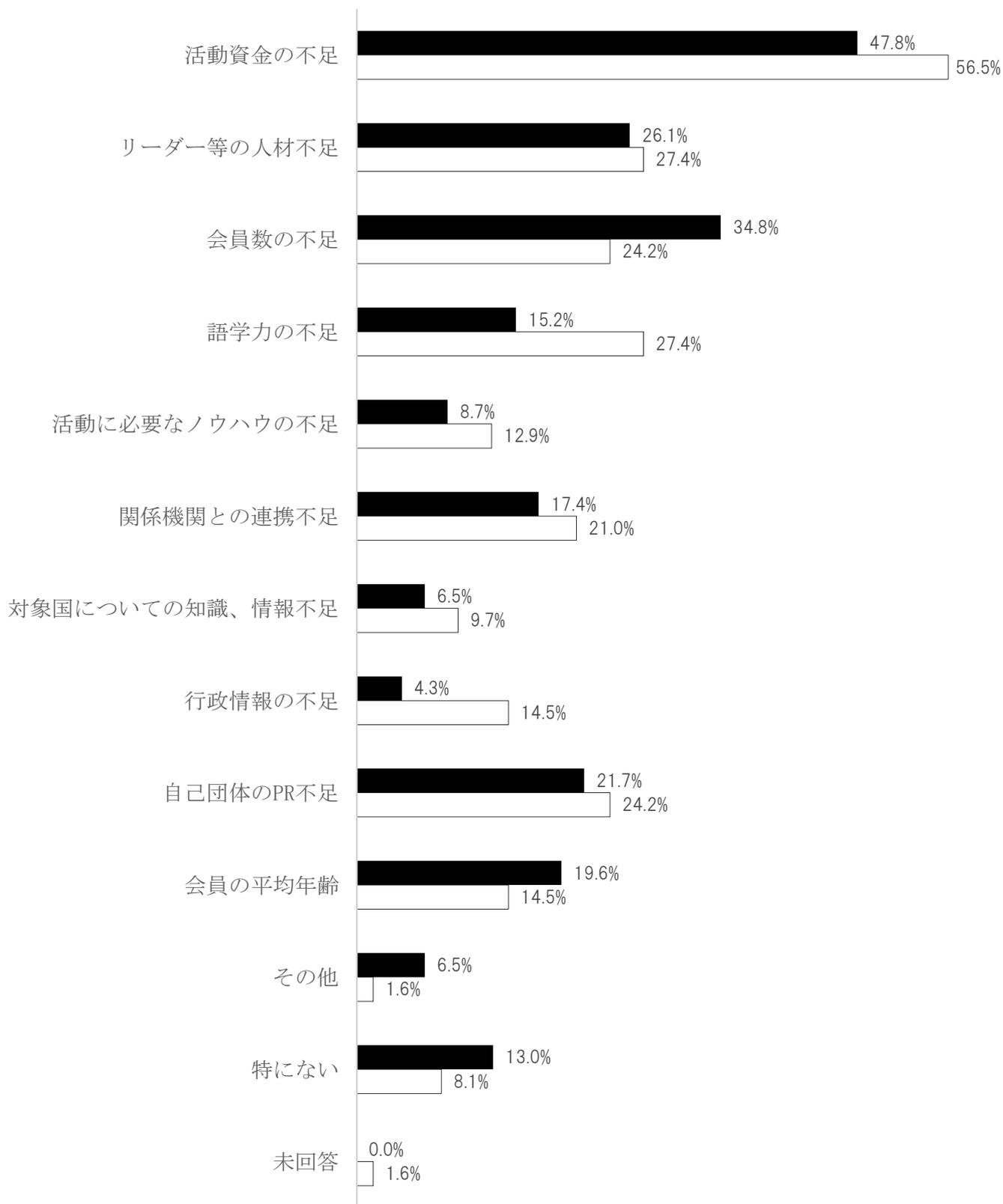


単位(%)		活動資金の不足	リーダー等の人材不足	会員数の不足	語学力の不足	活動に必要なノウハウの不足	関係機関との連携不足	対象国についての知識、情報不足	行政情報の不足	自己団体のPR不足	会員の平均年齢	その他	特にない
全体(N=46)		47.8%	26.1%	34.8%	15.2%	8.7%	17.4%	6.5%	4.3%	21.7%	19.6%	6.5%	13.0%
形態別	法人(n=26)	38.5%	30.8%	30.8%	11.5%	11.5%	11.5%	7.7%	3.8%	23.1%	15.4%	7.7%	19.2%
	非法人(n=20)	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	5.0%	25.0%	5.0%	5.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
会員数別	10名未満(n=4)	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	10～30名未満(n=10)	50.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	50～70名未満(n=7)	71.4%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	30.8%	30.8%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	30.8%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「活動資金の不足」「語学力の不足」「行政情報の不足」が主に減少し、「会員数の不足」「特にない」が増加している。

◆前回との比較◆

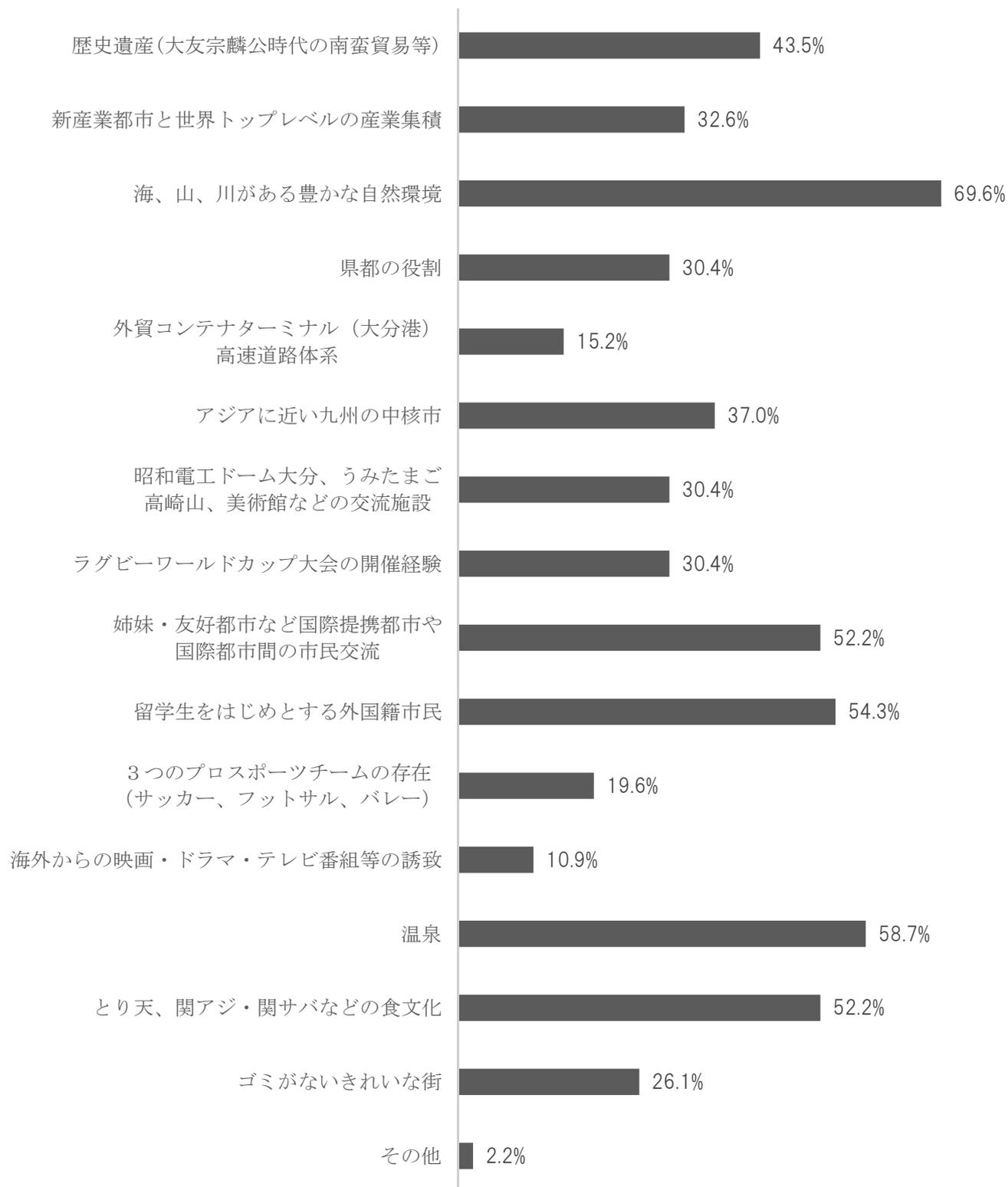
■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと

大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことについては、「海、山、川がある豊かな自然環境」が69.6%と最も高く、次いで「温泉」が58.7%、「留学生をはじめとする外国籍市民」が54.4%の順となっている。



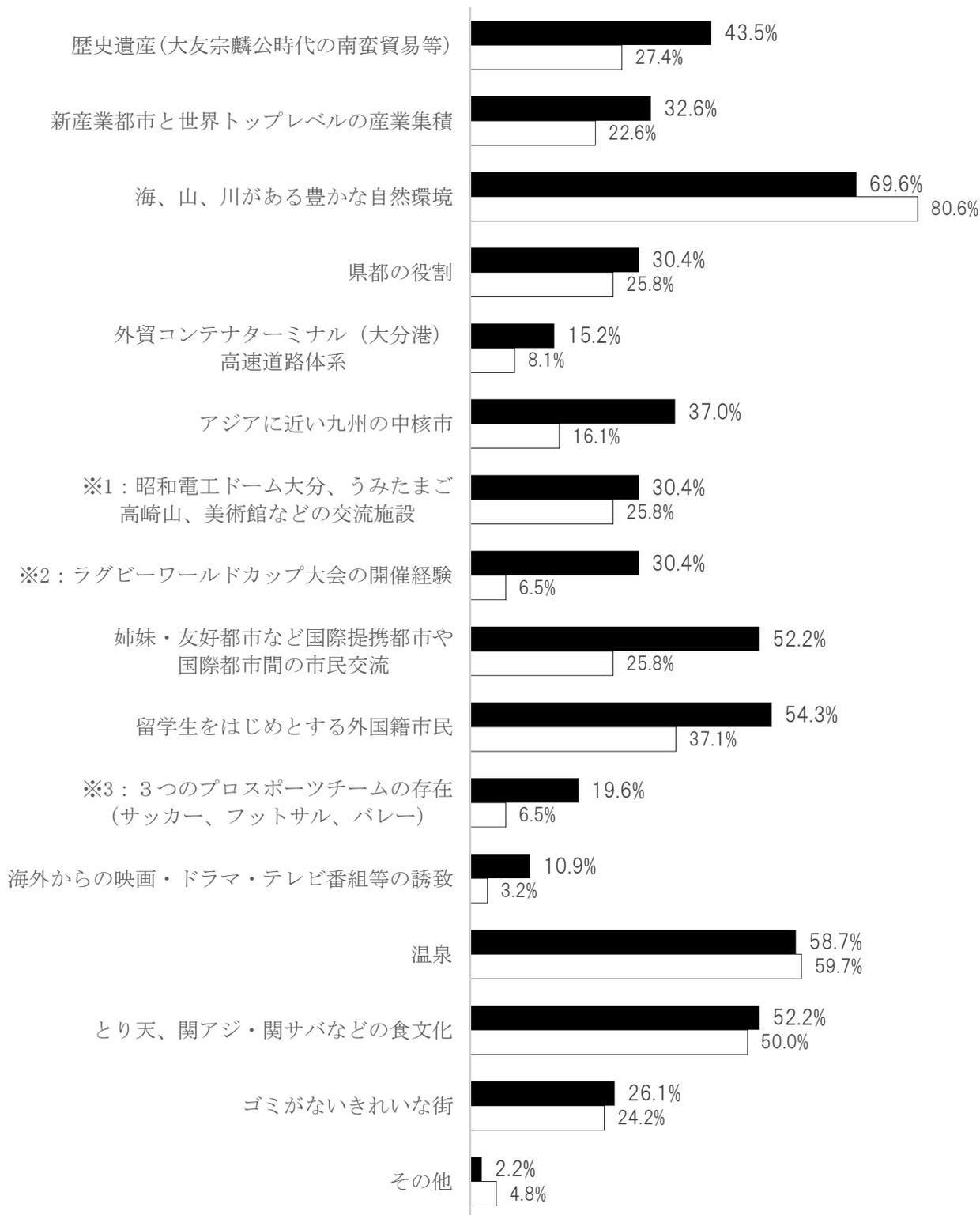
単位(%)		(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	歴史遺産	産業集積	新産業都市と世界トップレベルの	自然環境	海、山、川がある豊かな	県都の役割	(大分港)、高速道路体系	外貿コンテナターミナル	アジアに近い九州の中核市	高崎山、美術館などの交流施設	昭和電工エドーム大分、うみたま、	開催経験	ラグビーワールドカップ大会の	都市や国際都市間の市民交流	姉妹・友好都市など国際提携	外国籍市民	留学生をはじめとする
全体(N=46)		43.5%	32.6%	69.6%	30.4%	15.2%	37.0%	30.4%	30.4%	30.4%	52.2%	54.3%							
形態別	法人(n=26)	46.2%	30.8%	76.9%	30.8%	15.4%	38.5%	30.8%	30.8%	30.8%	57.7%	50.0%							
	非法人(n=20)	40.0%	35.0%	60.0%	30.0%	15.0%	35.0%	30.0%	30.0%	30.0%	45.0%	60.0%							
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	75.0%	75.0%	100.0%								
	10～30名未満(n=10)	20.0%	40.0%	80.0%	30.0%	20.0%	40.0%	40.0%	30.0%	70.0%	50.0%								
	30～50名未満(n=5)	80.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%								
	50～70名未満(n=7)	71.4%	14.3%	71.4%	28.6%	14.3%	28.6%	57.1%	42.9%	57.1%	71.4%								
	70～90名未満(n=4)	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%								
	90～110名未満(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%								
	110名以上(n=13)	38.5%	30.8%	69.2%	30.8%	7.7%	30.8%	7.7%	7.7%	38.5%	23.1%								

単位(%)		(サッカー、フットサル、バレエ)	3つのプロスポーツチームの存在	番組等の誘致	海外からの映画・ドラマ・テレビ	温泉	食文化	とり天、関アジ・関サバなどの	ゴミがないきれいな街	その他
全体(N=46)		19.6%	10.9%	58.7%	52.2%	26.1%	2.2%			
形態別	法人(n=26)	23.1%	15.4%	50.0%	42.3%	30.8%	3.8%			
	非法人(n=20)	15.0%	5.0%	70.0%	65.0%	20.0%	0.0%			
会員数別	10名未満(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	75.0%	50.0%	0.0%			
	10～30名未満(n=10)	10.0%	30.0%	50.0%	40.0%	20.0%	0.0%			
	30～50名未満(n=5)	40.0%	0.0%	80.0%	80.0%	60.0%	0.0%			
	50～70名未満(n=7)	28.6%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%			
	70～90名未満(n=4)	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	25.0%	0.0%			
	90～110名未満(n=3)	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%			
	110名以上(n=13)	7.7%	7.7%	53.9%	38.5%	23.1%	7.7%			

前回調査との比較を見ると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「温泉」が減少しているが、全体的に前回より増加している

◆前回との比較◆

■今回(N=46) □前回(N=62)



※1 前回調査では「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」

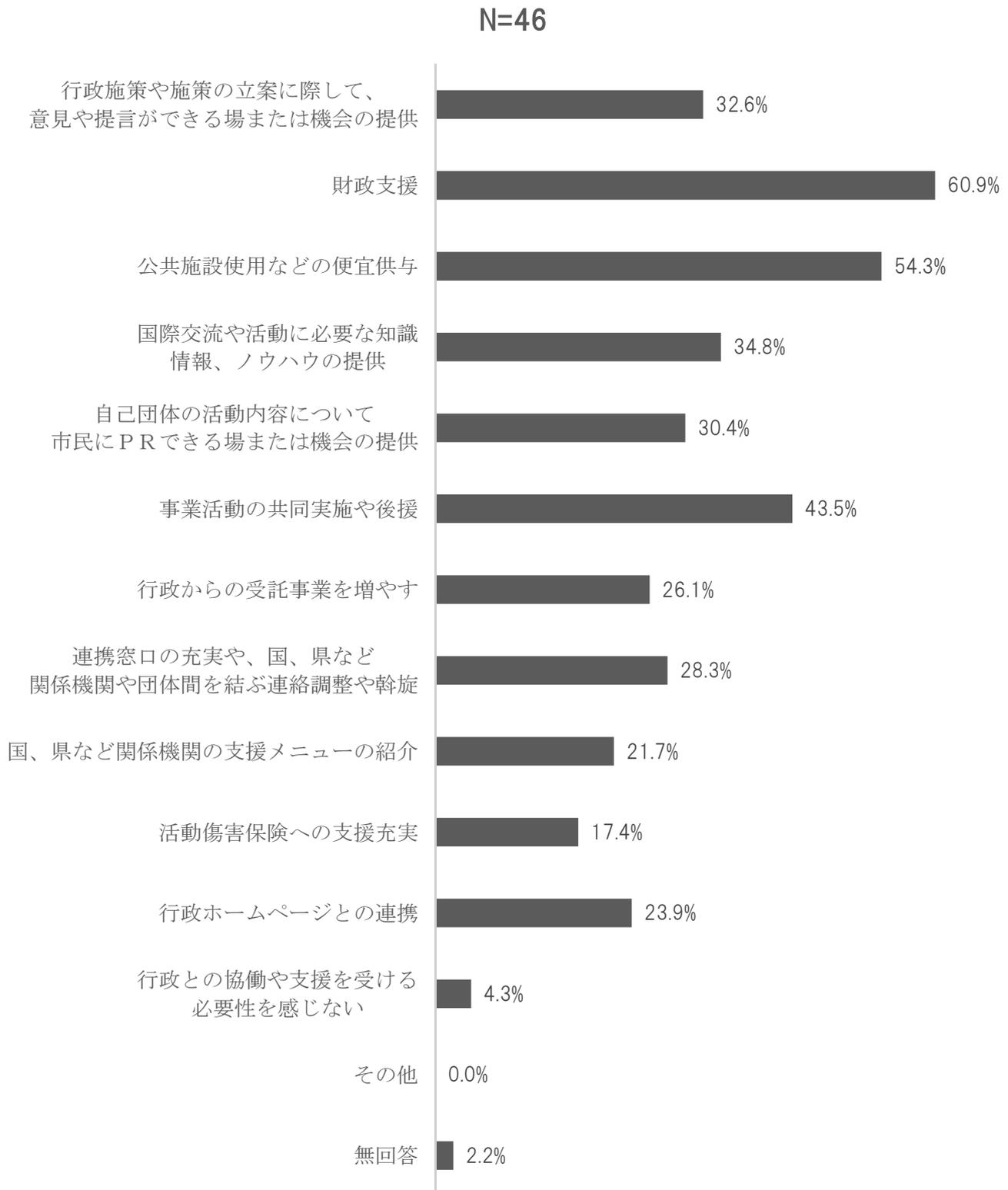
※2 前回調査では「ワールドカップサッカー大会の開催経験」

※3 前回調査では「4つのプロスポーツチームの存在(サッカー、フットサル、バレー、バスケットボール)」

4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望

国際交流・協力を行う場合、行政にどのような協働（連携）を望みますか？（複数回答可）

国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望については、「財政支援」が 60.9%と最も高く、次いで「公共施設使用などの便宜供与」が 54.4%、「事業活動の共同実施や後援」が 43.5%の順となっている。



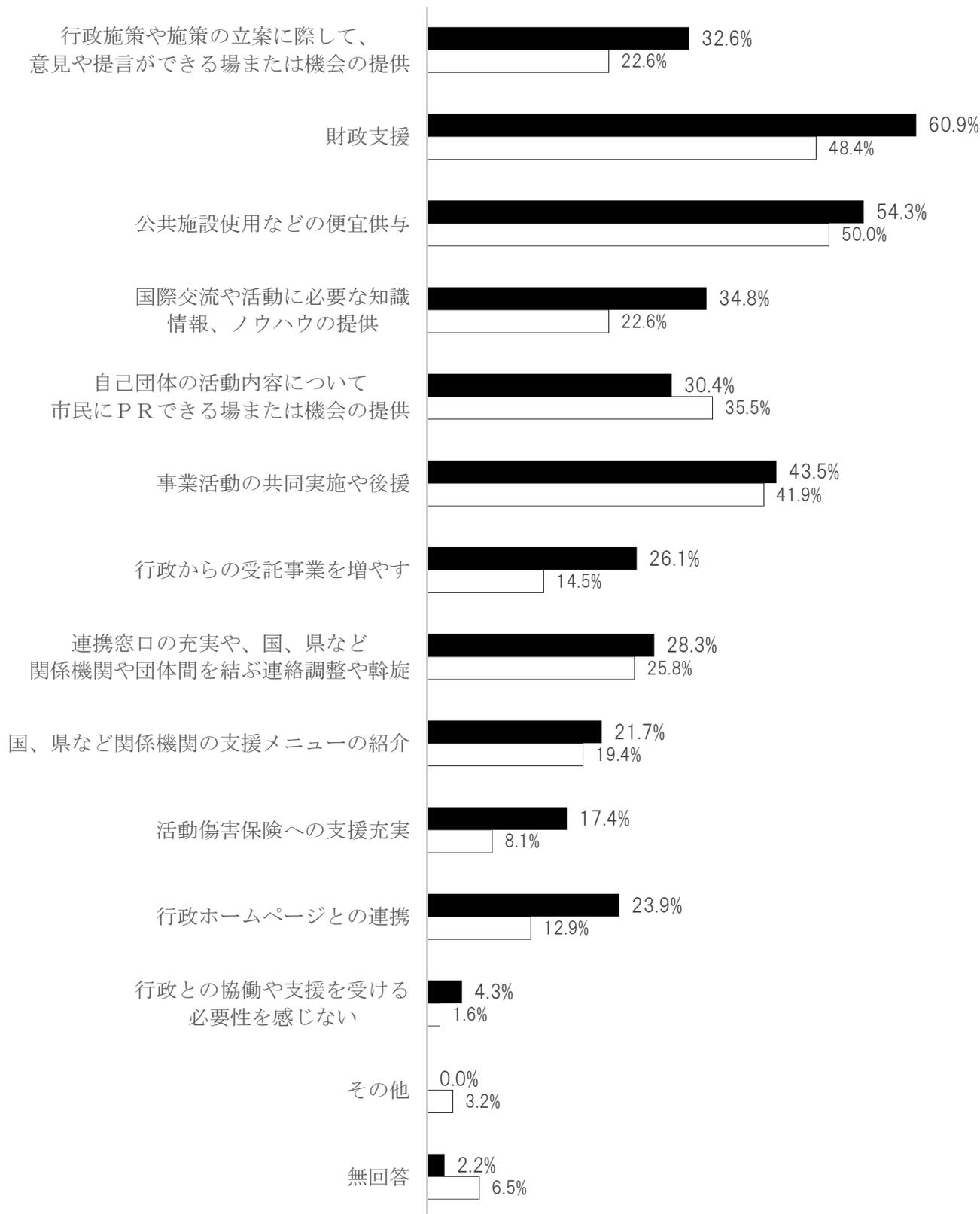
単位(%)		行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供	財政支援	公共施設使用などの便宜供与	ノウハウの提供	国際交流や活動に必要な知識、情報、PRできる場または機会の提供	自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供	事業活動の共同実施や後援	行政からの受託事業を増やす	連携窓口の充実や、国、県など関係機関や団体間を結ぶ連絡調整や斡旋	国、県など関係機関の支援メニューの紹介
全体(N=46)		32.6%	60.9%	54.3%	34.8%	30.4%	43.5%	26.1%	28.3%	21.7%	
形態別	法人(n=26)	38.5%	65.4%	50.0%	34.6%	30.8%	42.3%	23.1%	23.1%	19.2%	
	非法人(n=20)	25.0%	55.0%	60.0%	35.0%	30.0%	45.0%	30.0%	35.0%	25.0%	
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	
	10～30名未満(n=10)	50.0%	70.0%	40.0%	30.0%	40.0%	50.0%	30.0%	40.0%	30.0%	
	30～50名未満(n=5)	20.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	
	50～70名未満(n=7)	42.9%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	28.6%	42.9%	14.3%	
	70～90名未満(n=4)	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%	75.0%	25.0%	25.0%	
	90～110名未満(n=3)	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
	110名以上(n=13)	23.1%	61.5%	53.8%	46.2%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	

単位(%)		活動傷害保険への支援充実	行政ホームページとの連携	行政との協働や支援を受ける必要性を感じない	その他	無回答
全体(N=46)		17.4%	23.9%	4.3%	0.0%	2.2%
形態別	法人(n=26)	19.2%	23.1%	3.8%	0.0%	0.0%
	非法人(n=20)	15.0%	25.0%	5.0%	0.0%	5.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～70名未満(n=7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	70～90名未満(n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「財政支援」が60.9%、「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」が34.8%、「行政からの受託事業を増やす」が26.1%、「行政ホームページとの連携」が23.9%、「活動傷害保険への支援充実」が17.4%と前回より増加している

◆前回との比較◆

■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



【3】大分市の事業について

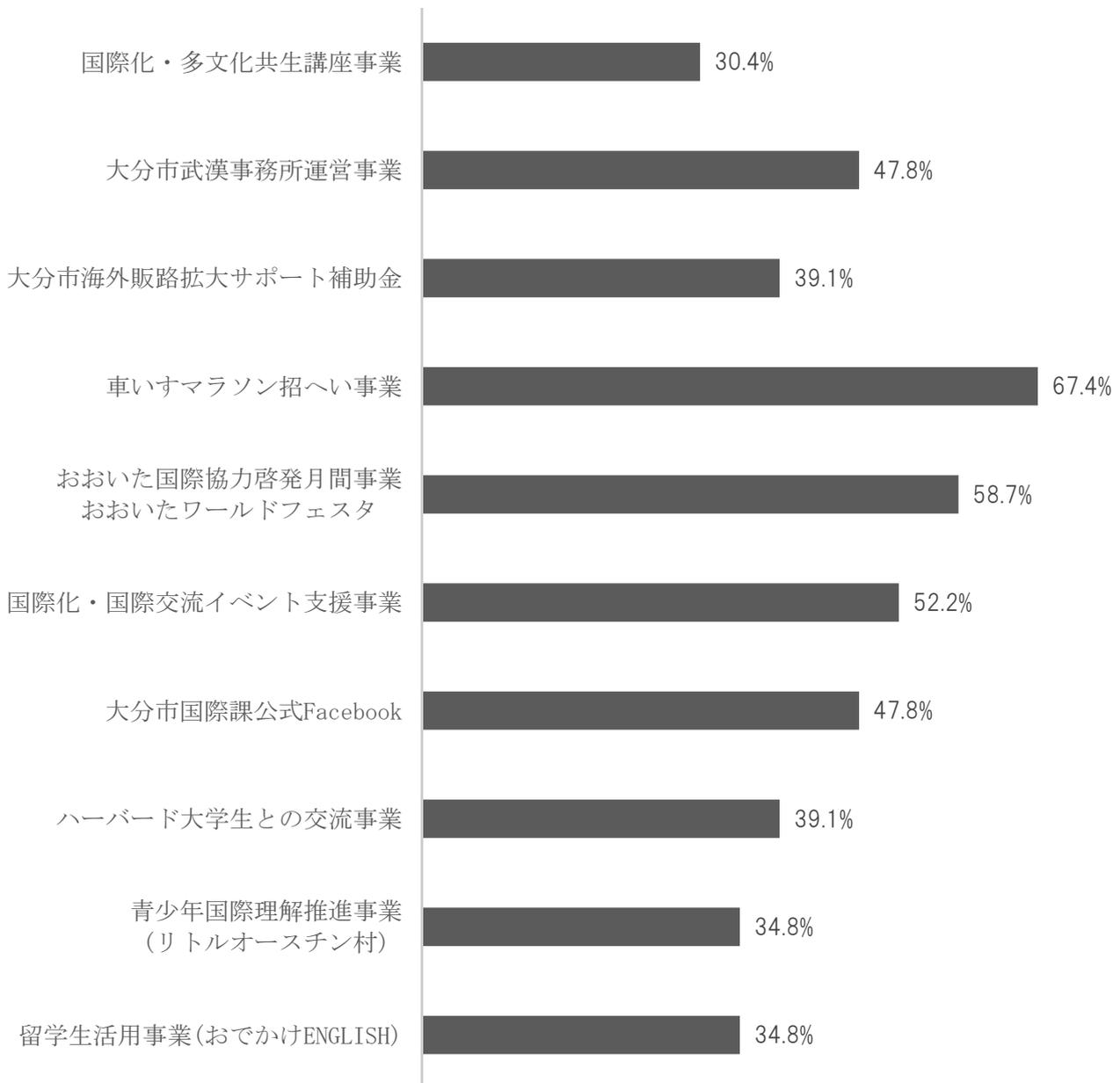
1. 大分の事業の認知度

大分市では、現行の「第3次大分市国際化推進計画」に基づき、さまざまな国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業について、知っている事業がありますか？

(複数回答可)

大分の事業の認知度については、大分国際車いすマラソンなどに姉妹・友好都市の選手などが参加する事業「車いすマラソン招へい事業」が67.4%と最も高く、次いで市内の国際関係団体と連携して、毎年10月に国際理解イベントや国際協力啓発活動を行う事業「おおいた国際協力啓発月間事業・おおいたワールドフェスタ」が58.7%、市民の皆さん（団体を含む）が提案する国際交流イベント事業等に対して助成金を交付する事業「国際化・国際交流イベント支援事業」が52.2%の順となっている。

N=46



【4】全般について

1. 新型コロナウイルスについての意見

今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響等について、おきかせください

- ・ 会員の方は高齢が多いので日常生活で気を付けてもらいたい
- ・ 会員企業の業績への影響が既に出ており、今後拡大することが予想される。感染症の拡大防止と経済活動の両立が急務と考えています。
- ・ 3月から教室活動を停止しています。一部では7月から活動を再開しましたが、感染防止対策に気を使い大変です。残りの活動は10月からの予定ですが、休みの期間が長いので士気が落ちていないか心配です。
- ・ 打ち合わせ会や集会などが開催できていない。
- ・ 本年度以降、来日（大分）する留学生と観光客の減少による財政面と事業実施面への影響。
- ・ 留学生支援プログラムの実施への影響。
- ・ 留学生を活用した国際化事業実施への影響。
- ・ 採用縮小での学生の就職難の影響。
- ・ メンバーの経済状態の悪化や集まれないことでメンバーが退会し、財政的にとても苦しくなりました。
- ・ 団体維持のための救済の補助金が欲しいです。
- ・ イベントの実施が困難な状況になったが、代わりにオンラインでの対応が進んだ。
- ・ 国内外からの観光客が来訪しにくくなり、本県の観光産業に大きなマイナスの影響を及ぼしている。
- ・ 事業実施においては、海外での訪問による商談や観光PRが実施できなくなっている。
- ・ 来日できていない留学生が2名いる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、全世界で進行中だった約7,000人のプログラムを中止いたしました。これにより、日本から世界36カ国・地域に留学していた342人、世界から日本に来日していた37カ国・地域255人が帰国しました（2020年7月15日現在）。大分中部支部所属の受入生5名と派遣生2名もプログラム半ばで帰国しました。
- ・ 2020年度の留学生の派遣及び受入を11月末より始動させるべく活動中です。
- ・ 影響はありません。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための資金が必要な方へ貸付を行う緊急小口資金の窓口となっている市社協には、本年3月以降これまで、留学生を中心とする多くの外国人が申請に訪れている。
- ・ 本年4月の入学者及び一時帰国からの日本への帰国困難者が出ている。
- ・ 外国人研究員の渡航・帰国困難者が出ている。
- ・ 受診控えや風評被害によって医療機関の収益が悪化しています。
- ・ 医療資源の枯渇が問題になっています。
- ・ 医療スタッフの安全面・健康面での管理が難しくなっています。
- ・ コロナ禍による海外渡航自粛により実際の交流が出来なくなっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により、活動を自粛している。
- ・ 外食の自粛で大葉、花などの価格が低迷した。反面、ニラは好調だった。
- ・ 感染防止対策として、会議のweb化、職員へのマスク配付、店舗に感染防止のビニール幕、消毒液など対応に追われた。

- ・ 年度当初は渉外係の訪問活動自粛を行った。
- ・ 各生産部会は、総会を書面のみで行った部会が多かった。
- ・ 感染者の関係者の家族の職員の休暇、店舗の休業を行った。（検査で関係者は陰性）
- ・ 海外大学との交流事業を延期せざるを得なくなった。
- ・ 例会や他のロータリークラブとの交流会・会議などが中止になった。
- ・ その他クラブの活動が制限される。（自粛等）
- ・ 地域の伝統的な歴史的な文化（各種の地域の祭りなど）や共働事業を中止または延期せざるを得なかったこと。
- ・ NPO 法人が独自に企画した各種の事業、集いなどを縮小または中止をせざるを得ないこと
- ・ 大分市の文化施設の委託事業を受けているが、来観者の制限、団体のお断りなど
- ・ コロナ感染拡大で、現地での、活動が出来ていない。
- ・ いつまでこの状況が続くか分からない現状で、活動の方向性を見直している最中です。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により我々の会議や事業だけでなく、国内外で開催される会議や様々な大会もリモートでの開催となっており、前年度から予定していた動きが取れない状況です。また、姉妹提携を結び毎年行き来している台湾の団体との交流会も今年は断念することになりました。
- ・ 主に：
 - ▶ 海外派遣中のボランティアの全世界一斉避難一時帰国
 - ▶ 在外事務所駐在の職員等が概ね一時帰国する事態となった。
 - ▶ 国内外出張の自粛、イベント等開催の自粛（特に3～5月）
- ・ コロナウイルスに対する意識（気にかける程度）に個人差があり、事業への参画を呼びかけることが難しい。オンラインへの対応にも個人差があり、できる人とそうでない人の差が大きい。また、運営側の知識も少なく設備にも限界がある。その中で、少しずつできることをやっていき、繋がりを切らさないよう試行錯誤しています。
- ・ 毎年恒例の「新春のつどい」は中止にした。（2020.2月）
 - ※「新春の集い」は会員相互の懇親の場。県内在住 EU 出身者も参加。
- ・ 50年以上続いている北米、ニュージーランド、韓国、中国とのホームステイ交流が中止となった。
- ・ やはり50年以上、毎年春夏冬と行ってきた全国各地での3泊4日のキャンプが中止となった。
- ・ 公民館の利用停止期間は、毎週の活動をお休みとせざるを得なかった→オンラインでの活動に挑戦できた。
- ・ 例年、姉妹都市であるオースチン市や、友好都市である武漢市のミュージシャンを招き、国際交流の場としていたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、そのような都市からミュージシャンを招くことができなかった。
- ・ また、例年は企業から協賛金を募り、事業費の一部としていたが、今年は協賛金を募ることができず、規模縮小で開催を検討している。
- ・ 例年5月に合わせ、会員間の親睦を図ることを目的として、「ポルトガルワインの夕べ」を開催しているが、延期（実施時期未定）している。
- ・ 外国への旅行が規制され支援事業が出来なくなった。
- ・ 2月下旬にホームステイプログラムを実施した際に、ダイヤモンドプリンセスの関係でホームステイを直前になってキャンセルした家庭があり、別のホストファミリーを探すのが大変だった。その他、内閣府の国際交流事業が今年度ストップしてしまったことから、大分での地方プログラムも停止してしまった事から活動がなくなってしまった。
- ・ 国際学生に対しての誹謗中傷やコロナでアルバイト先がなくなり生活が苦しい状況があるようです。

雇用の支援や、生活サポートをお願いしたい。

- ・ コロナ禍で、対面でできる活動の実施ができない状況が続いている。
- ・ オンラインでの実施にチャレンジする機会にはなった。
- ・ モンゴルとの交流を行っており、今年、モンゴルの子供たちを大分に受け入れる予定であったが、新型コロナウイルスの影響により交流が中断していること。
- ・ 活動ができなくなったので、会員がたくさん辞めました。なので資金不足です。
- ・ 総会もできず、会費も集まらず、資金不足で大変です。
- ・ どこも同じですが、維持するための補助金が必要だと思います。
- ・ もう、何年ももたないかもしれません。
- ・ 計画していたイベント等の中止や規模縮小などの見直し。

2. 大分市の国際化・国際戦略についての提言、要望

大分市の国際化・国際戦略について、自由な意見やご提言、ご要望をおきかせください。

- ・ ベトナムに関する友好団体なので本部中心に動いていますので大分市とは直接に関係ありません
- ・ 大分空港の宇宙港としての利用や第二国土軸豊予海峡ルートによる国土強靱化などにより、技術の海外展開や国内外の人材交流など、国際戦略にも影響があると考えています。
- ・ 文化交流、スポーツ交流に加え、経済面でも一層の交流を図るべきだと考えます。
- ・ また人の往来は難しくとも、web 会議システムを活用したオンライン交流は可能だと考えています。世界がパンデミックで苦しむ時だからこそ、交流や支援を進めるべきと考えます。
- ・ 【3】の設問にある、大分市が実施する各種の素晴らしいプログラムについて、市民の方々が知らないことが多いと感じています。「どこが主催？→大分市ですよ」と誰もが知るような、多くの人を巻き込み身近に感じられる行政イベントが定着すればよいが、と思っています。
- ・ 在日外国人のための施策が少ないと思います。
- ・ リトルオースチンやバーバードも、英語既習者が多く、不公平だと思う。経済的に厳しくて英語を習いにいけない児童にこそ、本物の英語に触れるチャンスが必要なのではないかと思う。
- ・ 不登校児や障害のある生徒も同様。小学校でグローバル教育ができたなら、大分市の発展、国際化にも大きく役立つと思います。
- ・ 観光インバウンドだけではない、普段からの付き合いができる、またコミュニケーションがとれるような国際関係づくりを。
- ・ 大分市は、温泉や食をはじめとする観光資源に恵まれており、まだまだ観光客は増加していくものと考えている。
- ・ 国の内外から観光客を増やしていくためには、新型コロナウイルス感染症の終息後を見据え、宿泊施設や飲食店、商店街等の観光に関わる事業者が、ウイズ・コロナの対策を講じながら、アフター・コロナ期に観光客が増加するような取り組みを進めていく必要がある。
- ・ 多言語対応やナイトタイムエコノミー対策等の受入態勢の充実、観光PRの実施や個別の観光ニーズにマッチする観光情報の提供等に、引き続き取り組んでいく必要がある。
- ・ 来日前に大分を認識していた大分配属の留学生はほぼゼロですが、留学を終え再度大分を訪れる生徒は三分の二ほどいます。一度暮らしてみると懐かしい第二の故郷となるようです。東京などと比較すると住宅事情に恵まれていることもありますが、まずは人の温かさを感じているようです。コロナ禍で偏見や分断が進んでいる今こそ個人レベルの交流がもっと発展するように願っています。日本が大好きになってくれた留学生たちは必ず次世代を担う潤滑油になってくれると信じています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのマスクの寄贈や大規模自然災害に係る支援物資の送付などが大分市と友好都市武漢市の間で行われてきている。
- ・ 新型コロナウイルスの終息を見据え、より多くの市民が参加できる訪問団の派遣などを企画したらどうかと思う。

V 企業調査結果

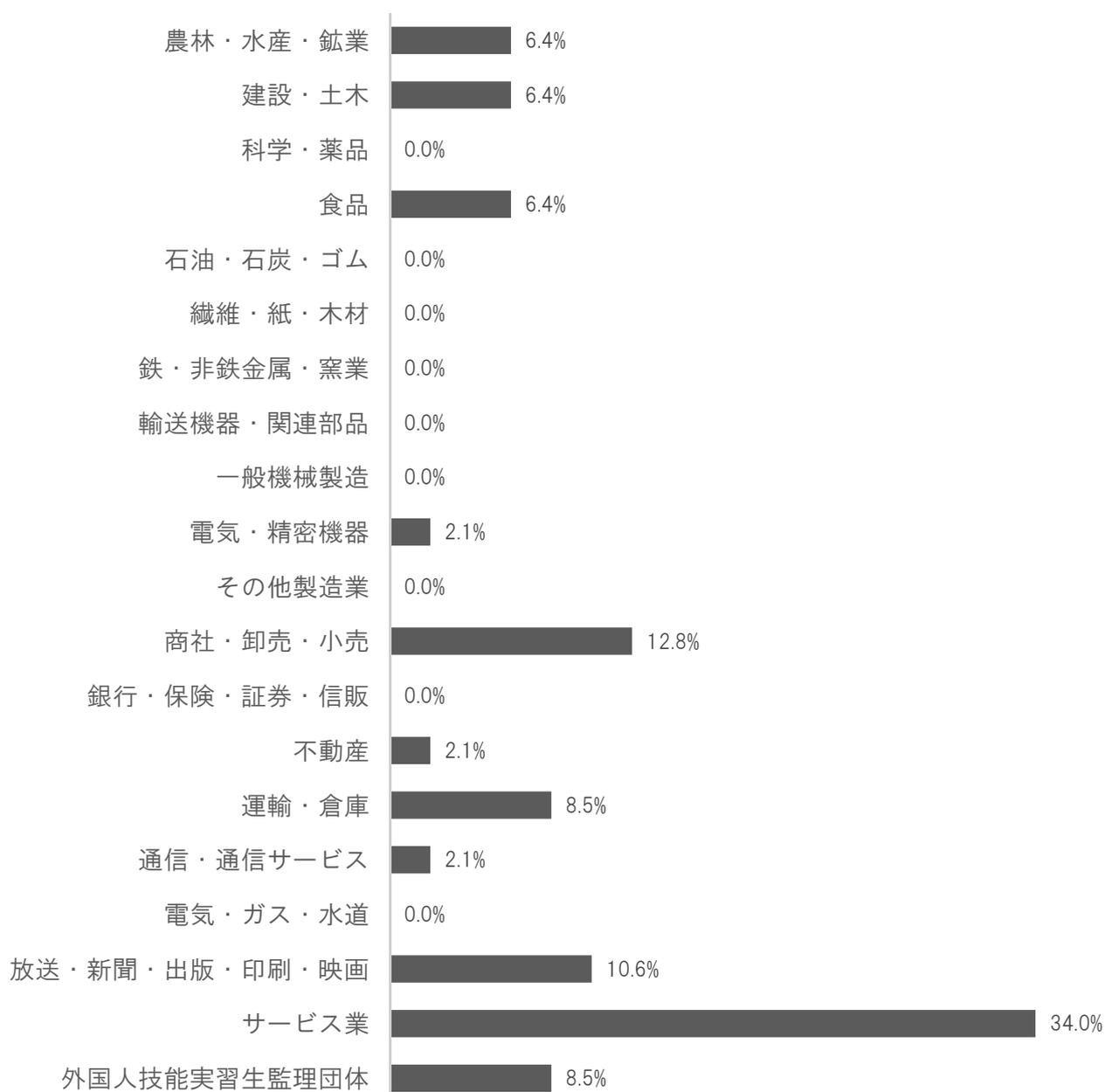
【1】企業の属性

1. 企業の業種

業種についてお知らせください（複数に該当する場合は、占めるウェイトが最も高いものをお選びください。）

業種については、「サービス業」が34.0%で最も高く、次いで「商社・卸売・小売」12.8%、「放送・新聞・出版・印刷・映画」10.6%、「外国人技能実習生監理団体」「運輸・倉庫」8.5%、「農林・水産・鉱業」「建設・土木」「食品」6.4%の順となっている。

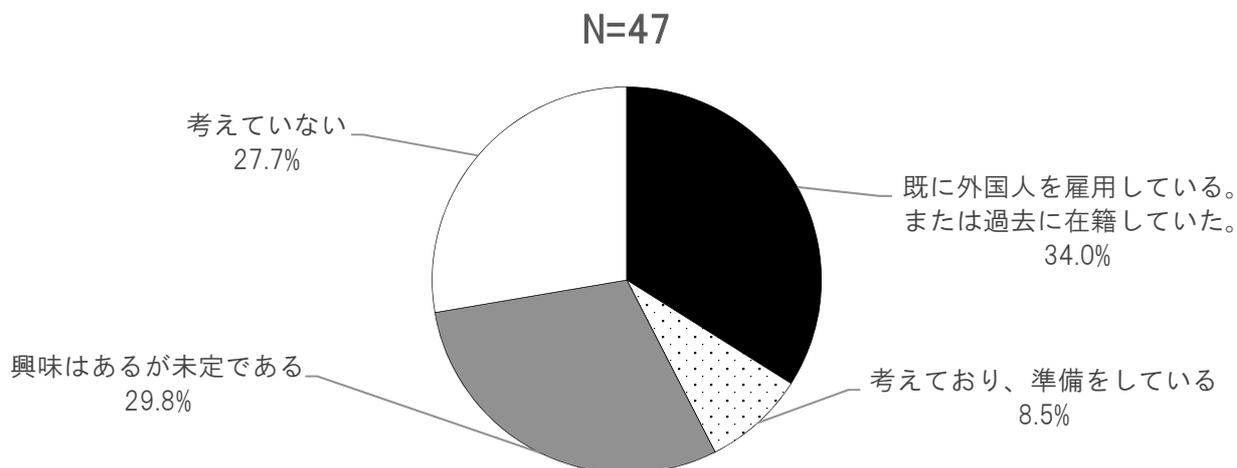
N=47



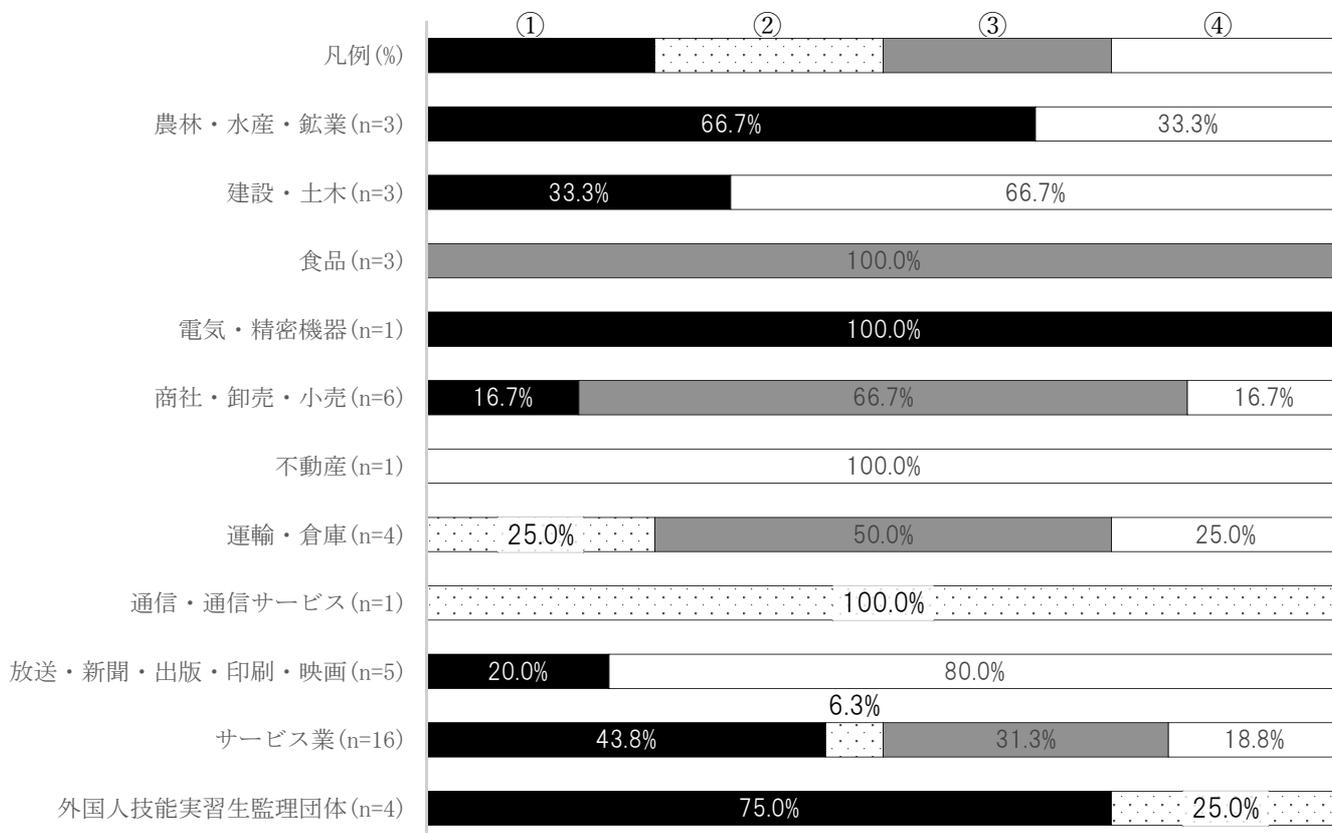
2. 外国人の雇用

外国人の雇用を考えた事がありますか？

外国人の雇用については、「既に外国人を雇用している。または過去に在籍していた。」が電気・精密機器、外国人技能実習生監理団体、農林・水産・鉱業で高く、「考えており、準備をしている」が通信・通信サービスで高く、「興味はあるが未定である」が食品、商社・卸売・小売で高く、「考えていない」が不動産、放送・新聞・出版・印刷・映画、建設・土木で高い。また、運輸・倉庫、サービス業については様々な意見に分かれている。



- ① 既に外国人を雇用している。または過去に在籍していた
 ② 考えており、準備をしている ③ 興味はあるが未定である ④ 考えていない



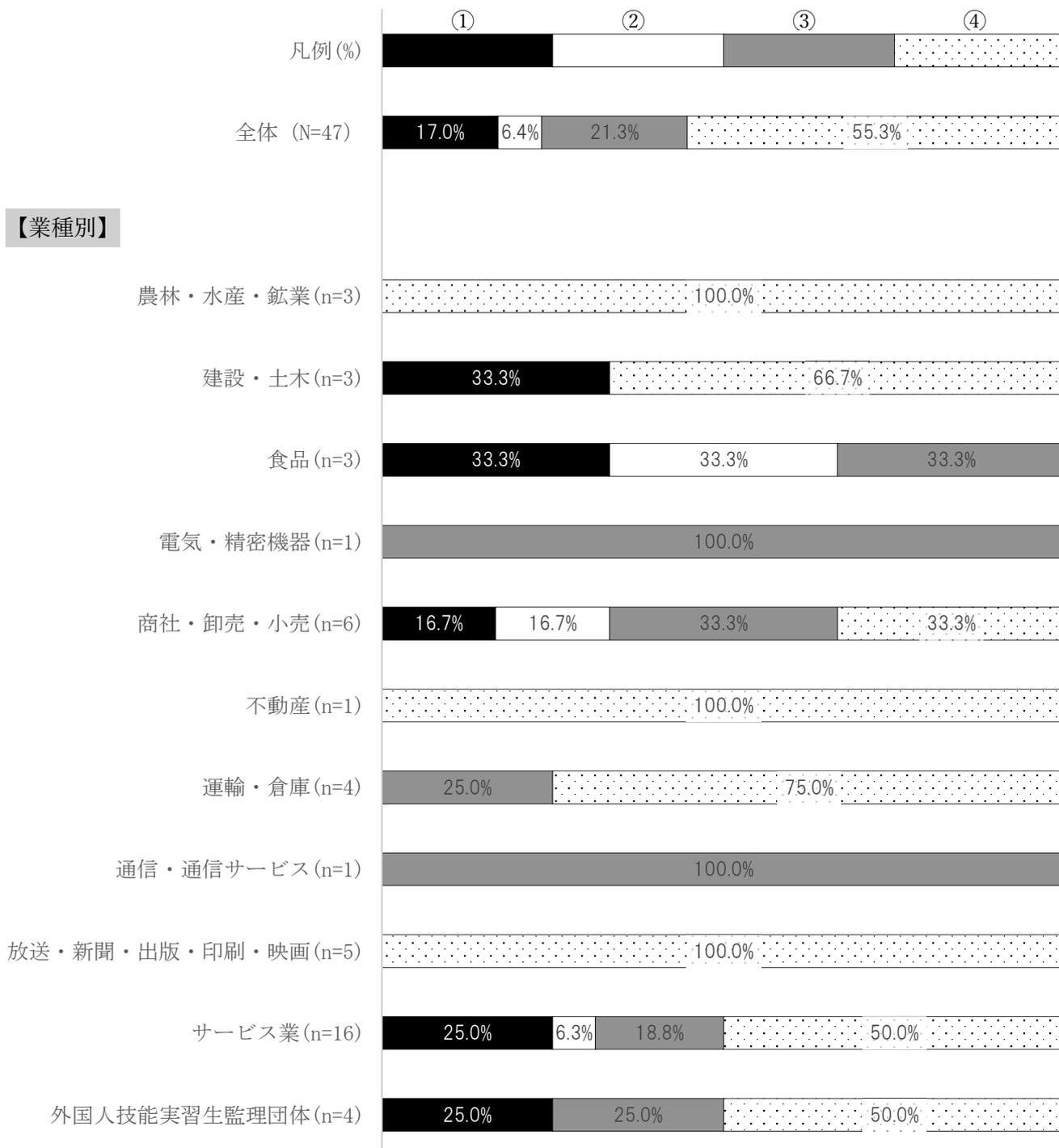
3. 事業の海外展開

事業の海外展開を考えたことがありますか？

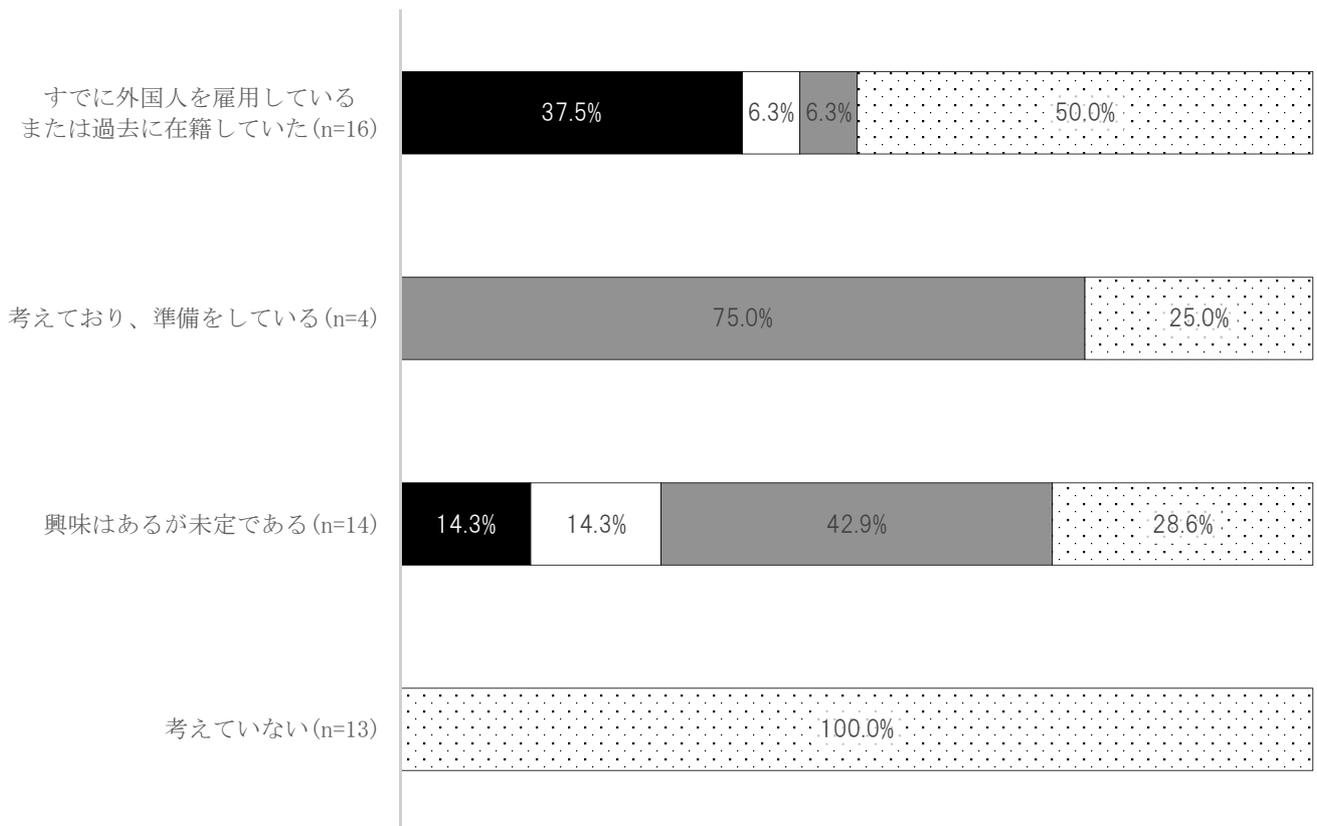
事業の海外展開については、「考えていない」が過半数以上の55.3%と最も高く、次いで「興味はあるが未定である」が21.3%で「既に海外展開をしている・拡大を考えている」が17.0%、「考えており、準備をしている」が6.4%となっている。

N=47

- ① 既に海外展開している・拡大を考えている ② 考えており、準備をしている
 ③ 興味はあるが未定である ④ 考えていない



【外国人雇用別】



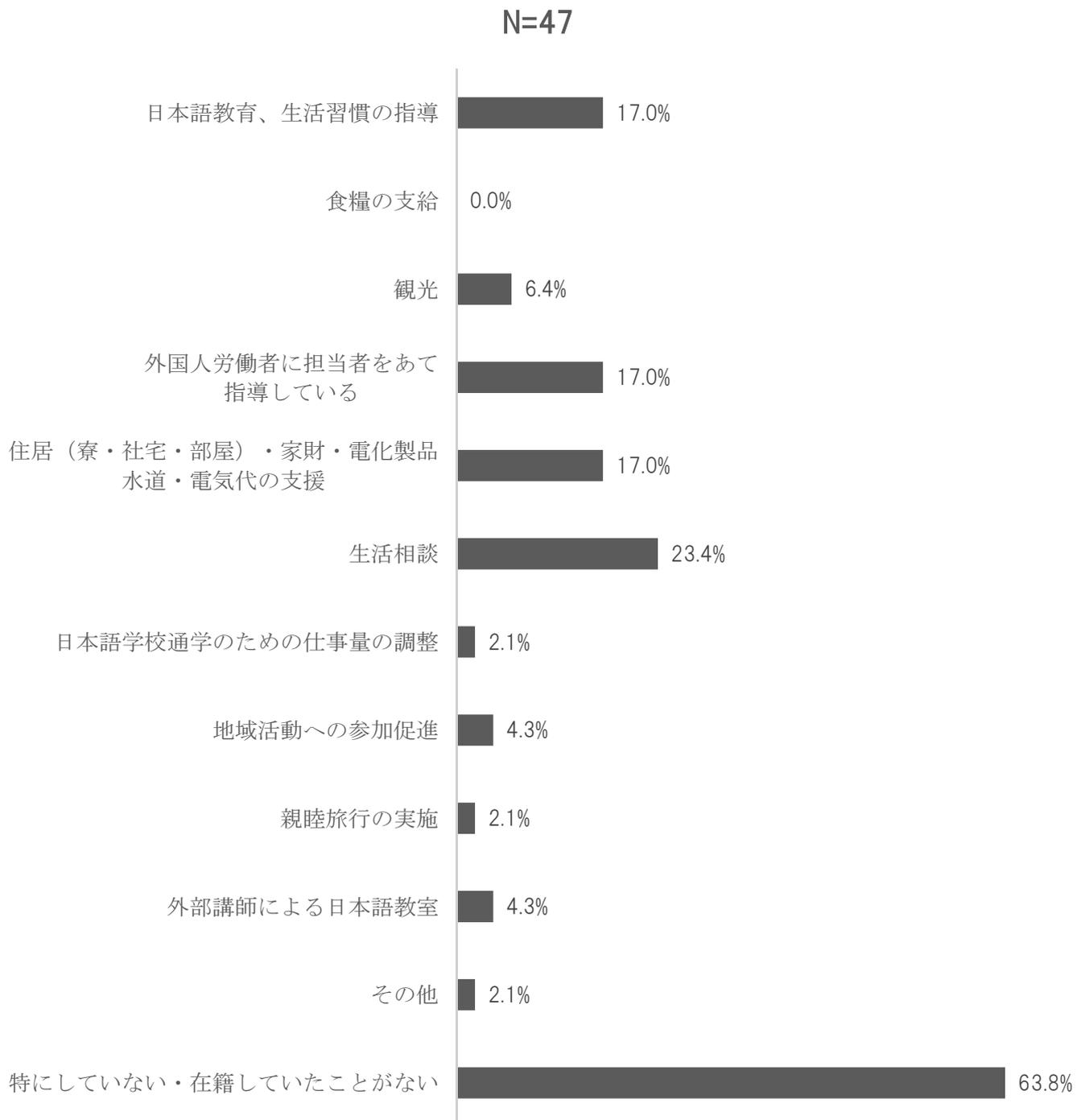
【2】外国人労働者の受け入れについて

1. 外国人労働者への支援

外国人労働者（研修生・実習生を含む）に何か支援をされていますか？

またはされていきましたか？(複数回答可)

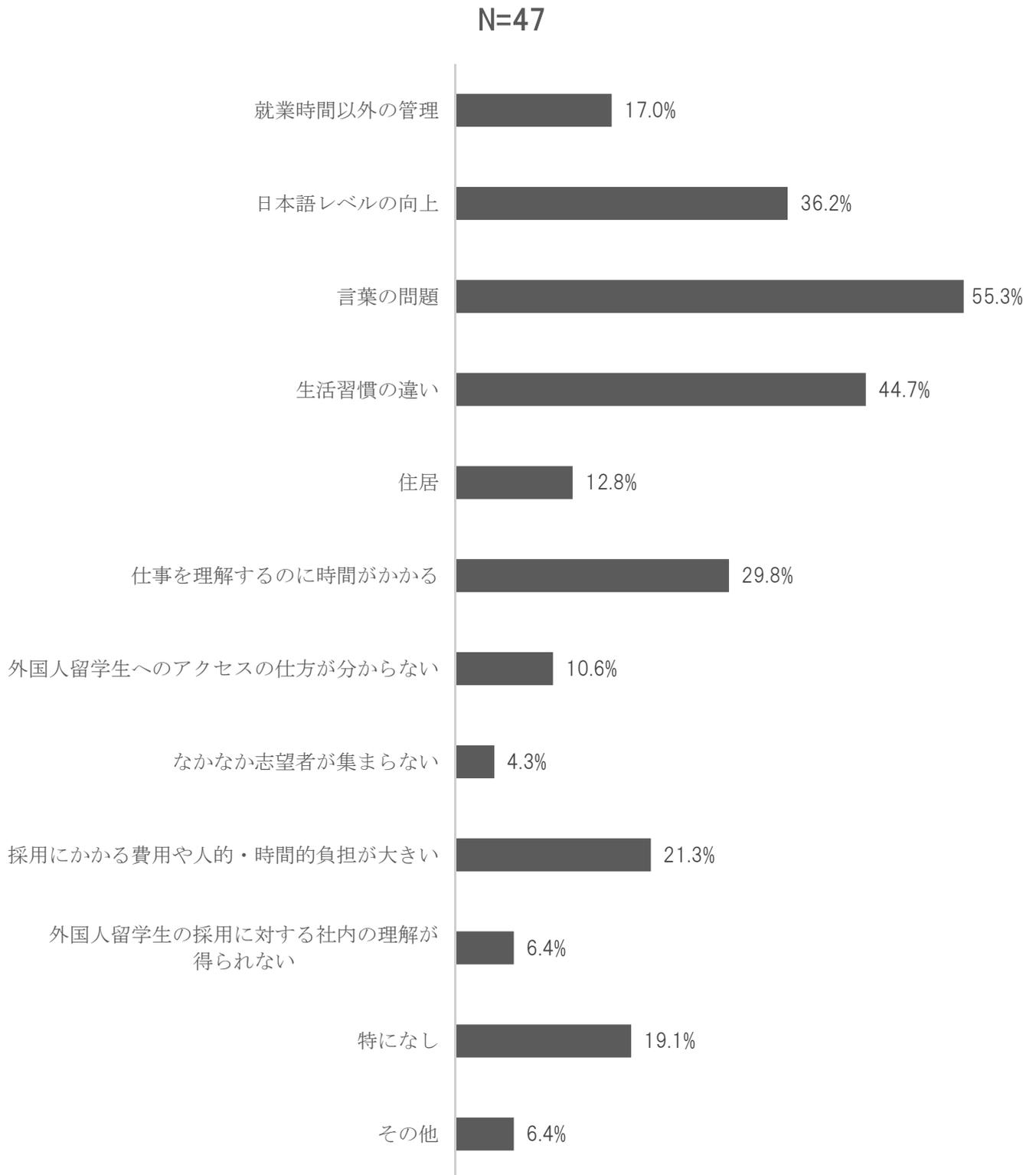
外国人労働者への支援については、「特にしていない・在籍していたことがない」が 63.8%、と最も高く、次いで「生活相談」が 23.4%、「日本語教育、生活習慣の指導」「外国人労働者に担当者をあて、指導している」「住居（寮・社宅・部屋）・家財・電化製品、水道・電気代の支援」が 17.0%、の順となっている。



2. 外国人労働者を受け入れることに関する課題

外国人労働者（研修生・実習生を含む）を受け入れることに関して、課題は何ですか？
(複数回答可)

外国人労働者を受け入れることに関する課題については、「言葉の問題」が 55.3%と最も高く、次いで「生活習慣の違い」が 44.7%、「日本語レベルの向上」が 36.2%、「仕事を理解するのに時間がかかる」が 29.8%の順となっている。



単位(%)		就業時間以外の管理	日本語レベルの向上	言葉の問題	生活習慣の違い	住居	仕事を理解するのに時間がかかる
全体(N=47)		17.0%	36.2%	55.3%	44.7%	12.8%	29.8%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	食品(n=3)	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	50.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	50.0%
	通信・通信サービス(n=1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	20.0%	60.0%	100.0%	60.0%	0.0%	40.0%
	サービス業(n=16)	6.3%	31.3%	50.0%	25.0%	12.5%	31.3%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	50.0%	100.0%	75.0%	75.0%	25.0%	50.0%
外国人の雇用別	既に外国人を雇用している。 または過去に在籍していた(n=16)	12.5%	43.8%	31.3%	50.0%	6.3%	12.5%
	考えており、準備をしている(n=4)	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%
	興味はあるが未定である(n=14)	7.1%	21.4%	50.0%	50.0%	21.4%	28.6%
	考えていない(n=13)	23.1%	38.5%	76.9%	30.8%	7.7%	46.2%

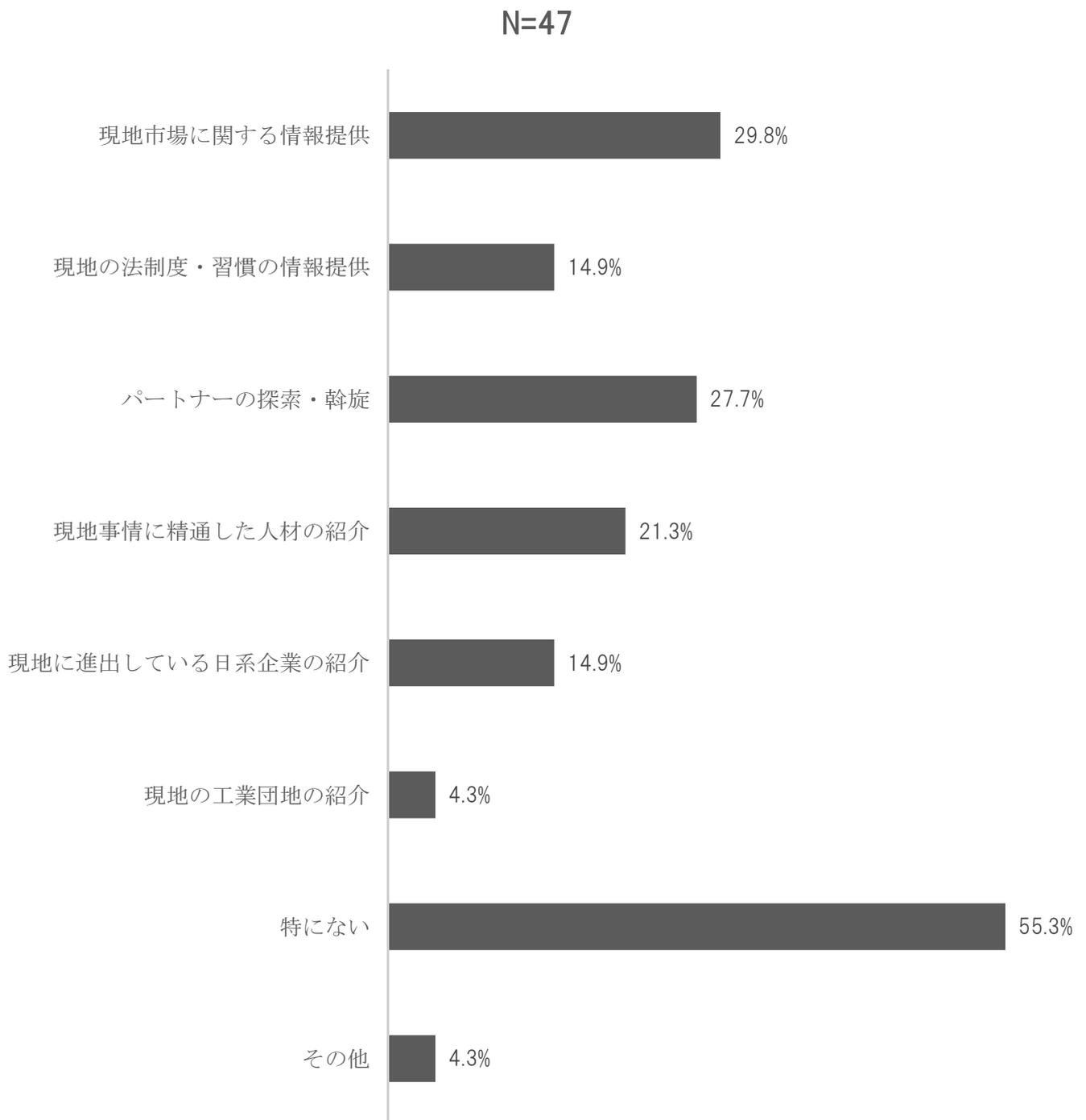
単位(%)		外国人労働者へのアクセスの仕方がわからない	なかなか志望者が集まらない	採用にかかる費用や人的・時間的負担が大きい	外国人労働者の採用に対する社内の理解が得られない	特になし	その他
全体(N=47)		10.6%	4.3%	21.3%	6.4%	19.1%	6.4%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	食品(n=3)	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業(n=16)	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%	31.3%	6.3%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外国人の雇用別	既に外国人を雇用している。 または過去に在籍していた(n=16)	6.3%	6.3%	25.0%	0.0%	31.3%	6.3%
	考えており、準備をしている(n=4)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	興味はあるが未定である(n=14)	28.6%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%
	考えていない(n=13)	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%

【3】海外展開

1. 姉妹・友好都市関係の実施内容

大分市は、ポルトガル共和国アベイロ市、中国武漢市、米国オースチン市と姉妹・友好都市を、中国広州市と交流促進都市を結んでいます。姉妹・友好都市関係を活用して実施してほしい内容について、以下から選択してください。(複数回答可)

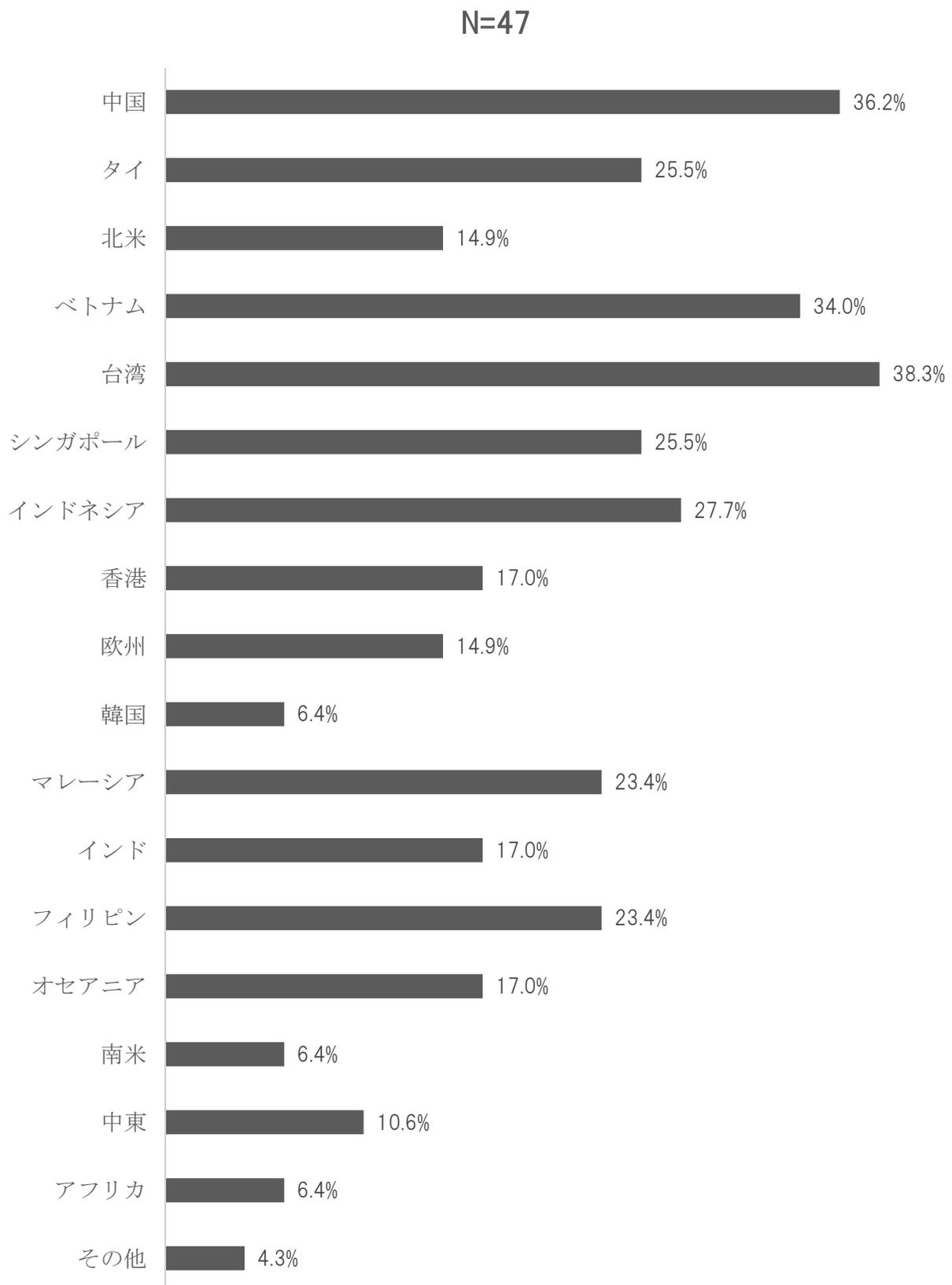
姉妹・友好都市関係を活用して実施して欲しい内容については、「特にない」が55.3%で最も高く、次いで「現地市場に関する情報提供」が29.8%、「パートナーの探索・斡旋」が27.7%、「現地事情に精通した人材の紹介」が21.3%の順となっている。



2. 注目している国・地域

特に注目している国・地域について教えてください(複数回答可)

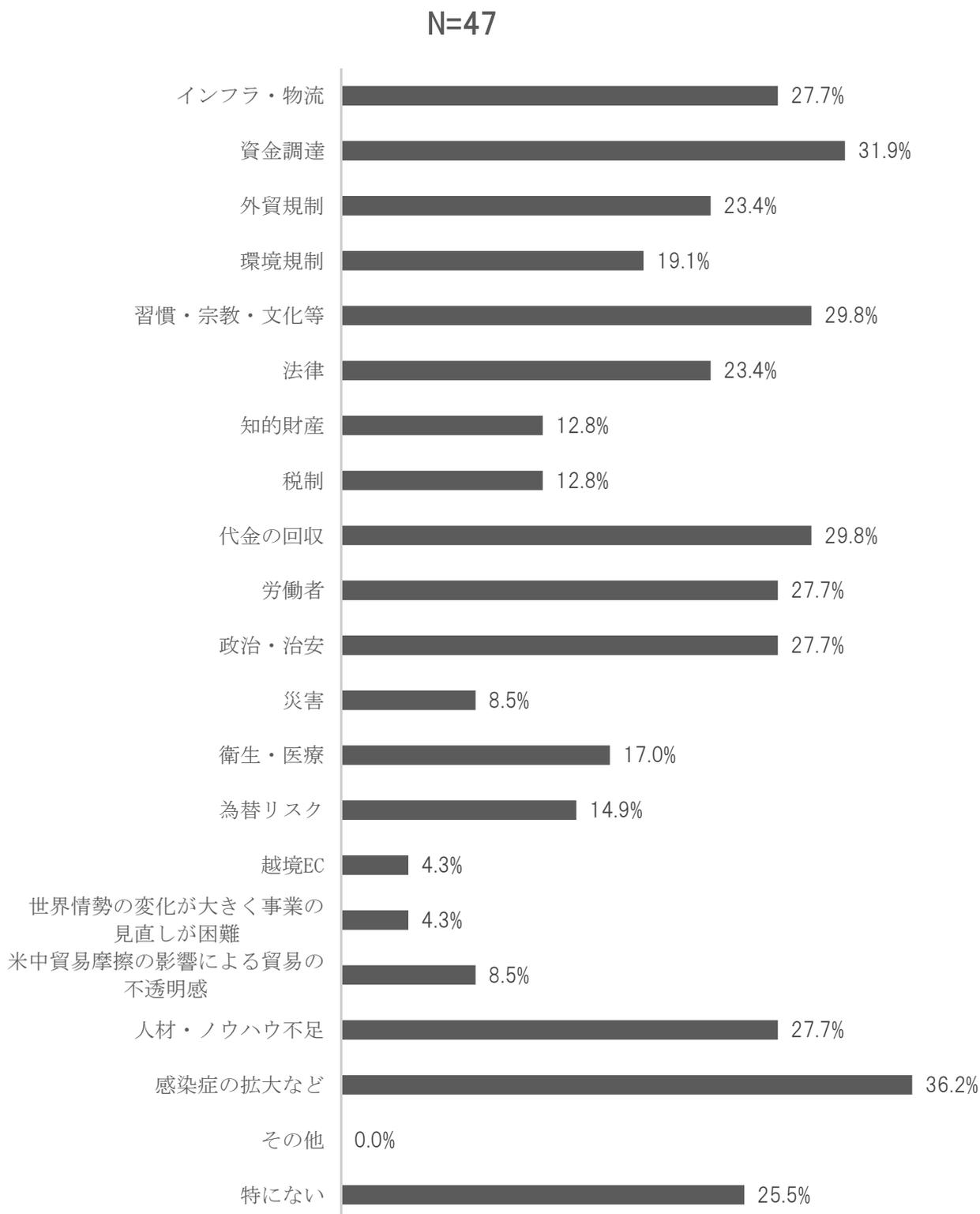
注目している国・地域については、「台湾」が38.3%で最も高く、次いで「中国」が36.2%、「ベトナム」が34.0%の順となっている。



3. 海外市場に展開するにあたるリスク

海外市場に展開するにあたって、リスクとなることが想定されるものは何ですか？
(複数回答可)

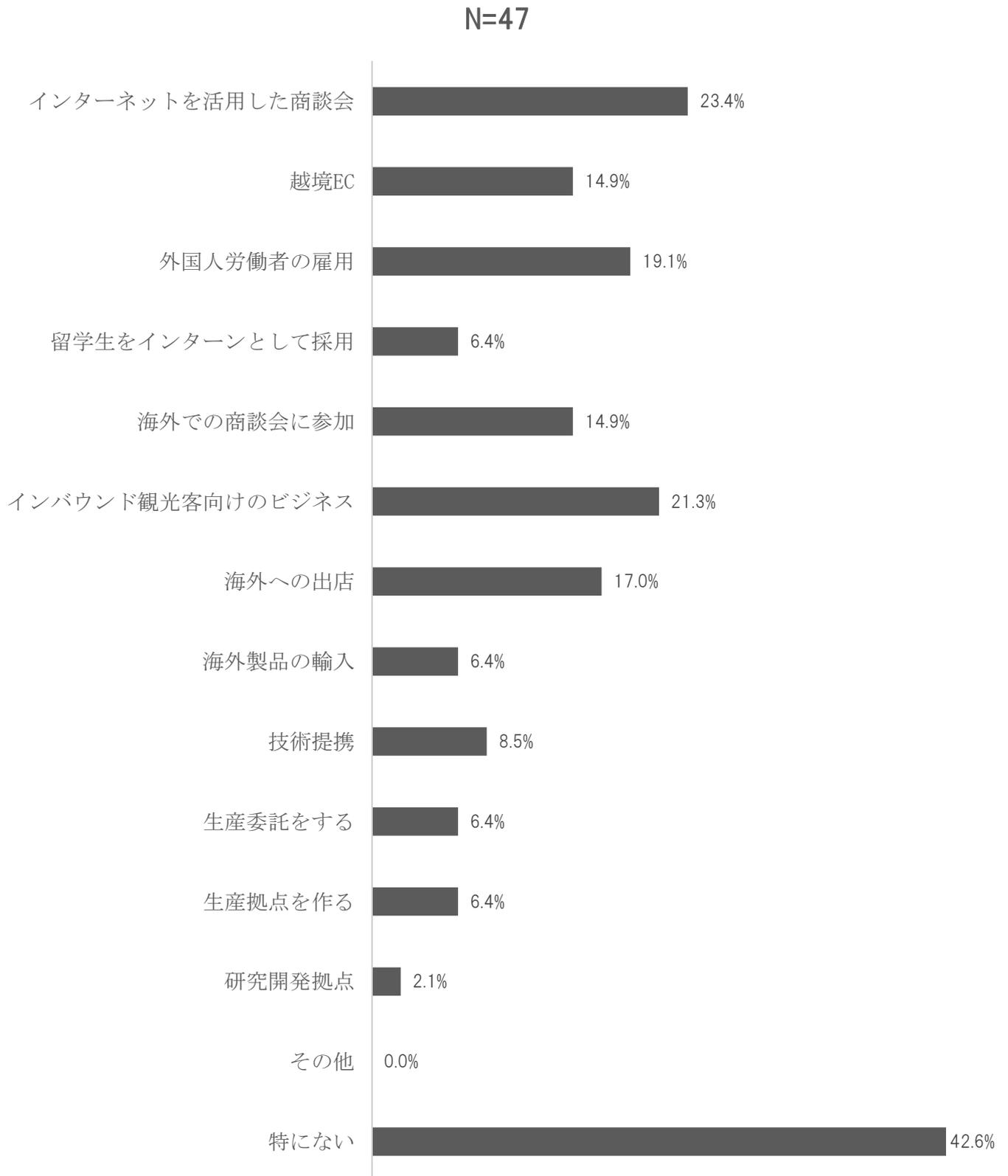
海外市場に展開するにあたるリスクについては、「感染症の拡大」が 36.2%で最も高く、次いで「資金調達」が 31.9%、「習慣・宗教・文化等」「代金の回収」が 29.8%、「インフラ・物流」「労働者」「政治・治安」「人材・ノウハウ不足」が 27.7%の順となっている。



4. 海外展開のやってみたいこと

海外展開をするにあたって、どのようなことをやってみたいと思いますか？(複数回答可)

海外展開のやってみたいことについては、「特にない」が42.6%で最も高く、次いで「インターネットを活用した商談会」が23.4%、「インバウンド観光客向けのビジネス」が21.3%、「外国人労働者の雇用」が19.2%の順となっている。

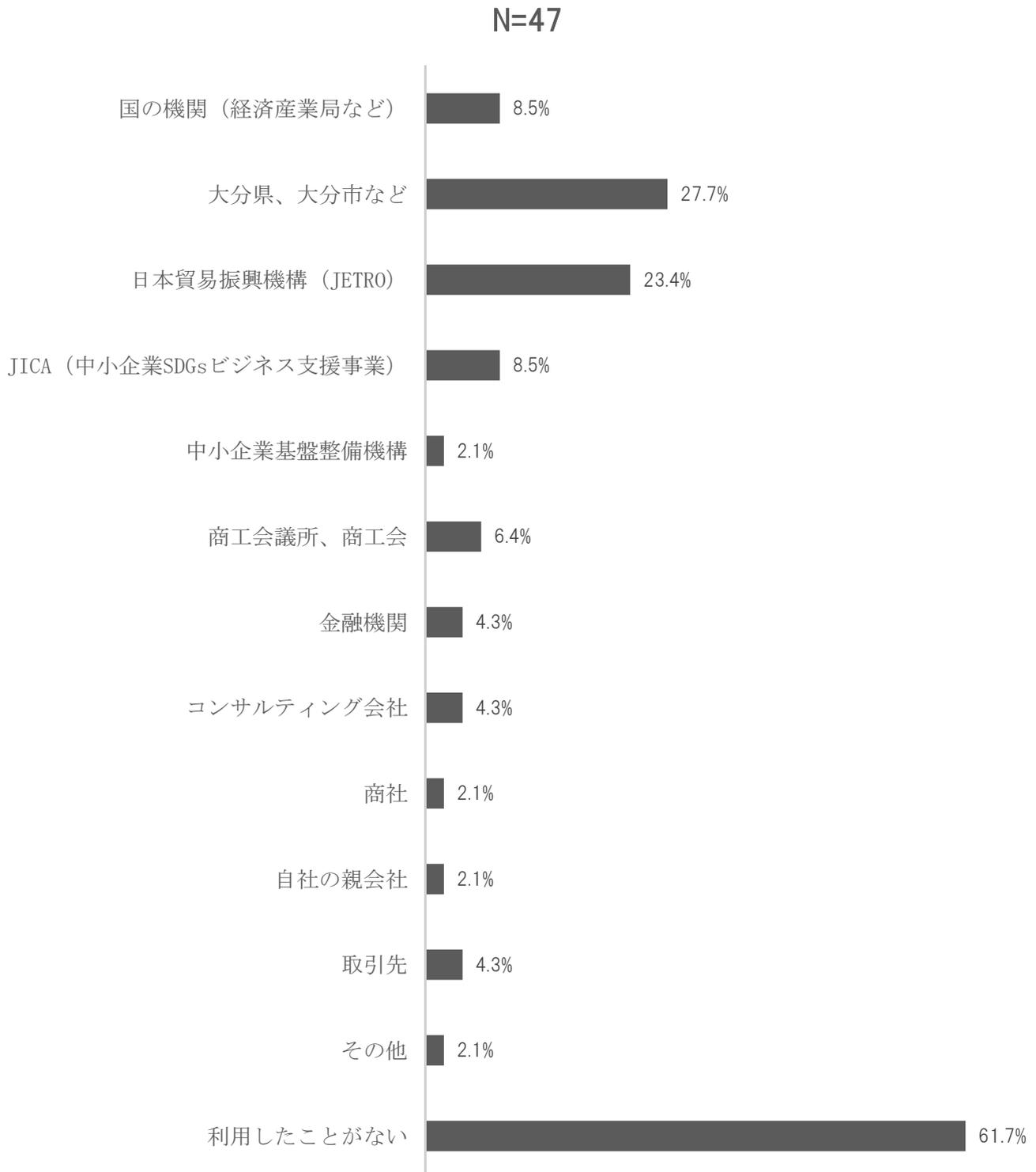


【4】海外展開に関する支援

1. 利用した支援先

海外展開にあたって、どのような支援先を利用したことがありますか？(複数回答可)

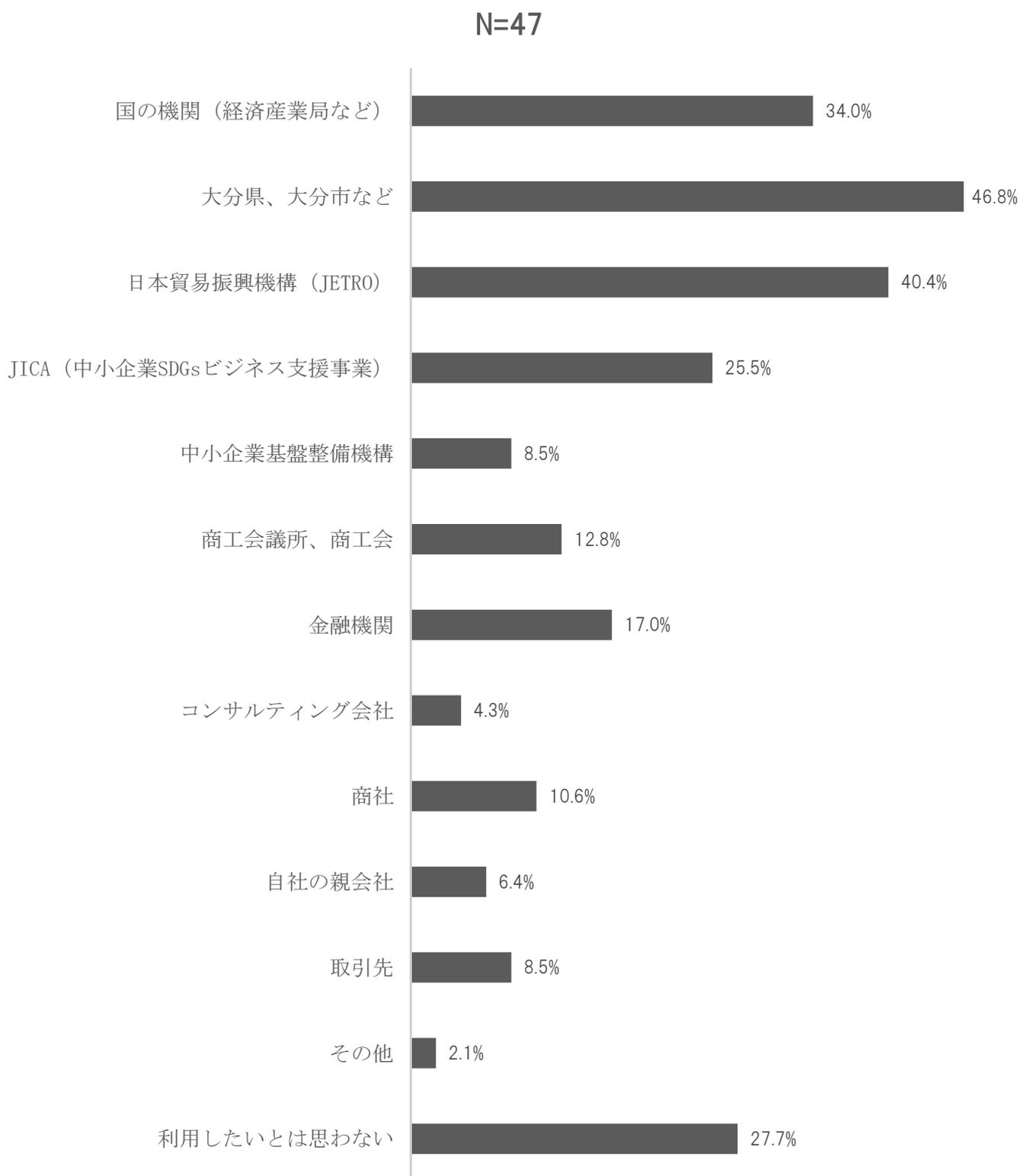
海外展開にあたって利用した支援先については、「利用したことがない」が 61.7%で最も高く、次いで「大分県、大分市など」が 27.7%、「日本貿易振興機構（JETRO）」が 23.4%の順となっている。



2. 利用したい支援先

海外展開をする際、どのような支援先を利用したいと考えますか？(複数回答可)

海外展開をする際利用したい支援先については、「大分県、大分市など」が 46.8%で最も高く、次いで「日本貿易振興機構（JETRO）」が 40.4%、「国の機関（経済産業局など）」が 34.0%、「利用したいとは思わない」が 27.7%、「JICA（中小企業 SDGs ビジネス支援事業）」が 25.5%の順となっている。



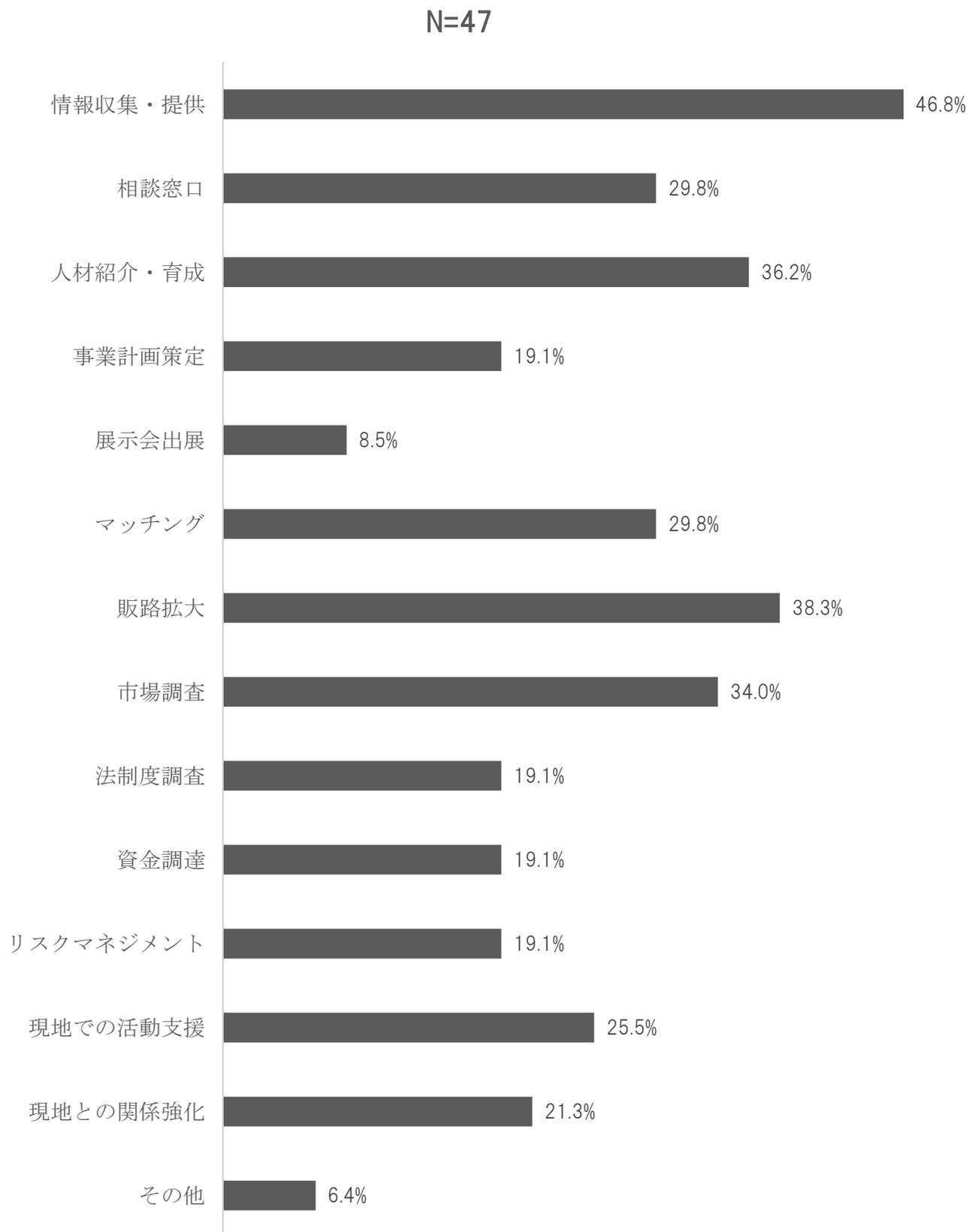
単位(%)		国の機関	大分県、大分市など	日本貿易振興機構 (JETRO)	JICA (中小企業SDGsビジネス支援事業)	中小企業基盤整備機構	商工会議所、商工会	金融機関
全体(N=47)		34.0%	46.8%	40.4%	25.5%	8.5%	12.8%	17.0%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設・土木(n=3)	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	食品(n=3)	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	33.3%	33.3%	66.7%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	不動産(n=1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	運輸・倉庫(n=4)	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業(n=16)	37.5%	37.5%	25.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	25.0%	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%
海外展開別	既に海外展開をしている・拡大を考えている (n=8)	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	考えており、準備をしている(n=3)	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%
	興味はあるが未定である(n=10)	60.0%	70.0%	30.0%	20.0%	10.0%	40.0%	40.0%
	考えていない(n=26)	26.9%	38.5%	30.8%	19.2%	3.8%	3.8%	11.5%

単位(%)		コンサルティング会社	商社	自社の親会社	取引先	その他	利用したいとは思わない
全体(N=47)		4.3%	10.6%	6.4%	8.5%	2.1%	27.7%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	食品(n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
	サービス業(n=16)	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%	18.8%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
海外展開別	既に海外展開をしている・拡大を考えている(n=8)	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
	考えており、準備をしている(n=3)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	興味はあるが未定である(n=10)	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	考えていない(n=26)	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	3.8%	46.2%

3. 海外展開の支援の期待

海外展開の支援に対して、どのようなことを期待しますか？

海外展開の支援の期待については、「情報収集・提供」が46.8%で最も高く、次いで「販路拡大」が38.3%、「人材紹介・育成」が36.2%の順となっている。

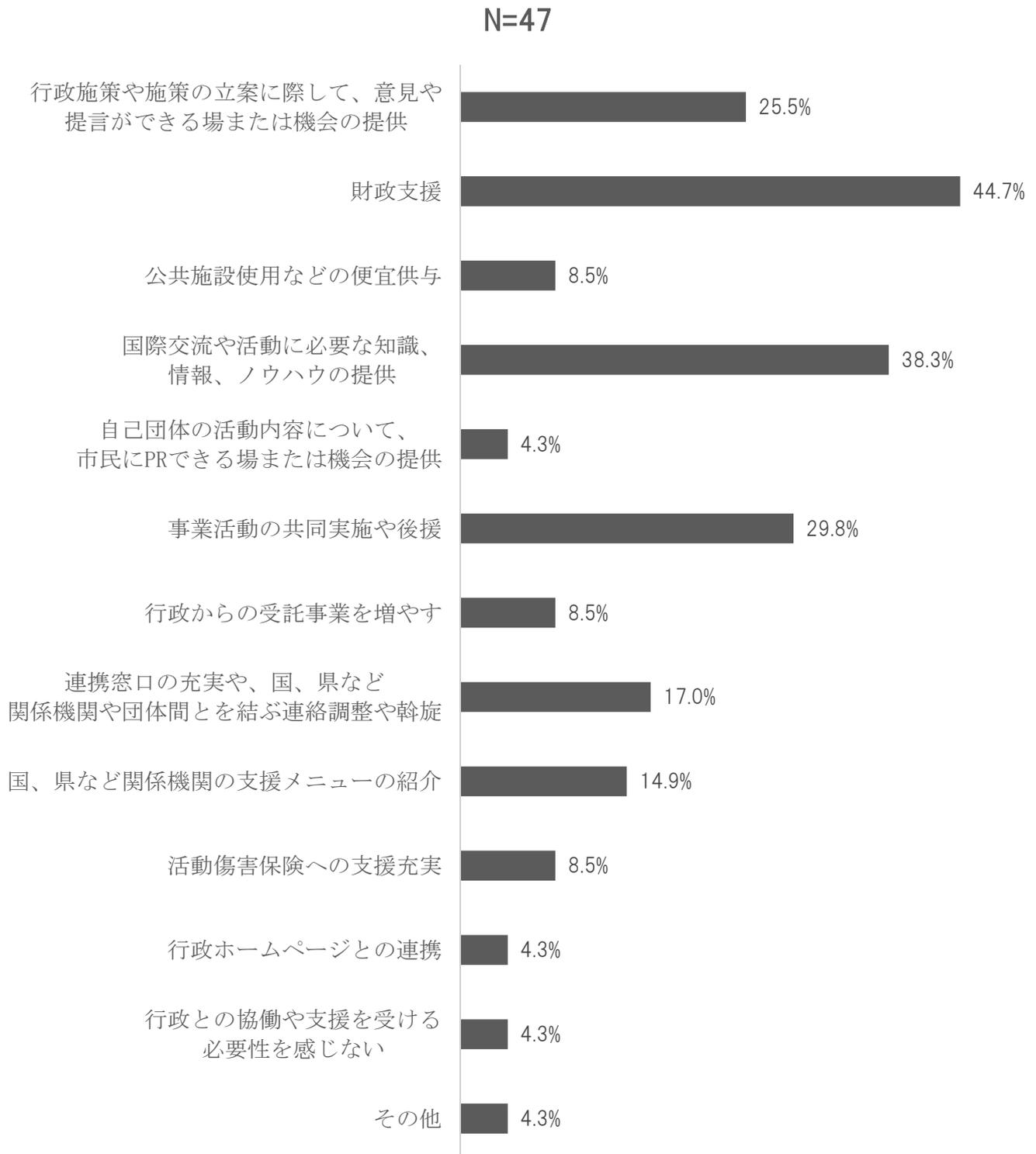


【5】行政の施策について

1. 政府に対する期待

海外へビジネスを拡大するにあたって、行政に何を期待しますか？(5個まで選択)

行政に対する期待については、「財政支援」が44.7%で最も高く、次いで「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」が38.3%、「事業活動の共同実施や後援」が29.8%、「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」が25.5%の順となっている。



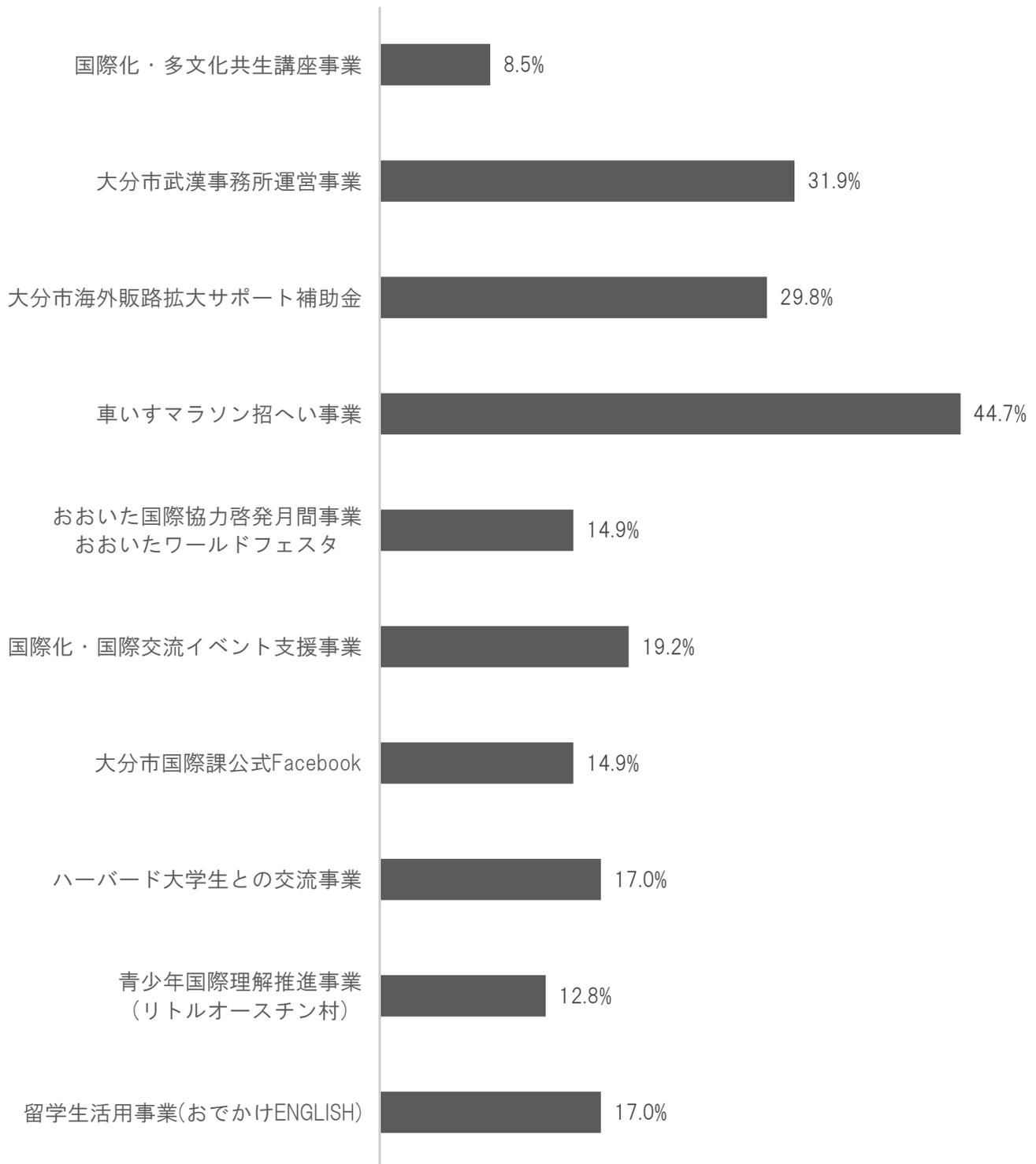
2. 「第3次大分市国際化推進計画」の事業

大分市では、現行の「第3次大分市国際化推進計画」に基づき、さまざまな国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業について、知っている事業がありますか？

(複数回答可)

知っている事業については、「車いすマラソン招へい事業」が44.7%で最も高い。

N=47



【6】全般について

1. 今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等についての意見

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等について、お聞かせください。

- ・ インバウンド観光客の減少にともなう、市場バランスの変化
- ・ 売り上げが月によっては50%程度となっており、コロナを言われたでの平均売り上げは前年比較の60%と大きく影響している。
- ・ 海外からの採用が難しくなっている。
- ・ 外国人実習生の出入国が円滑にいくのかどうか。
- ・ 入国時に、隔離する設備の確保が難しく、寮での隔離ができる状態にないので心配
- ・ 出入国が規制されており見通しも立たないため今後の計画を立てれない。
- ・ 弊社はイベント関連を主に生業としているため、3月以降キャンセルが相次ぎ、受注が激減した。現在のところ、先の見通は全く見えていない。
- ・ 海外展開の努力が国際間の移動自粛により頓挫し、リセット状態となっている。
- ・ タクシー業であり、コロナの影響を大きく受けている。税金の猶予ではなく、固定資産税のように、減免をしてもらいたい。そうでなければ、今持ちこたえても今後の事業継続は困難である。
- ・ 大型連休に休む必要が生じたこと、コロナに関する風評被害や顧客減少により企業内の財政的余裕はなくなった。コロナ対策の借入れも行ったが、後々の返済が可能かも不安である。行政における物価統制令によって価格への反映もできず、イベントによる集客も3密対策のため行えない。人が喜んできてもらうことで人が人を呼んで賑わう会社を作りたいという、元々の当社の考え方が否定されたような状況である。そのため、雇用を守るためにと人材を減らすことなく現状、営業しているが、従業員も含め、先をあまり考えないようにしているようで、これからの展望を企画検討することもできないでいる。
- ・ 武漢市で介護中心の学校を要請されています。研修制度などで、提携できるところを紹介してください
- ・ 現状、国際線の運航がストップしており、海外への渡航が制限されております。
- ・ 海外だけでなく、国内の移動も必要最低限の要件流通に限られている状況で、非常に大きな影響を受けています。
- ・ 納品先のホテルや湯布院からの注文がなく厳しい。サービスエリアも県外客が少ない為に納品が激減している。
- ・ 先が見えない市場
- ・ 観光やイベントなどで来る県外からのお客が目に見えて減少しています。
- ・ 人の動きが押さえられているようです。
- ・ 売上減少
- ・ 業務・稼働の低下
- ・ 今のところ影響はありません。
- ・ 目下、インバウンドや国内団体観光客の激減により売り上げが激減しています。
- ・ 各種補助も利用させていただきながら、店舗を一旦閉めるとか業容を多角化するなどして、雇用を維持できるよう頑張っています。
- ・ 海外に於いてもコロナの影響で担当者との連絡が取りにくくなったり現地の様子が分かりづらくなった。

- ・ 4月、5月はとても苦しい状況でしたが現在は落ち着いております。第二波に備えている状況です。
- ・ 弊社は観光地の売店などにも商品を卸しているため、今回のコロナの影響による売り上げ低下は予想以上に大きなものがあります。国、県、市が一体となって経済を早く活性化させていただきたいと思います。
- ・ 会議、イベント等が中止になっておりますのでその際に使用する印刷物・販促物等の受注減。発注元のお客様がコロナの影響を受けておりますので仕事量が減。
- ・ 海外展開を進めていたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大にともない、中断となっている。また、海外への渡航、入国の制限が緩和されない限り、現在の海外事業においても今後、大きな影響が発生すると思われる。
- ・ 当組合は、外国人技能実習生の監理団体のため、出入国に関する処理が、コロナウイルス感染拡大によりストップしており、先行き不透明な状況であり困惑している。

2. 大分市の国際化・国際戦略についての意見・要望

大分市の国際化・国際戦略について、自由なご意見やご提言、ご要望をお聞かせください。

- ・ 外国人労働者の受け入れ支援が欲しい。
- ・ 病院、市役所、銀行等で通訳タブレット等で言葉の壁をなくして欲しい。すべてに同行すると、時間の確保が難しい。
- ・ インバウンドの拡大など多く営業を受けたが、米中摩擦や韓国の反日活動、パンデミックを含めてカントリーリスクがあるとして乗らずに来た。今回、インバウンドに頼る経営ではないようにしていたことでなんとか今も営業出来ているか、とも思う。
- ・ 大分はインバウンドも結構だが現在あるホテルがほとんどを持っていってしまう。特に湯布院や別府に観光客が集中するし、大分市は空港から遠く、新幹線も通っていない。アクセスがしにくく、観光客を呼び込むにはまずドームでイベントといった観光目的を作ることが先決である。ビジネスとしてスポーツを中心にして関係強化や観光・関係者誘致も可能ではあるだろうが、知名度がない。
- ・ 「毎日が温泉、毎日が海幸山幸」など謳って全国から 60 代以上の夫婦の移住先、学力の底上げや不登校の解消を目指して、子育てしやすい街を謳って若い夫婦の移住先としての魅力を高める。他県と比べて明確な強さとなるものを海外にアピールし、また、これからが期待されるような小国と関係を結び、提携リゾート地を作るなどしてフェリーで結ぶ。海外とフェリーと結ばれるのであれば、別府湾に埋め立て島を作ってカジノもいいのではないかと考える。
- ・ 大分に住んでいたことがあったり、学校に行っていたり、観光で来たりした方々のネットワーク作り
- ・ 大分県内の企業・個人を問わず、その都度の案件に対して、経済的・時間的な利便性を優先して推進して参ります。九州という土地柄、アジア諸国との経済発展に寄与していきたいと考えます。
- ・ 大分はキリシタン大名とも呼ばれる大友宗麟が治めていた地でもあります。他国の文化を受け入れていくのは自然な流れでしょう。大事なのは「誰のための国際化なのか」だと思います。大分市民のため？日本国民のため？企業のため？外国人のため？
- ・ 国際化によるメリットとデメリットは多大了。国際化という曖昧な表現ではなく、しっかり目的をフォーカスして行動する必要があるでしょう。
- ・ 私は観光系の人間なので、市外の人々が来たいと思ってくれるような都市になってくれると共に、大分の港や空港から海外へ簡単にアクセスできるようになってくれると嬉しいです。
- ・ まずは海外の方への認知が必要なんじゃないかなと思うので、PR できる都市作りとアクセスは大事です。
- ・ 長崎のハウステンボスや大阪の USJ などのテーマパークと同じようなコンセプトを都市レベルで行えば面白味はあるんじゃないかと思えます。
- ・ 温泉銭湯では国際戦略は考えた事ありません。
- ・ 中国武漢市は新型コロナの発生地と報じられているため、現地を訪問・交流しづらい社会環境にありますが、こんな時だからこそ、しっかりリスクテイクしながら文化・経済交流をはかるべきだと思います。
- ・ 原発事故後に東北・福島（日本）の製品をボイコットされた経験をもつ日本だからこそ、いまやるべき交流・相手が望む交流を是非推進していただきたいです。
- ・ 店舗・屋台・キッチンカー・デリバリーなど形態はさまざまに、飲食出店で市民に一番身近な食文化交流を推進してはいかがでしょうか。
- ・ 世界中がイベントやお祭りを自粛して半年が経過しました。まだ外出自粛機運が浸透している中です

が、個人（家庭）の食はニーズが多様化し出費額も増加しています。

- ・ キッチンカー（移動販売部隊）そのものを「O I T A（オーイタ）」と命名して、世界各地で日本（大分）食のキッチンカーや屋台リヤカーなどが走り回る光景も面白いと思います。
- ・ 海外のニーズに大分市チームで対応出来る組織作りが必要かと思いますが？
- ・ 大分の人口を安定させ豊かな社会を作っていくためにも外国人が住みやすい地域を作っていくべきです。そのために外国人が安心して家族と生活できる幼稚園から高校までのインターナショナルスクールは必要不可欠だと考えます。
- ・ 大分市と武漢市との友好都市との関係で、弊社は中国向け商談会、展示会など武漢と上海で数回利用させていただきました。しかし中国のみでは不安もありますから、今後は他のアジア向け商談会なども大分市の方で情報収集、参加そして補助など受けられればと期待しております。
- ・ アフリカ諸国との姉妹友好都市締結をお願いいたします。
- ・ 大分市の海外販路拡大サポート補助金の対象も広げられ、利用しやすいと思いますし、窓口の創業経営支援課さんのご対応も大変助かっております。引き続き、利用しやすい補助金の拡大や支援機関のご紹介等をお願いいたします。

第4次大分市国際化推進計画

4th Oita City Globalization Promotion Plan

世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”

2021(令和3)年度～2024(令和6)年度

発行：2021(令和3)年3月

大分市 国際課

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
TEL(097)537-5719 FAX(097)536-4044
E-mail: kokusai@city.oita.oita.jp

4th Oita City Globalization Promotion Plan